

資料

日高山脈研究論文目録

The list of the studies of the Hidaka Mountains.

地徳 力

Tsutomu CHITOKU

穂別町立博物館

Hobetsu Museum, 80-6, Hobetsu, Hokkaido, 054-0211 Japan

(1999 年 2 月 20 日受付)

日高山脈の地質に関する研究論文は、非常に古くからあり、数も多い。またそれらの目録も、古くは北海道全域を部門別・地域別にまとめた北海道地質調査会(1935a, b)から始まり、日高地域の鉱床を中心とした目録(北海道開発局; 1959)や、中軸帯という位置付けでまとめられた目録(地団研第 31 回総会討論会世話人会; 1978)がある。さらに、日本の地質「北海道地方」編集委員会(1990 編)には、北海道全域を網羅する主要論文がまとめられている。

筆者は当初、日高山脈の地質を研究した論文をまとめて概観しようと、目録づくりを始めた。当初「日高山脈」という範囲での論文収集につとめたが、初期の「地域地質」的論文はともかくとして、プレート=テクトニクスの台頭以来、1.日高山脈という地域だけでは日高山脈の成因を論じられないこと、従って、2.論文の数が膨大になるという障害が生じた。ひととおり、研究者や論文の傾向について解析して

研究史的考察も試みてみたが、論文の数が膨大になり、残念ながらすべての収録は出来ない。よって、論文目録のみを資料として報告し、割愛した研究史的考察は別の機会に報告することとした。

引用文献

- 地団研第 31 回総会討論会世話人会, 1978, 中軸帯に関する 1965 年以降の文献. 地団研専報, 21 号, 211-221 頁.
- 北海道地質調査会, 1935a, 北海道地学に関する文献目録(昭和 9 年 6 月現在)(II) 部門別. 北海道地質調査会報告, 5 号, 1-131 頁.
- 北海道地質調査会, 1935b, 北海道地学に関する文献目録(昭和 9 年 6 月現在)(III) 地方別. 北海道地質調査会報告, 6 号, 1-119 頁.
- 北海道開発局, 1959, 北海道日高地方地質鉱床に関する文献目録. 北海道総合開発計画調査特殊地帯地下資源調査資料, 1 号, 1-35 頁.
- 日本の地質「北海道地方」編集委員会, 1990 編, 日本の地質 1, 北海道地方. 共立出版株式会社, 東京, 337 頁.

日高山脈研究論文目録

[1876]

Lyman, B. S., Munroe, H. S., Yamauchi, T., Akiyama, Y., Inagaki, T., Kuwada, T., Misawa, S., Takahashi, J., Kada, T., Ban, I., Saito, T., Shimada, J., Yamagiwa, E., Mayeda, S. & Nishiyama, S., 1876, *Geological survey of Hokkaido, a geological sketch map of the Island of Yesso, Japan* (scale 1/2,000,000 of nature).

[1877]

Lyman, B. S., 1877, *Geological Survey of Hokkaido, A general re-port on the geology of Yesso*. Hokkaido Colon. Dept., Sapporo, 116p.

ライマン (來曼), 1877, 北海道地質測量報文. 北海道開拓使.

[1878]

來曼, 1878, 北海道地質總論 (Lyman, 1877 の日本語訳). 北海道開拓使, 232 頁.

[1879]

[1880]

開拓使, 1880, 北海道地質測量報文. 札幌.

Nauman, E., 1880, Ueber der Vorkommen der Kreideformation auf der Inseln Yesso. *Mit. Deutchsh. Ges. f. Natur-Voelkskunde*, Bd. 21, p. ??-??.

[1881]

[1882]

[1883]

[1884]

[1885]

Nauman, E., 1885, *Ueber den Bau und Entstehung der japanischen Inseln*. Intern. Geol. Congr., Berlin.

[1886]

Harada, T., 1886, *Versuch einer geotektonische Gliederung der japanischen Inseln*. Tokyo.

[1887]

[1888]

原田豊吉, 1888, 日本地質構造論. 地質要報, 4 号, 309~350 頁.

神保小虎, 1888, 北海道の片岩. 地学雑誌, 1 卷, 584 頁.

[1889]

神保小虎, 1889, 北海道地質略説. 地学雑誌, 1 卷, 39~46 頁.

神保小虎, 1889, 北海道化石産地. 地学雑誌, 1 卷, 165~168 頁.

多羅尾忠郎, 1889, 北海道鉱山略記. 札幌.

[1890]

神保小虎, 1890, 北海道地質略論. 北海道庁, 札幌, 94 頁.

Jimbo, K., 1890, *Explanatory Text to the Geological Map of Hokkaido*. Sapporo, 53p.

神保小虎, 1890, 北海道白堊系動物群要論. 地学雑誌, 2 卷, 116~121 頁.

Yokoyama, M., 1890, Versteinerungen aus der japanischen Kreide. *Palaeontographica*, Bd. 36, p. 159-202.

[1891]

浅井郁太郎, 1891, 胆振国鶴川巡検摘要. 地学雑誌, 3 卷, 143~146 頁.

浅井郁太郎, 1891, 胆振国鶴川白堊系の化石. 地学雑誌, 3 卷, 110~111 頁.

神保小虎, 1891, 北海道地質報文 (上). 札幌.

[1892]

神保小虎, 1892, 北海道地勢總論. 地学雑誌, 4 卷, 155~164, 209~215, 252~259, 318~323, 410~416 頁.

神保小虎, 1892, *General Geological Sketch of Hokkaido, with Special Reference to the Petrography*. 79p., Hokkaidocho.

神保小虎, 1892, 北海道地質報文 (下). 札幌

石川貞治・横山壮次郎, 1894, 北海道地質調査鉱物調査報文. 札幌.

[1893]

[1894]

Jimbo, K., 1894, Beitrage zur Kenntnis der Kreideformation von Hokkaido. *Pal. Abh. n. F. Bd. 2*. (G. R. Bd. 6), S. 147-193.

Jimbo, K., 1894, Unsere geologischen Kenntnisse von der Inseln Hokkaido in Japan. *Verhand. russisch-k. Min. Ges. St. Petersburg. 2 Ser. Bd. 31*. S. 305-311.

神保小虎, 1894, 北海道第三紀動物化石略報. 地質学雑誌, 2 卷, 41~45, 165~170 頁.

大森房吉, 1894, 北海道地震記録概調査. 震災予調, 3 号, 7~46 頁.

[1895]

石川貞治, 1895, 北海道産二, 三の稀有鉱物 (イリドスミン, 白金, 辰砂, クローム鉄鉱). 地質学雑誌, 3 卷, 245~246 頁.

[1896]

石川貞治, 1896, 北海道産クローム鉄鉱. 地学雑誌, 8 卷, 452~455 頁.

石川貞治, 1896, 北海道産及び産業に関する旧記. 地学雑誌, 9 卷, 182, 222, 319, 366 頁.

[1897]

[1898]

[1899]

[1900]

[1901]

矢部長克, 1901, 北海道石狩煤田地方に於ける白堊紀層また第三紀層の時代に関する在来の諸説を記し併せて小生の意見を略述す. 地質学雑誌, 8 卷, 144~147 頁.

矢部長克, 1901, サル川の白堊紀石炭層. 地質学雑誌, 8 卷, 449 頁.

[1902]

[1903]

Yabe, H., 1903, Cretaceous cephalopoda from Hokkaido. *Jour. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo*, vol. 18, no. 1, p. 1-55.

[1904]

大築洋之助, 1904, 北海道日高国沙流郡石油産地地質調査報文. 地質要報, 1 号, 55~72 頁.

Yabe, H., 1904, Cretaceous cephalopoda from Hokkaido. *Jour. Coll. Sci. Imp. Univ. Tokyo*, vol. 20, no. 2, p. 1-45.

[1905]

[1906]

福地信世, 1906, 北海道の地帯構造に関する一考察. 地学雑誌, 43 卷, 843~848 頁.

[1907]

[1908]

[1909]

Yabe, H., 1909, Zur Stratigraphie und Palaeontologie der Oberen Kreide von Hokkaido und Sachalin. *Zeit. Deut. Geol. Ge-sell.*, vol. 61, p. 402-444.

[1910]

伊木常誠, 1910, 北海道産物調査の概要. 日本産物会誌, 27

- 巻, 906, 1146, 1238 頁.
- 伊木常誠, 1910, 明治四十三年度鉱物調査の概要. 北海道鉱物調査報告, 1号, 45~56 頁.
- 岡村要蔵, 1910, 十勝国広尾郡及河西郡地方調査報告. 北海道鉱物調査報告, 5号, 107~145 頁.
- [1911]
- 伊木常誠, 1911, 日高国元浦川流域及び浦河附近調査報文. 北海道鉱物調査報告, 5号, 83~105 頁.
- 伊木常誠, 1911, 浦河地方の白堊紀層. 地学雑誌, 23 巻, 284 頁.
- 伊木常誠, 1911, 日高国「ヌカピラ」川流域調査報告. 北海道鉱物調査報告, 4号, 25~42 頁.
- 伊木常誠, 1911, 日高国門別川, 波恵川, 慶能舞川, 及び厚別川流域調査報文. 北海道鉱物調査報告, 5号, 57~81 頁.
- 小林儀一郎, 1911, 胆振国勇払郡勇払油田調査報告. 鉱物調査報告, 3号, 1~46 頁.
- 小林儀一郎, 1911, 胆振国勇払郡鶴川流域調査報告. 鉱物調査報告, 5号, 1~43 頁.
- 岡村要蔵, 1911, 日高国新冠静内三石三郡地方調査報文. 北海道鉱物調査報告, 4号, 71~105 頁.
- 岡村要蔵, 1911, 日高国沙流川流域調査報文. 北海道鉱物調査報告, 4号, 1~24 頁.
- 山根新次, 1911, 日高国南部及十勝国広尾郡調査報文. 鉱物調査報告, 4号, 71~105 頁.
- [1912]
- 伊木常誠, 1912, 日高山脈及び夕張山脈に於ける砂金の現出状態. 地学雑誌, 24 巻, 12~22 頁.
- 伊木常誠, 1912, 日高山脈及び夕張山脈に於ける砂金の現出状態(承前). 地学雑誌, 24 巻, 811~817 頁.
- [1913]
- 伊木常誠, 1913, 日高山脈及び夕張山脈に於ける砂金の現出状態(承前・完). 地学雑誌, 25 巻, 20~25 頁.
- 小林儀一郎, 1913, 北見国稚内及日高国厚別川に於ける石油試堀. 地学雑誌, 25 巻, 879 頁.
- [1914]
- [1915]
- 井上禮之助, 1915, 日高国北西部産油地. 地調報, 22 号, 1~35 頁.
- 岡村要蔵, 1915, 日高国北西部産油地調査報文. 北海道鉱物調査報告, 22号, 1~27 頁.
- [1916]
- [1917]
- 岩崎重三, 1917, 北海道産イリドスミン. 地質学雑誌, 24 巻, 159 頁.
- [1918]
- 神保小虎, 1918, 日高国サル川の白堊紀海胆. 地質学雑誌, 25 巻, 545 頁.
- 大井上義近, 1918, 六十万分ノ一北海道地質図. 「札幌」.
- 渡辺久吉, 1918, 中部及東部北海道第三紀層. 地質要報, 25 巻, 159~221 頁.
- [1919]
- 清野信雄, 1919, 胆振国鉄鉱. 地調報, 76 号, 53~65 頁.
- 清野信雄, 1919, 胆振国鉄鉱調査報文. 鉱物調査報告, 29号, 1~78 頁.
- 納富重雄, 1919, 石狩及十勝国境附近鉄道沿線地質調査報文. 地調報, 74 号, 1~9 頁.
- [1920]
- 清野信雄, 1920, 胆振国鉄鉱に就いて. 地学雑誌, 32 巻, 413~424 頁.
- [1922]
- ハインチエルマン, 1922, 日高水銀鉱山鉱石, 製練の試験報告. 日本鉱業会誌, 28 巻, 697~703 頁.
- [1923]
- 村田 析, 1923, 栗山地方の地質. 地質学雑誌, 30 巻, 311~323 頁.
- [1924]
- 北海道鉱業会編, 1924, 北海道鉱業誌.
- 今井半次郎, 1924, 石狩炭田における白垂紀層と夾炭第三紀層(石狩統)の層位関係. 地質学雑誌, 31 巻, 18~39 頁.
- 中村新太郎, 1924, 二十万分ノ一北海道の地質図及び著書(質疑応答). 地球, 1 巻, 520 頁.
- [1925]
- Endo, S., 1925, Nilssonia-bed of Hokkaido and its Flora. *Sci. Rep., Tohoku Imp. Univ., 2nd Ser. vol. 7, p. 57-72.*
- 村田 析, 1925, 北海道白堊紀中の石炭層. 北海道石炭鉱業会々報, 135 号, 1~12 頁.
- [1926]
- 地質調査所, 1926, *Geology and Mineral Resources of the Japanese Empire.* Tokyo.
- 大平 安, 1926, 日高国幌泉地方の地質学的並びに岩石学的研究(一)(火成岩). 地質学雑誌, 35 巻, 104~147 頁.
- 大平 安, 1926, 日高東南端海岸の火成岩. 地質学雑誌, 33 巻, 347~354 頁.
- Yabe, H., 1926, A New Scheme of the Stratigraphical Subdivision of the Cretaceous Deposit of Hokkaido. *Proc. Imp. Acad. vol. 2, p. 214-218.*
- [1927]
- Yabe, H., 1927, Cretaceous Stratigraphy of Japanese Island. *Sci. Rep. Tohoku Imp. Univ. 2nd Ser., vol. 9, p. 27-100.*
- [1928]
- 北海道鉱業会編, 1928, 北海道鉱業誌.
- 大平 安, 1928, 日高国幌泉地方の地質学的並びに岩石学的研究(二)(変質岩). 地質学雑誌, 35 巻, 293~326 頁.
- 大森一蔵, 1928, 北海道に於ける産油区域の地質及産産(摘要). 地質学雑誌, 35 巻, 413 頁.
- [1929]
- 大平 安, 1929, 手塩上土別地方の地質及岩石学. 地質学雑誌, 36 巻, 140~174, 205~224 頁.
- 渡瀬正三郎, 1929, 北海道の地帯構造に関する一考察. 岩鉱, 2 巻, 232~236, 269~277 頁. 学協報, 5 巻, 94~105 頁.
- [1930]
- 大森一蔵, 1930, 北海道油田の地質及鉱床. 地質学雑誌, 37 巻, 676~679 頁.
- [1931]
- 井黒彌太郎, 1931, 日高山脈の氷河地形に就いて. 地理教育, 13 巻, 579 頁.
- 森田義人, 1931MS, 天塩国安平志内川流域地質調査報告. 東北大卒論(手記).
- Nagao, T., 1931, The Occurrence of *Snaptychus* like *Bodis* in the Upper Cretaceous of Japan. *Proc. Imp. Acad. vol. 7, p. 106-109.*
- Nagao, T., 1931, Two new decapod-species from the upper Cretaceous deposits of Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ., Ser. IV, vol. 1, p. 207-214.*
- 長尾 巧, 1931, 北海道日高山脈西方の中生層及第三紀層概

- 観. 地質雑誌, 43 巻, 394~401 頁.
- 長尾 巧, 1931, 北海道胆振国勇払郡占冠村中央の上部菊石層. 地質雑誌, 43 巻, 720~721 頁.
- 長尾 巧, 1931, 北海道鶴川沙流川上流の白堊紀層及び第三紀層の構造の一例 (摘要). 地質学雑誌, 38 巻, 332~333 頁.
- 大石三郎, 1931, 北海道に於けるコダイヤモンド及びシジリア様印象の発見に就いて. 地質雑誌, 43 巻, 717~720 頁.
- [1932]
- 地質調査所, 1932, 日本地質産誌. 東京.
- 五十嵐康二, 1932, 北海道日高国浦河町附近の地質について. 北大地理地古卒論 (手記).
- 長尾 巧, 1932, 北海道のオルビトリナ石灰岩. 地質学雑誌, 39 巻, 787~789 頁.
- 根本忠寛, 1932, 北海道産二, 三の特殊火成岩について. 地質学雑誌, 39 巻, 285~288 頁.
- 大石三郎・渡辺武男, 1932, 10 万分の 1 地質図幅「帯広」および同説明書. 北海道地質調査会報告, 1 号, 21 頁.
- 大橋鉄雄, 1932, 十勝国音調津, 日高庶野間の地質岩石並に海成段丘に就いて. 北大地理地修論 (手記), 7 号.
- 大立目謙一郎, 1932MS, 胆振国鶴川上流地方の第三紀層並に白堊紀層. 北大地理地修論 (手記), 1(A)号.
- 大立目謙一郎, 1932MS, 胆振国辺富内地方の白堊紀層. 北大地理地修論 (手記), 1(B)号.
- 鈴木 醇, 1932, 北海道における藍閃石片岩の原産地. 地質学雑誌, 39 巻, 132~137 頁.
- 鈴木 醇, 1932, 本邦中生代の凝灰質岩石に就いて. 地質学雑誌, 39 巻, 727~746 頁.
- 鈴木 醇・根本忠寛, 1932, 本邦花崗岩の化学性に就いて. 岩鉱, 8 巻, 52~61 頁.
- [1933]
- 服部幸雄, 1933MS, 北海道北部宗谷小頓別近傍地質調査報文. 北大修論.
- 村田 析, 1933, 幌内層の研究より得たる北海道中央山脈西部に沿う新第三紀層論 (上). 北海道石炭鉱業会会報, 222 号, 11~33 頁.
- 村田 析, 1933, 幌内層の研究より得たる北海道中央山脈西部に沿う新第三紀層論 (下). 北海道石炭鉱業会会報, 223 号, 1~22 頁.
- Nagao, T., 1933, Nappe and Klippes in Central Hokkaido. *Proc. Imp. Acad.* vol. 9, p. 101-104.
- 長尾 巧・大立目謙一郎・斎藤林次, 1933, 北海道中部の地質構造 (摘要). 地質学雑誌, 40 巻, 415~417 頁.
- 根本忠寛・佐々保雄, 1933, 10 万分の 1 地質図幅「大樹」および同説明書. 北海道地質調査会報告, 2 号, 20 頁.
- 大立目謙一郎, 1933MS, 北海道産古第三紀貝化石 (英文手記). 北大地理地修論, 10 号, A.
- 大立目謙一郎, 1933MS, 北海道産白亜紀貝化石 (英文手記). 北大地理地修論, 10 号, B.
- 大立目謙一郎, 1933MS, 辺富内, 穂別川, 登川地方の白堊紀層及第三紀層の層位並に地質構造について. 北大地理地修論 (手記), 9 号.
- Ohtatsume, K. & Uwatoko, K., 1933, The upper Cretaceous oil-bearing sedimentary rocks of Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ., Ser. IV*, vol. 2, p. 134-161.
- 佐々保雄, 1933, 北海道日高山脈に於ける圍谷地形に就いて (摘要). 地質学雑誌, 40 巻, 320~321 頁.
- 佐々保雄・根本忠寛, 1933, 10 万分の 1 地質図幅及説明書「大樹」. 北海道地質調査会報告, 3 号, 1~36 頁.
- Suzuki, J., 1933, Aegirine-augite bearing riebeckite-quartzschist from Kamuikotan and some other localities in Hokkaido, Japan. *Proc. Imp. Acad.*, vol. 9, p. 617-620.
- Suzuki, J., 1933, Volcanic Activity in Japan in the Mesozoic Era. *Proc. 5th Pac. Sci. Congr. Canada*, p. 2381-2387.
- 鈴木 醇, 1933, 北海道の地勢及び地質. 地理講座 1 巻, 改造社, 181~209 頁.
- 竹内嘉助, 1933MS, 胆振軽舞油田の地質について. 北大地理地修論, 15 号 A.
- Uwatoko, K. & Ohtatsume, K., 1933, The Upper Cretaceous Oil-Bearing Sedimentary Rocks of Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 2, p. 134-161.
- [1934]
- 花井重次, 1934, 北海道襟裳岬附近の地形につきて. 地理評, 10 巻, 720 頁.
- 服部幸雄, 1934MS, 胆振国占冠及び日高国右左府地方の地質構造. 北大卒論 (手記), 23 号.
- 北海道鉱業会編, 1934, 北海道鉱業誌.
- 松本 彬, 1934, 北海道に於ける砂金及び砂白金に就いて. 日本鉱業会誌, 44 巻, 737 頁.
- 長尾 巧, 1934, 北海道に於けるオルビトリナ石灰岩の新産地. 地質学雑誌, 41 巻, 150~151 頁.
- 長尾 巧, 1934, 北海道中部の地質構造続報 (摘要). 地質学雑誌, 41 巻, 339~341 頁.
- 長尾 巧, 1934, 白堊紀蟹化石の新産地. 地質学雑誌, 41 巻, 207 頁.
- Nemoto, T., 1934, Preliminary note on alkaline rhyolites from Tokati, Hokkaido. *Jour. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 2, p. 299-321.
- 佐々保雄, 1934, 日高山地に於ける圍谷地形 (続報). 日本高山地形研究 (第 3 報). 地質学雑誌, 41 号, 423~424 頁.
- Sasa, Y., 1934, Geomorphology of the Japanese High Mountains. 3rd Rep., Glacial Topography in the Hidaka Mountain Range, Hokkaido. *Proc. Imp. Acad.*, vol. 10, p. 218-221.
- 鈴木 醇, 1934, 所謂神居古潭系の岩石に就いて (摘要). 地質学雑誌, 41 巻, 392~394 頁.
- 鈴木 醇, 1934, 北海道に於ける花崗岩及びこれに附随せる接触変成岩について. 地質学雑誌, 41 巻, 394~397 頁.
- Suzuki, J., 1934, Metamorphosed Calcareous Concretions in the Hornfels at the Southern Coast of the Tokachi Province, Hokkaido. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ., Ser. IV*, vol. 2, p. 323-308.
- 鈴木 醇, 1934, 十勝国南部海岸のホルンフェルス中の変成石灰岩質団塊に就いて. 地質学雑誌, 41 巻, 666~680 頁.
- 竹田秀蔵, 1934, 日高国三石村附近に発達する地層の層位並びに構造に就いて. 北大地理地修論 (手記), 25 号(A).
- 竹田秀蔵, 1934, 日高国沙流川中流フレナイ附近の地質構造に就いて. 北大地理地修論 (手記), 25 号(B).
- [1935]
- 原田準平, 1935, 北海道鉱物誌. 北海道地質調査会報告, 7 号, 1~83 頁.
- 北海道地質調査会, 1935, 北海道地学に関する文献目録 (昭和 9 年 6 月現在) (II) 部門別. 北海道地質調査会報告, 5 号, 1~131 頁.
- 北海道地質調査会, 1935, 北海道地学に関する文献目録 (昭和 9 年 6 月現在) (III) 地方別. 北海道地質調査会報告,

- 6号, 1~119頁。
- 西田彰一・阿部 顕, 1935, 日高又カピラ, チロロ事業区施業案地質調査, 北大保存手記。
- 鈴木 醇, 1935, 北海道雨龍産トロニウム岩(Tronhjemite)について, 岩鉱, 14巻, 109~116頁。
- Suzuki, J. & Nemoto, T., 1935, The Chemical Composition of the Granitic Rocks of Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Imp. Univ., Ser. IV, vol. 3, p. 1-48.*
- 矢島澄策, 1935, 北海道の水銀鉱床, 北海道地下資源調査資料, 5号, 頁。
- 吉村豊文, 1935, 日高国三石産柘榴石に就いて, 岩鉱, 14巻, 257~265頁。
- [1936]
- 橋本 巨, 1936, 石狩国空知郡富良野盆地西部山地の地質, 地質学雑誌, 43巻, 493~530頁。
- 鈴木 醇, 1936, 選択変成作用に就いて(I), 科学, 6巻, 147~151頁。
- 鈴木 醇, 1936, 選択変成作用に就いて(II), 科学, 6巻, 196~198頁。
- Suzuki, J., 1936, Geology and Mineral Resources of Hokkaido. *Magazine Dai-Nippon Bummei Kyokwai, p. 1-7.*
- 高橋哲彌, 1936, 主として北海道に於けるクローム鉱山とクローム鉄鉱の鉱床, 北海道石炭鉱業会報, 259巻, 37~43頁。
- 高橋哲弥・相馬吉一・陸川正明・松田文男, 1936, 北海道有用鉱産物調査報文一網走支庁管内紋別郡中部, 北工試報, 60号, 3~57頁。
- 吉村豊文, 1936, 日高国三石産柘榴石に就いて(2), 岩鉱, 15巻, 26~40頁。
- [1937]
- 石橋正夫, 1937, 日高国三石附近の変成岩に就いて(要旨), 地質学雑誌, 44巻, 487頁。
- 石橋正夫, 1937MS, 胆振国鶴川及び日高国三石川流域に発達する神居古潭系の岩石について, 北大理地卒論(手記), 41号。
- 三本杉巳代治, 1937, 石狩国金山地方の地質学雑誌, 北大理地卒論(手記), 11号。
- 佐々保雄, 1937, 北日本の氷蝕地形の地質時代に就いて(要旨), 日本高山地形研究, 地質学雑誌, 44巻, 508頁。
- 下河原寿男, 1937, 胆振国穂別, 日高国平取間の地質, 北大理地卒論(手記), 46号。
- 竹内嘉助, 1937, 日高国幌泉郡, 様似郡有用鉱産物調査報文, 北工試鉱物調査報告, 67号, 1~46頁。
- [1938]
- 松本達郎, 1938, 日本白堊系層序の基礎的研究略報(I)(要旨), 地質学雑誌, 45巻, 473~475頁。
- 三本杉巳代治, 1938, 北海道に於けるモンチカイト質岩, 地質学雑誌, 45巻, 769~770頁。
- 三本杉巳代治, 1938, チタン鉄鉱を多量に含む輝緑岩質岩, 地質学雑誌, 45巻, 770頁。
- 三本杉巳代治, 1938, 北海道中央山脈に発達する日高系について(要旨), 地質学雑誌, 45巻, 471~473頁。
- 園木文平, 1938, 天塩第一演習林, 佐久, 菅平, 宇戸内事業区地質調査報告, 北大・農・演習林研報, 10巻, 3号, 13~23頁。
- 鈴木 醇, 1938, 北海道産変成岩中の曹達角閃石類に就いて, 岩鉱, 20巻, 1~13頁。
- 鈴木 醇, 1938, 地質学上より見たる北海道の鉱産資源, 北海道倶楽部, 1号, 59~66頁。
- 竹内嘉助・三本杉巳代治, 1938, 十万分ノ一地質図幅及び説明書, 「浦河」, 北海道工業試験場。
- 吉村豊文, 1938, 胆振穂別鉱山の鉄鉱床, 岩鉱, 19巻, 226~277頁。
- [1939]
- 原田準平, 1939, 北海道に於ける蛇紋岩の進入に関する一新事実, 地質学雑誌, 46巻, 575頁。
- 北海道鉱山学会, 1939, 日東鉱山(金属山の地質鉱床篇), 実務資料, 第17輯, 40~42頁。
- 北海道鉱山学会, 1939, 新日東鉱山(金属山の地質鉱床篇), 実務資料, 第17輯, 42~43頁。
- 石橋正夫, 1939, 日高国三石蓮英山附近の岩石に就いて, 北海道地質調査会報告, 10号, 7~34頁。
- 松本達郎, 1939, 日本白堊系層序の基礎的研究略報(II)(要旨), 地質学雑誌, 46巻, 296~297頁。
- 三本杉巳代治, 1939, 北海道に於ける *Toucasia carinata* (Math) ver. *orientalis* Nagao. の新産地, 地質学雑誌, 46巻, 198頁。
- 三本杉巳代治, 1939, 北海道に於ける陽起石及び磁鉄鉱新産地, 地質学雑誌, 46巻, 199頁。
- Suzuki, J., 1939, On the Age of the Sambagawa System. *Proc. Imp. Acad.*, vol. 15, p. 56-59.
- Suzuki, J., 1939, Note on Soda-Amphiboles in Crystalline Schists from Hokkaido. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Imp. Univ., Ser. IV, vol. 4, p. 507-518.*
- 鈴木 醇, 1939, 御荷鉾系及び神居古潭系の岩石学的研究, 学振第6常置委員会研究抄録, 第1輯, 7~35頁。
- 鈴木 醇・三本杉巳代治, 1939, 北海道に於けるクローム鉱床に就いて(要旨), 地質学雑誌, 46巻, 324~326頁。
- 竹原一平, 1939, 北海道勇払油田の地質及構造, 地質学雑誌, 46巻, 302頁。
- 矢部長克・杉山敏郎, 1939, 神居古潭系中の化石, 地質学雑誌, 46巻, 340~341頁。
- [1940]
- 赤岡純一郎, 1940, 北海道日高国幌満のニッケル鉱石に就いて(要旨), 地質学雑誌, 46巻, 322頁。
- 原田準平, 1940, 日高及び胆振新産の藍閃石及び青閃石, 地質学雑誌, 47巻, 219~223頁。
- 原田準平・石橋正夫, 1940, 本邦産クローム鉱物に就きて(I), 岩鉱, 24巻, 150~157頁。
- 橋本誠二・桑田士郎, 1940MS, 石狩国夕張山地東部の地質, 北大修論, 71号。
- 上島 宏・孫 致武, 1940, 日高国右左府地方の地質, 北大理地修論(手記), 63号。
- 小林治夫, 1940, 北海道日高国幌満鉱山の含ニッケル磁鉄鉱鉱床の地質について, 地質学雑誌, 47巻, 429~436頁。
- Matsumoto, T., 1940, On the Urakawa Transgression in Japan. *Jubilee Pub. Comm. Prof. H. YABE's 60th Birthday*, vol. 2, p. 743-749.
- 根本忠寛, 1940, 五十万分ノ一北海道地質図, 北工試。
- 大立目謙一郎, 1940, 北海道中部に於ける下部菊石層と輝緑凝灰岩層の層位関係について, 北海道地質調査会報告, 11号, 1~48頁。
- 鈴木 醇, 1940, 北海道に於ける蛇紋岩に伴なう優白岩類に就いて(1), 岩鉱, 23巻, 65~80頁。
- 鈴木 醇, 1940, 北海道に於ける蛇紋岩に伴なう優白岩類に就いて(2), 岩鉱, 23巻, 124~142頁。
- 梅沢邦臣・伊能 厚, 1940, 日高国岩知志地方の地質, 北大

理地修論, 64号

[1941]

- 赤岡純一郎, 1941, 北海道十勝国音調津のニッケル鉱(要旨). 地質学雑誌, 48巻, 118頁.
- 赤岡純一郎, 1941, 北海道日高産硫鉄ニッケル鉱に就いて. 地質学雑誌, 48巻, 275頁.
- 赤岡純一郎・杉本忠雄, 1941, 北海道の含ニッケル磁硫鉄鉱々床について(第一報). 北工試鉱物調査報告, 1号, 1~63頁.
- 橋本誠二, 1941, 十勝国広尾村音調津附近の地質及岩石. 北海道大学理学部卒業論文.
- 舟橋三男, 1941MS, 日高国様似郡幌満地方の地質及び岩石. 北大理地卒論(手記), 90号.
- 石橋正夫, 1941, 北海道に於ける蛇紋岩の進入とその接触変質作用(要旨). 地質学雑誌, 48巻, 287頁.
- 松本達郎, 1941, 日本白堊系層序の基礎的研究略報(III)(要旨). 地質学雑誌, 48巻, 17~37頁.
- 松本達郎, 1941, 日本白堊系層序の基礎的研究略報(IV)(要旨). 地質学雑誌, 48巻, 124~127頁.
- 小笠原義勝, 1941, 北海道襟裳岬の海岸段丘. 地質学雑誌, 48巻, 181~188頁.
- 大立目謙一郎, 1941, 日高南端部の所謂歌露礫岩層(要旨). 地質学雑誌, 48巻, 293号.
- 大立目謙一郎, 1941, 石狩国幌加内地方の推被衝上構造の新事実について. 矢部教授選歴記念論文集, 973~988頁.
- 杉山敏郎, 1941, 日高系中の含蘇虫類石灰岩の地質時代について. 地質学雑誌, 48巻, 189~195頁.
- 鈴木 醇, 1941, 北海道産石綿について I. 岩鉱, 26巻, 207~221頁.
- 鈴木 醇, 1941, 北海道産石綿について II. 岩鉱, 26巻, 265~281頁.
- 鈴木 醇, 1941, 北海道の石綿鉱床に就いて. 地質学雑誌, 48巻, 261~262頁.
- 矢部長克・杉山敏郎, 1941, 日高系中の含蘇虫類石灰岩の地質時代について. 地質学雑誌, 48巻, 189頁.

[1942]

- 石井清彦, 1942, 北海道日高国様似郡「ニッケル」鉱床調査報告. 地調報別輯, 1号, 頁.
- 小林治夫, 1942, 北海道日高国静内鉱山産自然銅の反射顕微鏡的研究. 地質学雑誌, 49巻, 376~389頁.
- 小林治夫, 1942, 北海道静内鉱山産自然銅. 地質学雑誌, 49巻, 444頁.
- 松本達郎, 1942, 日本白堊系層序の基礎的研究略報(V)(要旨). 地質学雑誌, 49巻, 149~168頁.
- Matsumoto, T., 1942, Fundamentals in the Cretaceous Stratigraphy of Japan, Part I. *Mem. Fac. Sci. Kyushu Imp. Univ.* vol. 1, p. 129-280.
- 松本達郎, 1942, 北海道, 樺太中軸部白堊系の層序学的分類に就いて. 地質学雑誌, 49巻, 92~111頁.
- 根本忠寛・三本杉巳代治・水口文作, 1942, 10万分の1地質図幅「登川」および同説明書. 北工試鉱物調査報告, 5号, 31頁.
- 鈴木 醇, 1942, 本邦産格魯謨鉄鉱石について(I). 岩鉱, 27巻, 115~127頁.
- 鈴木 醇, 1942, 本邦産格魯謨鉄鉱石に就いて(II). 岩鉱, 27巻, 193~204頁.
- 鈴木 醇, 1942, 北海道及び樺太の砂格魯謨鉄床. 岩鉱, 27巻, 229~239頁.

[1943]

- 原田準平, 1943, 本邦産含クローム鉱物に就て(II). 岩鉱, 29巻, 12~23頁.
- Kato, T. & Kobayashi, H., 1943, On the Origin of the Nickelliferous Pyrrhotite Deposit of Horoman Mine in Hokkaido. *Jap. Jour. Geol. Geogr.* vol. 19, p. ?-?.
- 小林治夫, 1943, 北海道日高国幌満鉱山産コバルト鉱物. 地質学雑誌, 50巻, 20~21頁.
- 紺野芳雄, 1943, 北海道幌満鉱山電気及び地震探鉱物調査報告. 地質学雑誌, 51巻, 15~24頁.
- Matsumoto, T., 1943, Fundamentals in the Cretaceous Stratigraphy of Japan, Part II & III. *Mem. Fac. Sci. Kyushu Imp. Univ.*, vol. 2, p. 97-237.
- 大立目謙一郎, 1943, 夕張炭田辺富内地方の地質構造, 特に押し被せ構造について. 地質学雑誌, 50巻, 185頁.
- 鈴木 醇, 1943, クローム鉄鉱石生成に関する一考察. 岩鉱, 29巻, 51~62頁.

[1944]

- 橋本誠二, 1944, 十勝国音調津附近二, 三の特殊深成岩について(要旨). 地質学雑誌, 51巻, 34~35頁.
- 堀 純郎, 1944, 日高に於ける蛇紋岩の産状について(要旨). 地質学雑誌, 51巻, 35~37頁.
- 舟橋三男, 1944, 石狩国幌加内地方の蛇紋岩に伴う特殊な角閃石岩類について. 地質学雑誌, 51巻, 119~131頁.
- 久網正典, 1944, 北海道日高国様似地方蛇紋岩の紅電気石へグマタイト. 岩鉱, 32巻, 191~194頁.
- 佐々保雄・湊 正雄・北大昭和17年度2年目学生, 1944, 石狩炭田北部の一断面(要旨). 地質学雑誌, 51巻, 61~64頁.
- 鈴木 醇, 1944, 本邦クローム鉱床調査概報. 学振第4常置委総合報告, 7号, 1~83頁.
- 鈴木 醇, 1944, 北海道の地質概観. 地質学雑誌, 51巻, 15~24頁.
- 矢島澄策, 1944, 北海道に於ける水銀鉱床について(要旨). 地質学雑誌, 51巻, 47頁.
- 横江就義, 1944, 北海道に於ける金属鉱業の概要. 北海道鉱山学会誌, 3巻, 16~19頁.

[1945]

[1946]

- Andrews, T. G., 1946, Nickel Deposits in Japan. *Nat. Res. Sec. Report*, no. 57, p. 1-19.
- 福田泰三, 1946, 日高国本倉, 日東鉱山附近の地質並びに鉱床. 北大理地卒論, 168号.
- 猪木幸男, 1946, 日高国糠平鉱山附近の地質及び鉱床. 北大理地卒論(手記), 172号.
- 菊地 徹, 1946, 日高国静内鉱山附近の地質鉱床について. 北大理地卒論(手記), 176号.
- 今田 正, 1946, 日高国右左府地方の地質及び鉱床. 北大理地卒論(手記), 173号.
- 村山正郎, 1946, 十勝国広尾郡音調津附近のニッケル鉱床. 北大理地卒論(手記), 174号.
- Natural Resources Section, 1946, Mineral Resources of Japan Proper, 1925-1945 (A Preliminary Report). *Nat. Res. Sec. Report* no. 44, p. 1-158.
- 鈴木 醇, 1946, 本邦石綿資源. 学振第58小委員会総合報告, 9号, 1~40頁.
- 鈴木 醇, 1946, 本邦クローム資源. 学振第58小委員会総合報告, 10号, 1~50頁.
- 鈴木 醇, 1946, 本邦白金資源. 学振第58小委員会総合報告

- 告, 11号, 1~35頁.
- 柳 治一, 1946, 日高国蘆茨山西丘陵及びその附近の温石綿
鉱床並びに岩石について. 北大理地卒論(手記), 175号.
[1947]
- Hilpert, Rowell S., 1947, Mercury resources in Japan. *Nat. Res.*
Sec. Report, no. 91, p. 1-62.
- 北海道鉱山学会, 1947, 北海道に於ける鉱山の概況. クロー
ム. 石綿. 実務資料, 第3~4輯, 11~20頁.
- Sampson, E., 1947, Description of Chromite Producing Areas
and Mines. *Nat. Res. Sec. Supplement Report*, no. 64.
- 鈴木 醇, 1947, 北海道の鉱産資源. 北海道の産業, 6号, 16
~18頁.
[1948]
- Harada, J., 1948, Chemical Analyses of Japanese Minerals.
Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV, vol. 7, p. 143-166.
- 橋本誠二, 1948, 十勝国音調津の含ニッケル磁硫鉄鉱並びに
石墨鉱床について. 北海道鉱業会誌, 2巻, 120~134頁.
- 舟橋三男, 1948, 日高帯と神居古潭帯の岩石について. 地団
研会誌, 2巻, 18~26頁.
- 舟橋三男, 1948, 幌満地方輝石橄欖岩体の周囲に認められる
変成現象. 北海道大学理学部紀要. 4類, 8巻, 31~63
頁.
- 高坂晴男, 1948MS, 北見国常呂地方の地質および岩石ならび
に含満俺赤鉄鉱床について. 北大卒論(手記).
- Lee, D. E. & Sample, R. D., 1948, Asbestos Resources of Japan.
Nat. Res. Sec. Report, no. 115, p. 1-32.
- 矢島澄策, 1948, 水銀鉱床について. 北海道鉱業会誌, 4巻,
39~51頁.
[1949]
- 原田準平, 1949, 北海道の満俺鉱床に就いて. 北海道鉱業会
誌, 5巻, 11~0頁.
- 橋本誠二, 1949, 日高山脈幌尻岳深成岩体に関して. 地球科
学, 1号, 1~6頁.
- 深田惇夫, 1949, 北海道中央山脈に発達する輝緑凝灰岩層中
の腕足類について. 地質学雑誌, 55巻, 123~124頁.
- 舟橋三男, 1949, 超塩基性火成岩に見られる二つの型に就い
て. 北海道地質要報, 12号, 6~9頁.
- 舟橋三男, 1949, 日高帯の混成岩前縁帯について. 地質学雑
誌, 55巻, 152頁.
- 桜井欽一, 1949, 北海道日高国ニセウ産イリドスミン. 鉱物
と地質学雑誌, 12号, 240頁.
- 佐藤光之助・柴藤喜平・小関幸治, 1949, 北海道音調津黒鉛
鉱山に於ける物理探鉱について. 地質学雑誌, 55巻, 126
頁.
- 鈴木 醇, 1949, 超塩基性岩並びにこれに附随する鉱床に関
する研究(日本地質学会総会会長講演). 地質学雑誌, 55
巻, 111~113頁.
- 竹田秀蔵・橋本 亘, 1949, 北海道白堊系の時代区分及び地
史の新解釈. 石技協誌, 14巻, 146~153頁.
[1950]
- 番場猛夫・関 陽太郎, 1950, 超塩基性岩類(小集會記事).
地質学雑誌, 56巻, 216頁.
- 地質学会超塩基性岩討論会, 1950, 超塩基性岩に関する諸問
題. 地質学雑誌, 56巻, 218頁.
- 古畑泰邦, 1950MS, 胆振国穂別地方の地質. 北大修卒論.
- Hashimoto, S., 1950, On the Nickel bearing Pyrrhotite and
Graphite Deposits of Oshirabetsu, Tokachi Province,
Hokkaido. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 7, p.
227-236.
- 舟橋三男, 1950, 幌満地方オナルシベ混成岩前縁帯. 地質学
雑誌, 56巻, 263頁.
- 猪木幸男, 1950, 幌満輝石橄欖岩体(幌泉幅調査第一報).
地調札支報, 2号, 1頁.
- 猪木幸男・番場猛夫, 1950, 幌満輝石橄欖岩体. 地質学雑誌,
56巻, 263頁.
- 木崎甲子郎・酒匂純俊, 1950, 日高国沙流川上流パンケヌシ
流域の地質. 北大理地修論(手記), 263号.
- 松井寛一・一杉武治・逆瀬川清丸, 1950, 北海道山部炭田占
冠地区及び穂別地区調査. 地調月報, 1巻, 44~49頁.
- 松井 愈, 1950, 紅葉山層について. 新生代の研究, 4号, 54
~59頁.
- 湊 正雄, 1950, 日高国元浦川および幌別川上流の石灰岩.
北海道地下資源調査報告, 1号, 1~7頁.
- 湊 正雄・浦野龍一, 1950, 日高国静内町近傍の第三紀層及
び三石断層の意義について. 新生代の研究, 6号, 4~11
頁.
- 大立目謙一郎, 1950, 夕張炭田夕張地方の地質構造一特に其
の推し被せ構造に就て. 北海道地下資源資料, 4号, 1~
30頁.
- 小関幸治, 1950, 日高国糠平鉱山附近のクローム鉄鉱床調
査報告. 地調月報, 1巻, 289~293頁.
- 小関幸治, 1950, 日高国糠平鉱山クローム鉄鉱床. 地調札
支報, 2号, 10頁.
- 斎藤昌之, 1950, 温石綿鉱床の形成機構に対する予察的見解.
北海道地質要報, 14号, 8~13頁.
- 佐藤光之助・柴藤喜平, 1950, 北海道十勝国音調津鉱山物理
探鉱物調査報告査報文. 地調月報, 1巻, 21~27頁.
- 沢 俊明, 1950, 日高国シベチヤリ川上流の地質及び鉱床に
ついて. 北大理地卒論(手記), 256号.
- 沢 俊明, 1950, シベチヤリ川上流域に見られる日高変成帯
西縁相. 地質学雑誌, 56巻, 263頁.
- 鈴木 醇, 1950, 本邦超塩基性岩類に附随する諸鉱床の生成
型式. 科学, 20巻, 16~24頁.
- 鈴木 醇, 1950, 北海道の砂白金. 北海道地下資源調査資料,
2号, 1~41頁, 北海道地質要報, 14号, 附録.
- 高畠 彰, 1950, 十勝国神威金鉱視察報告. 地調月報, 1号,
147~148頁.
- 浦野竜一, 1950, 日高国静内町附近の地質. 北大理地修論(手
記), 261号.
[1951]
- 番場猛夫, 1951, 沙流川中流の岩内岳の岩石について. 地質
学雑誌, 57巻, 300頁.
- 地質学会討論会, 1951, 日本の変成帯とそれに伴う火成岩(日
高に関するもの). 地質学雑誌, 57巻, 236頁.
- 橋本誠二, 1951, 幌尻岳進入岩体. 地質学雑誌, 57巻, 299
頁.
- 橋本誠二・日高研究グループ, 1951, 日高造山の時期につい
て. 地質学雑誌, 58巻, 345頁.
- 肥田 昇, 1951, 北海道日高地方の二, 三のクローム鉄鉱床
の産状, 特にその構造について. 地質学雑誌, 57巻,
337頁.
- 広田正一, 1951, 幌満川上流域の混成岩について. 東京文理
大理地卒論(手記).
- 広田正一, 1951, 日高帯に見られる所謂“花崗岩様混成岩”
の生成機構. 地質学雑誌, 57巻, 294頁.
- 舟橋三男, 1951, 北海道の日高帯と神居古潭帯の岩石. 地球
科学, 4号, 109~118頁.
- 舟橋三男, 1951, 合銅磁硫鉄鉱床“猿留鉱山”. 地球科学, 5

- 号, 7~14 頁.
- 舟橋三男, 1951, 日高帯の火成岩類と混成岩類との関係について. 地質学雑誌, 57 巻, 294 頁.
- 舟橋三男・橋本誠二, 1951, 日高帯の地質. 地団研専報, 6 号, 1~38 頁.
- 猪木幸男, 1951, 幌満地方ニカンベツ上流の磁硫鉄鉱々床に就いて (幌泉図幅調査第 II 報). 地調札支報, 3 号, 4 頁.
- 猪木幸男・浅井 宏・舟橋三男, 1951, 幌満地方ニカンベツ川上流の含ニッケル磁硫鉄鉱々床. 地質学雑誌, 57 巻, 336 頁.
- 猪木幸男・秦 光男, 1951, 幌満地方ニカンベツ川上流の磁硫鉄鉱々床について. 地調札支報, 3 号, 4 頁.
- 春日井 昭, 1951, 日高山脈南端庶野附近の地質. 北大理地修論 (手記), 274 号.
- 木崎甲子郎, 1951, 札内川上流右岸域の地質及岩石, 特に混成岩について. 北大理地卒論 (手記), 294 号.
- 木崎甲子郎・酒匂純俊, 1951, 十勝国札内川上流の混成岩. 地質学雑誌, 57 巻, 295 頁.
- 松井 愈, 1951, 胆振国新登川炭鉱付近の第三紀層. 新生代の研究, 8 号, 4~9 頁.
- 松井 愈・高橋 進, 1951, 紅葉山階ならびに滝の上階の火山活動の特性. 新生代の研究, 9 号, 1~8 頁.
- 松本達郎, 1951, 蝦夷層群と関門層群. 地質学雑誌, 57 巻, 95~98 頁.
- 湊 正雄・松井 愈, 1951, 日高国岩知志附近の石灰岩. 北海道地下資源調査資料報, 2 号, 1~7 頁.
- 西田彰一・対馬坤六, 1951, 留萌炭田の所謂硬質頁岩, 砂岩層の意義について. 新生代の研究, 11 号, 1~10 頁.
- 大立目謙一郎, 1951, 夕張炭田夕張地方の地質構造一特に其の推し被せ構造に就て. 北海道地質要報, 18 号, 資料, 1~30 頁.
- 斎藤昌之, 1951, 神居古潭変成帯に発達する超塩基性岩体の構造とそれに伴う鉱床の賦存形態. 地質学雑誌, 57 巻, 273 頁.
- 斎藤昌之・番場猛夫, 1951, 北海道沙流川, 鶴川中流々域の蛇紋岩体とクローム鉱床について. 地質学雑誌, 57 巻, 342 頁.
- 酒匂純俊, 1951, 十勝国札内川上流の地質及岩石, 特に深成岩について. 北大理地卒論 (手記), 295 号.
- 外崎与之, 1951, 猿留川流域の混成岩について. 東京文理大卒論 (手記)
- 外崎与之, 1951, 北海道日高国猿留川流域に発達する変成岩類並びに混成岩類の岩石学的研究. 北学芸, 3 巻, 40~49 頁.
- 対馬坤六・松野久也・山口昇一, 1951, 5 万分の 1 地質図幅および説明書「鬼鹿」. 地質調査所.
- Yabe, H., 1951, Stratigraphical relation of the Poronai and Ishikari groups in the Ishikari Coalfield, Hokkaido. *Proc. Japan Acad.*, vol. 27, p. 571-576.
- Asano, K., 1952, Paleogene Foraminifera from the Ishikari and Kushiro Coal-field, Hokkaido. *Short Paper. IGPS*, no. 4. [1952]
- 番場猛夫, 1952, クローム鉱床の構造について (要旨). 鉱山地質, 2 巻, 6 号, 234~235 頁.
- 地質学会討論会, 1952, 日本に於ける造山期ならびに造山輪廻. 地質学雑誌, 57 巻, 348 頁.
- 橋本 亘, 1952, 北海道珠羅系の地質. 地調報告, 特別号 (B), 1~64 頁, 地質調査所.
- 広田正一, 1952, 日高帯に見られる“花崗岩様混成岩類”の生成機構に関する一考察. 地質学雑誌, 58 巻, 155~164 頁.
- 広田正一, 1952, 日高帯の黒雲母片麻岩混成岩及び花崗岩中に存在するジルコンに就いて. 地質学雑誌, 58 巻, 273~274 頁.
- 北大理学部地質学鉱物学教室, 1952, 十勝沖地震調査報告. 北海道地質要報, 20 号, 1~24 頁.
- 北海道鉱業会編, 1952, 北海道の金属鉱業.
- 猪木幸男, 1952, 幌満地方の斑禰岩類に就いて. 地調札支報, 4 号, 8 頁.
- 猪木幸男, 1952, 幌満地方の斑禰岩類. 地質学雑誌, 57 巻, 280 頁.
- 猪木幸男・秦 光男, 1952, 幌満地方の斑禰岩類に就いて. 地調札支報, 4 号, 8 頁.
- 井島信五郎・品田芳二郎, 1952, 北海道天塩石安平志内油田北部地区地質調査報告. 地質調査所月報, 3 号, 109~619 頁.
- 河田 英・伊藤政夫, 1952, 穂別村穂別市街地地下水調査報告. 北海道地質調査会報告, 5 号, 21~28 頁.
- 木崎甲子郎, 1952, 分析値に於けるミグマタイトとその黒雲母について. 地質学雑誌, 57 巻, 252 頁.
- Matsumoto, T., 1952, A Note on the Cretaceous History of the Circum-Pacific Region. *Jap. Jour. Geol. Geogr.*, vol. 22, p. 109-118.
- 湊 正雄・深田淳夫・垣見俊弘・山田一雄, 1952, 日高国浦河町向別川上流の石灰石. 北海道地下資源調査資料報, 6 号, 29~31 頁.
- 湊 正雄・松井 愈, 1952, 日高国様似村様似川上流新富附近の石灰石. 北海道地下資源調査資料報, 6 号, 32~37 頁.
- 湊 正雄・魚住 悟・市川輝雄, 1952, 日高国様似村幌別川上流の石灰石. 北海道地下資源調査資料報, 6 号, 38~41 頁.
- 長尾捨一・小山内 照・酒匂純俊, 1952, 石狩国上川郡南富良野村・金山鹿越及幾寅付近の石灰石鉱床. 北海道地下資源調査資料, 4 号, 1~14 頁.
- 中野尊正, 1952, 第四紀の地形編年. (北海道日高山地と関東低地の例). INQUA 同支部紙, 1 号, 5 頁.
- 小関幸治, 1952, 日高国東別鉱山の温石綿鉱床. 北海道地下資源調査資料, 6 号, 21~25 頁.
- 小関幸治・渡辺芳次, 1952, 東別鉱山の温石綿鉱床. 地調札支報, 4 号, 10 頁.
- 斎藤 仁, 1952, 北海道の非金属鉱物資源. 産業タイムス, 8 巻, 12 頁.
- 酒匂純俊, 1952, 5 万分の 1 地質図幅「奥士別」および同説明書. 北海道開発庁, 42 頁.
- 佐々保雄, 1952, 北海道の地質および地下資源 (北海道現勢図譜解説書). 北海道科学技術連盟.
- 佐々保雄・根本忠寛・橋本 亘, 1952, 六十万分ノ一北海道地質図及説明書. 北海道庁総合開発委員会.
- Suzuki, J., 1952, Ultra Basic Rocks and Associated Ore Deposits of Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 8, p. 175-210.
- 鈴木 醇, 1952, 地下資源より見たる北海道の特殊性. 北海道鉱山学会誌, 8 巻, 1~4 頁.
- 鈴木 醇, 1952, 北海道に於ける鉱産資源の特殊性. 北海道経済同友会会報, 8 号, 3~4 頁.
- 高尾彰平, 1952, 石狩炭田 (特に夕張炭田) に於ける幌内層の層序と地質構造に関する研究. 石炭地質研究第 2 集,

- 北海道炭鉱技術会地質部会, 1~216頁。
 田中啓策・今井 功, 1952, 北海道空知郡芦別川流域の白亜系。地質学雑誌, 58巻, 291頁。
 [1953]
 浅井 宏, 1953, 幌満川上流の塩基性火成岩の産状。地質学雑誌, 59巻, 349~350頁。
 番場猛夫, 1953, 北海道の超塩基性岩にともなわれる尖晶石について。地質学雑誌, 59巻, 121~128頁。
 原田準平・鈴木 醇, 1953, 北海道における鉱床生成時期。地質学雑誌, 58巻, 342頁。
 春木清之助・石田正夫・高田浩二, 1953MS, 日高炭田平取及び慶能舞地区。札幌通産局石炭部。
 橋本誠二, 1953, 幌尻岳附近のはんれい角閃岩類の変成分化作用について。地質学雑誌, 59巻, 349頁。
 橋本誠二, 1953, 5万分の1地質図幅「札内岳」および同説明書。北海道立地下資源調査所, 57頁。
 Hashimoto, S., Minato, M. & Kobayashi, K., 1953, Zur Karbildung in Hidaka und Hida Gebirge, Japan. Act. IV Congr. INQUA p. 4-7.
 橋本 巨, 1953, 日高地方の燃料鑛床。産業タイムス, 8巻, 14~16頁。
 橋本 巨, 1953, 5万分の1地質図幅および同説明書「山部」。北海道開発庁, 82頁。
 早川正臣・猪木幸男, 1953, 北海道十勝沖地震調査概報。地調月報, 4巻, 27~36頁。
 広田正一, 1953, 日高帯南部の幌満川流域に分布する超塩基性乃至塩基性深成岩類の斜長石双晶。地質学雑誌, 59巻, 341頁。
 堀 純郎, 1953, 本邦の水銀鉱床。地調報告, 154号, 16~19, 106~107頁。
 深田惇夫・石井次郎・市川輝雄・四木正夫, 1953, 幾春別川流域の白亜系。北海道地質要報, 22号, 頁。
 舟橋三男, 1953, 5万分の1地質図幅「上江別」および同説明書。地質調査所, 32頁。
 猪木幸男, 1953, 幌満地方の輝石橄欖岩体(第一報)。地質学雑誌, 59巻, 111~121頁。
 猪木幸男, 1953, 幌満輝石橄欖岩体(第二報)。地質学雑誌, 59巻, 350頁。
 石橋正夫・舟橋三男, 1953, 音調津鉱山産キューハ鉱。北海道地質要報, 22号, 59頁。
 春日井 昭, 1953, 日高地方庶野ルーラン岩礁の岩石。地質学雑誌, 59巻, 350頁。
 河田 英, 1953, 三石町字歌笛附近地下水調査報告。北海道地質調査会報告, 7号, 18~20頁。
 木崎甲子郎, 1953, 日高帯札内川上流の変成岩及びミグマタイト類について。地質学雑誌, 59巻, 203~214頁。
 木崎甲子郎・猪木幸男・外崎与之・春日井昭, 1953, 日高帯南部の変成岩及びミグマタイト類について。地質学雑誌, 59巻, 349頁。
 松本達郎, 1953, 白堊紀。地史学(下巻), 朝倉書店, 378~440頁。
 小関幸治, 1953, 北海道八田右左府鉱山附近クローム鉄鉱床調査報告。地調月報, 4巻, 405~412頁。
 斎藤昌之, 1953, 沙流川鶴川流域のクローム鉄鉱床。北海道地下資源調査資料, 11号, 1~33頁。
 斎藤昌之・番場猛夫, 1953, 北海道日東クローム鉱山の鉱床形態。鉱山地質, 3巻, 30~39頁。
 坂口 豊, 1953, 日高山地周辺の地形に関する二, 三資料—第四紀編年を中心にして。地理評, 26巻, 563~570頁。
 産業タイムス, 1953, 日高総合開発特輯号。産業タイムス, 8巻。
 佐野正夫, 1953, 日高国幌満地域のニツケル鉱に就て。産業タイムス, 8巻, 12~13頁。
 佐藤博之, 1953, 十勝国音調津南方の地質及岩石。北大地理地卒論(手記), 337号。
 清水 勇・田中啓策・今井 功, 1953, 5万分の1地質図幅「上芦別」および説明書。北海道開発局, 78頁。
 鈴木 醇, 1953, 5万分の1地質図幅「深川」および同説明書。北海道開発庁, 44頁。
 Suzuki, J., 1953, Ultra-Basic Rocks and Associated Mineral Resources in Hokkaido, Japan. Proc. 7th Pacif. Sci. Congres, 2, Auckland and Christchurch. p. 245-248.
 鈴木 醇, 1953, 北海道産ロジン岩について(要旨)。地質学雑誌, 59巻, 348頁。
 鈴木淑夫, 1953, 日高山地及び北上山地に於ける酸性深成岩類の岩質について。地質学雑誌, 59巻, 341頁。
 高島 彰・梅本 悟, 1953, 北海道幌満鉱山ニツケル鉱床概査報告。地調月報, 4巻, 697頁。
 外崎与之, 1953, 日高国猿留川流域の混成岩類とその斜長石双晶。地質学雑誌, 59巻, 349頁。
 筒浦 明, 1953, 十勝沖地震によって変動した石油ガス性の“泥火山”日高新山の研究。石技協誌, 17巻, 295~361頁。
 山口昇之助, 1953, シベチヤリ黒田鉱山の電気探鉱について。産業タイムス, 8巻, 18~19頁。
 [1954]
 浅野 清, 1954, 古石狩海における有孔虫群の変遷。地質学雑誌, 60巻, 43~49頁。
 橋本誠二, 1954, 5万分の1地質図幅「御影」及び同説明書。北海道地下資源調査所, 36頁。
 橋本 巨, 1954, 北海道中生界の堆積と変形(要旨)。石技協誌, 19巻, 100頁。
 日高研究グループ, 1954, 日高帯の断面図ができるまで。地球科学, 18号, 1~5頁。
 日高研究グループ, 1954, 日高帯に於ける深成活動。地質学雑誌, 60巻, 298~299頁。
 猪木幸男・垣見俊弘, 1954, 日高南部第四系より介化石の発見。新生代の研究, 19号, 378頁。
 石川俊夫, 1954, クローム鉄鉱。日本鉱産誌 I-c, 150~190頁。
 菊地 徹・松村 明, 1954, 八田八幡鉱山のクローム鉄鉱床。地調札支報, 6号, 3頁。
 菊地 徹・松村 明, 1954, 北海道八田八幡鉱山のクローム鉄鉱床調査報告。地調月報, 5巻, 461~468頁。
 木崎甲子郎, 1954, 北海道雨龍郡鷹泊地方の蛇紋岩について。北海道地質要報, 25号, 1~12頁。
 Matsumoto, T., 1954, Selected Cretaceous leading Ammonites in Hokkaido and Sakhalin. In Matsumoto ed., The Cretaceous System in the Japanese Islands.
 湊 正雄・橋本誠二, 1954, ポロシリ氷期トッタベツ氷期, ポロシリトッタベツ間氷期。地質学雑誌, 60巻, 460頁。
 Minato, M. & Hashimoto, S., 1954, Zur Karbildung in Hidaka-Gebirge, Hokkaido, Japan. Proc. Jap. Acad., vol. 30, p. 106-108.
 湊 正雄・沢 俊明・武田裕幸, 1954, 日高層群より発見されたイノセラムス。北海道地質要報, 27号, 1~3頁。
 三谷勝利・藤原哲夫・石山俊三, 1976, 5万分の1地質図幅「上足寄」および同説明書。57頁, 北海道開発庁。
 長尾捨一・小山内 照・酒匂純俊, 1954, 5万分の1地質図

- 幅「大夕張」および同説明書。北海道開発庁, 121頁。
- 中島秀雄, 1954, 十勝国大樹村西方の地質。北大理地卒論(手記), 360頁。
- 中添 亮, 1954, 十勝国楽古川流域の地質。北大理地卒論(手記), 395頁。
- 小田切敏夫・小原常弘, 1954, 浦河町絵笛地下水調査報告。北海道地質調査会報告, 4巻, 405~412頁。
- 酒匂純俊, 1954, コイカクシュシベチヤリ川流域含銅硫化鉄鉱床調査報告。北海道地下資源調査報告, 12号, 25~46頁, 図版I~III。
- 酒匂純俊・長谷川潔, 1954, 新冠一様似地区(砂鉄)。未利鉄, 第1輯, 88~90頁。
- 酒匂純俊・長谷川潔, 1954, 北海道幌満鉱山(磁硫鉄鉱)。未利鉄, 第1輯, 297~300頁。
- 佐々木悌郎, 1954MS, 日高国門別町字広富附近の地質。北大理地卒論(手記), 365頁。
- 杉本良也・松井公平, 1954, 鶴川一新冠地区(砂鉄)。未利鉄, 第1輯, 84~87頁。
- Suzuki, J., 1954, On the Rodingitic Rocks within the Serpentinite Masses of Hokkaido. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV, vol. 8, p. 419-430.*
- 鈴木 醇, 1954, 北海道産枕状熔岩(Pillow lavas)に就いて。北海道地質要報, 26号, 11~20頁。
- 鈴木 醇・鈴木淑夫・大町北一郎・早川 彰, 1954, 幌別一鶴川地区。未利鉄, 第1輯, 76~84頁。
- 丹波 齊・森口耕三, 1954, 日高国新冠油田の地質。北大理地修論(手記), 394頁。
- 谷口久能, 1954MS, 日高国門別町字豊郷正和清島附近の地質。北大理地修論(手記), 377頁。
- 対馬坤六・松野久也・山口昇一, 1954, 5万分の1地質図幅および説明書「苫前」。地質調査所。
- 対馬坤六・山口昇一, 1954, 5万分の1地質図幅および説明書「留萌」。地質調査所。
- 梅本 悟, 1954, 穂別地区(砂鉄)。未利鉄, 第1輯, 98~101頁。
- Yabe, H., 1954, Mega-geotectonics of Northeast Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan, vol. 60, p. 275-278.*
- 山口昇之助, 1954, 日高国シベチヤリ地区黒田鉱山に於ける電気探鉱物調査報告書。北海道地下資源調査資料, 17号, 1~11頁。
- 山口昇之助・小原常弘, 1954, 日高国右左府地下水調査報告。北海道地質調査会報告, 14号, 35~41頁。
- 山口昇之助・小原常弘, 1954, 新冠村去竜山高江地下水調査報告。北海道地質調査会報告, 14号, 51~53頁。
- [1955]
- 浅井 宏, 1955, 北海道日高国幌満川上流の輝石片麻岩にともなうメタプラスチック岩石。地質学雑誌, 61巻, 364頁。
- 浅井 宏, 1955, 日高国幌満川中流にみられる褐色角閃石斜長石片麻岩の逆転構造。北海道地質要報, 32巻, 24頁。
- 番場猛夫, 1955, 岩内岳橄欖岩体。北海道地質要報, 29号, 7~14頁。
- 番場猛夫・渡辺芳次, 1955, 音調津鉱山。未利鉄, 第2輯, 232~237頁。
- 地質調査所北海道支所探鉱課, 1955, 北海道のチタン資源。地調報告, 165号, 1~155頁。
- 長谷川 潔・酒匂純俊・沢 俊明・木崎甲子郎・鈴木 守・中島秀雄・松下勝秀・中添 亮, 1955, 日高変成帯の構造。地質学雑誌, 61巻, 363頁。
- 橋本誠二, 1955, 日高帯はんれい岩に伴なわれる石墨鉱床。北海道地質要報, 32巻, 24頁。
- 橋本誠二, 1955, 日高山脈の圍谷。地球科学, 21巻, 12~14頁。
- 橋本誠二, 1955, 日高山脈幌尻岳附近のはんれい角閃岩類について。北海道地質要報, 28号, 1~10頁。
- 橋本誠二・熊野純男, 1955, 北部日高山脈の氷蝕地形。地質学雑誌, 60巻, 208~217頁。
- Hashimoto, S. & Minato, M., 1955, On the Ice-Ages and Post Glacial Age of the Hidaka Mountain Range. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV, vol. 9, p. 7-20.*
- 橋本 亘, 1955, 5万分の1地質図幅および同説明書「下富良野」。北海道開発庁, 71頁。
- 橋本 亘, 1955, 十勝支庁管内の地質及び地下資源。十勝総合開発促進期成会。
- 広田正一, 1955, 北海道日高南部の幌満川流域に分布するはんれい岩~かんらん岩類の斜長石双晶について。教育大研報, 4巻, 46~55頁。
- 舟橋三男, 1955, 日本のアルプス造山運動(1)。自然, 10巻, 10~19頁。
- 舟橋三男, 1955, 日本のアルプス造山運動(2)。自然, 10巻, 60~69頁。
- 舟橋三男・橋本誠二・浅井 宏・猪木幸男・木崎甲子郎・外崎与之・広田正一・春日井 昭, 1955, 日高変成帯南端部の構造(演旨)。地質学雑誌, 61巻, 363頁。
- 舟橋三男・沢 俊明・秋葉 力・酒匂純俊, 1955, 日高帯の含銅硫化鉄鉱床。地質学雑誌, 61巻, 327頁。
- 猪木幸男・垣見俊弘, 1955, 襟裳岬図幅調査報告。地調札支報, 7号, 1~2頁。
- 越野 正・橋本誠二・鈴木 守・浅井 宏・酒匂純俊, 1955, 日高変成帯の深成活動。地質学雑誌, 61巻, 364頁。
- 松野久也・山口昇一, 1955, 下々方図幅調査報告(第一報)(特に第三紀層の岩相変化について)。地調札支報, 7号, 2頁。
- 松野久也・山口昇一, 1955, 5万分の1地質図幅「羽幌」および同説明書。地質調査所, 9頁。
- 松下勝秀, 1955, 日高国様似郡様似町字新富地方の地質。北大理地卒論(手記), 396頁。
- Minato, M., 1955, Zu den Mammoteus faunen Hokkaidos. *Jap. Jour. Geol. Geogr., vol. 26, p. 105-113.*
- 湊 正雄・猪木幸男・垣見俊弘, 1955, 北海道襟裳岬附近からマンモス象臼齒の発見。地質学雑誌, 61巻, 274頁。
- 斎藤正雄, 1955, 北海道のチタン資源の概況。地調札支報, 7号, 5頁。
- 酒匂純俊, 1955, 様似一庶野地区(砂鉄)。未利鉄, 第2輯, 1~2頁。
- 酒匂純俊・小山内 照, 1955, 5万分の1地質図幅「下川」および同説明書。北海道開発庁, 54頁。
- 鈴木 醇, 1955, 5万分の1地質図幅「旭川」および同説明書。北海道開発庁, 32頁。
- 鈴木 醇, 1955, 砂白金。日本鉱産誌, B. 1~2, 105~131頁。
- 手島 淳, 1955, 幌内層の研究(その1)一特に幌内層中の大型化石の量的扱いによる分帯について。地質学雑誌, 61巻, 73~86頁。
- 外崎与之, 1955, 日高国猿留川流域の珪線石, 堇青石の斑状変晶をふくむ片麻岩質ミグマタイトについて。北海道地質要報, 32号, 24頁。
- 梅本 悟, 1955, 穂別, 志文の山岳型合チタン砂鉄鉱床。地調札支報, 7号, 6頁。

- 梅本 悟・五十嵐昭明, 1955, 日高国春別及び三石水銀鉱床, 地調札支報, 7号, 11頁.
- 梅本 悟・五十嵐昭明, 1955, 日高国春別及び三石水銀鉱床調査報告. 北海道地下資源調査資料, 21号, 15~23頁.
- 浦野竜一・越野 清, 1955, 日高国静内町地下水調査. 新生代の研究, 22巻, 440~447頁.
- 吉田 尚・神戸信和, 1955, 5万分の1地質図幅「幾春別岳」および同図幅説明書. 北海道開発庁, 31頁.
[1956]
- 浅井 宏, 1956, 日高国幌満川中流の褐色角閃石斜長石片麻岩の擦れ構造. 地質学雑誌, 62巻, 121~127頁.
- 浅井 宏, 1956, 日高国幌満川上流の黒雲母一斜方輝石一斜長石片麻岩に伴われる塩基性メタプラスチック岩. 地質学雑誌, 62巻, 177~188頁.
- 浅井 宏, 1956, 日高国幌満川中流にみられる二, 三の含堇青石片麻岩. 地質学雑誌, 62巻, 393頁.
- 浅井 宏, 1956, 日高国ニオベツ川の混成岩帯に見出された斜長石石榴石紫蘇輝石角閃石岩の流石. 岩鉱, 40巻, 21~27頁.
- 浅井 宏, 1956, 日高国幌満川中流の塩基性捕獲岩. 岩鉱, 40巻, 93~103頁.
- 浅井 宏, 1956, 幌満川上流(パンケ川)の混成岩帯に見出された超塩基性岩の流石. 岩鉱, 40巻, 246~249頁.
- 番場猛夫・松村 明・越野 正・橋本誠二, 1956, 北海道千露呂川上流のチタン鉱床(予報). 鉱山地質, 6巻, 21号, 188~192頁.
- 遠藤隆司・橋本 巨, 1956, 北海道より二疊紀化石の発見とその意義. 地質学雑誌, 62巻, 241~243頁.
- 舟橋三男・橋本誠二・浅井 宏・猪木幸男・外崎与之・木崎甲子郎・広田正一・春日井 昭, 1956, 日高帯南端部の変成岩類について. 第1部 変成岩類の分布状態. 地質学雑誌, 62巻, 401~408頁.
- 舟橋三男・橋本誠二・浅井 宏・猪木幸男・外崎与之・木崎甲子郎・広田正一・春日井 昭, 1956, 日高帯南端部の変成岩類について. 第2部 岩質と化学組成について. 地質学雑誌, 62巻, 464~471頁.
- 舟橋三男・橋本誠二・浅井 宏・猪木幸男・外崎与之・木崎甲子郎・広田正一・春日井 昭, 1956, 日高帯南端部の変成岩類について. 第3部 構造運動について. 地質学雑誌, 62巻, 541~549頁.
- 舟橋三男・橋本誠二・沢 俊明・斎藤正雄・斎藤義人, 1956, 幌満鉱山(磁硫鉄鉱). 未利鉄, 第三輯, 216~222頁.
- 舟橋三男・猪木幸男, 1956, 5万分の1地質図幅「幌泉」および同説明書. 地質調査所, 64頁.
- 猪木幸男, 1956, 幌加内付近の枕状熔岩. 北海道地質要報, 33号, 27~28頁.
- 猪木幸男・桑 光男, 1956, 5万分の1地質図幅「猿留」および同説明書. 地質調査所, 28頁.
- 猪木幸男・舟橋三男, 1956, 5万分の1地質図幅「幌泉」及び同説明書. 頁. 地質調査所.
- 猪木幸男・垣見俊弘, 1956, 5万分の1地質図幅「襟裳岬」および同説明書. 地質調査所, 22頁.
- 今西 茂, 1956, 5万分の1地質図幅「名寄」および同説明書. 北海道地下資源調査所, 45頁.
- 猪木幸男・桑 光男, 1956, 5万分の1地質図幅「猿留」および同説明書. 地質調査所, 34頁.
- 石橋正夫, 1956, 音調津鉱山産のワイオラル鉱. 北海道地質要報, 31号, 24頁.
- 石橋正夫, 1956, 音調津鉱山産の紅ニッケル鉱. 北海道地質要報, 32号, 23頁.
- 河野義礼・松井和典・清水 勇, 1956, 5万分の1地質図幅「歌志内」および同説明書. 北海道開発庁, 52頁.
- 木崎甲子郎, 1956, 日高変成帯南部, 音調津山地のミグマタイトの構造について. 地質学雑誌, 62巻, 415~430頁.
- Kizaki, K., 1956, Petrofabrics of the Oshirabetsu Dome in the Southern Hidaka Metamorphic Zone, Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ. Ser. IV.*, vol. 9, p. 289-317.
- 松村 明・野口 勝・中川忠夫, 1956, 穂別地区. 未利鉄, 第3輯, 46~47頁.
- 松野久也・山口昇一, 1956, 下々方図幅調査報告. 地調札支報, 8号, 1頁.
- 斎藤昌之, 1956, クローム鉄鉱床の形態とその探査. 地球科学, 30号, 19~25頁.
- 酒匂純俊・山口久之助・小原常弘, 1956, 十勝川上流地域鉱床調査報告. 北海道地下資源調査資料, 27号, 1~28頁.
- 沢 俊明, 1956, 北海道日高国高隆鉱山の含銅硫化鉄鉱床について. 鉱山地質, 6巻, (22号), 207~222頁.
- 志保井利夫・近藤皓二, 1956, 音調津鉱山の鉱床について. 鉱山地質, 6巻, 38頁.
- 鈴木 醇, 1956, クローム鉄鉱床の成因. 鉱床学の進歩, 富山房, 41~48頁.
- 外崎与之, 1956, 日高帯猿留川流域の珪線石, 堇青石の斑状変晶をふくむ片麻岩質ミグマタイト. 地質学雑誌, 62巻, 114~115頁.
- 外崎与之, 1956, 日高国日黒地方にみられる輝緑岩について. 岩鉱, 40巻, 82頁.
- 外崎与之, 1956, 日高帯猿留川地域のミグマタイトにともなう包有岩. I. 岩鉱, 40巻, 163~168頁.
- 外崎与之, 1956, 日高帯猿留川地域のミグマタイトにともなう包有岩. II. 岩鉱, 40巻, 196~203頁.
- 外崎与之, 1956, 日高帯猿留川地域における花崗岩質ミグマタイトについて. 地質学雑誌, 62巻, 449~463頁.
[1957]
- 浅井 宏, 1957, 日高国幌満川流域の二, 三の含堇青石岩. 岩鉱, 41巻, 97~106頁.
- 浅井 宏・舟橋三男, 1957, 日高幌満川中流オナルシベ河谷の岩石. 地質学雑誌, 63巻, 437頁.
- 番場猛夫, 1957, 北海道のクロム鉱床. 1 日高, 胆振地方のクロム鉱床. 地質調査所報告, 176号, 1~60頁.
- 番場猛夫・渡辺芳次, 1957, 十勝音調津鉱山の含ニッケル磁硫鉄鉱床. 地調札支報, 9号, 2頁.
- Ehara, S., 1957, Geotectonics of the Pacific concerning the Japanese Islands: Geotectonics of Northern Honshu, Hokkaido and the Chishima Islands. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 63, p. 82-99.
- 藤江 力・魚住 悟, 1957, 北海道新第三紀化石動物群の変遷(予報)一その1化石群集の概観と地質分布一, 新生代化石解説(25). 新生代の研究, 23号, 32~37頁.
- 長谷川 潔・日高研究グループ, 1957, 北海道中軸の礫の問題ならびに日高造山の時期について. 地質学雑誌, 63巻.
- 橋本誠二・番場猛夫・五十嵐昭明, 1957, 日高国沙流郡日高村チロク川チタン鉄鉱床床調査報告. 北海道地下資源調査資料, 31号, 1~14頁.
- 橋本 巨, 1957, 北海道地質構造史に関する二, 三の問題. 地質学雑誌, 63巻, 404頁.
- Hunahashi, M., 1957, Alpine orogenic movement in Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., ser. IV*, vol 9, p. 415-469.

- 舟橋三男・橋本誠二・沢 俊明・斎藤正雄・斎藤義人, 1957, 日高国様似郡幌満鉱山の含ニッケル磁硫鉄鉱々床調査報告. 北海道地下資源調査資料, 31号, 1~40頁.
- 五十嵐昭明・沢 俊明, 1957, 幌満二カンバツ地区. 未利鉄, 第四輯, 269~275頁.
- 今井 功・角 靖夫, 1957, 日高平取附近の第三系. 地質学雑誌, 63巻, 424頁.
- 今井 功・角 靖夫, 1957, 5万分の1地質図幅「富川」及び同説明書. 北海道開発庁, 52頁.
- 春日井 昭, 1957, 日高変成帯南端, 豊似岳周辺のミグマタイトの構造. 第一部 構造運動について. 地質学雑誌, 63巻, 465~474頁.
- 春日井 昭, 1957, 日高変成帯南端, 豊似岳周辺のミグマタイトの構造. 第二部 構造運動と変成作用との関連について. 地質学雑誌, 63巻, 527~540頁.
- 木崎甲子郎, 1957, 日高変成帯のミグマタイト中に発見された球状岩. 北海道地質要報, 34号, 5~6頁.
- 木崎甲子郎, 1957, 日高変成帯音調津地方にみられる交代性岩床. 地質学雑誌, 63巻, 421頁.
- 小林 勇・垣見俊弘・植村 武・桑 光男, 1957, 5万分の1地質図幅「滝川」および同説明書. 北海道開発庁, 36頁.
- 松井 愈, 1957, 金山炭田ペペルシ沢の“幌内層”(ペペルシ層(新称)). 地質学雑誌, 63巻, 317~322頁.
- 松野久也・山口昇一, 1957, 比宇図幅調査報告, その一. 地調札支報, 9号, 9頁.
- 松下勝秀, 1957, 日高南部衝上断層前縁帯の地質構造について. 北大理地修士論文(手記), 8号.
- 中島秀雄・湊 正雄, 1957, 日高山脈西翼地域のイノセラムスの新産地. 地質学雑誌, 63巻, 414頁.
- 酒匂純俊・長谷川潔, 1957, 5万分の1図幅「十勝川上流」および同説明書. 北海道開発庁, 38頁.
- 酒匂純俊・鈴木 守・松井公平, 1957, 富良野鉱山の磁流鉄鉱床. 北海道地下資源調査資料, 35号, 1~17頁.
- 沢 俊明・斎藤正雄, 1957, 日高国幌満鉱山の含ニッケル磁硫鉄鉱々床. 地調札支報, 9号, 18頁.
- 鈴木 醇, 1957, 5万分の1地質図幅「比布」および同説明書. 北海道開発庁, 32頁.
- 鈴木 醇・沢 俊明, 1957, 北海道岩石雑記(16)日高様似附近のひん岩々脈. 北海道地質要報, 35号, 33~34頁.
- 鈴木 守・橋本誠二・浅井 宏, 1957, 日高帯楽古岳西方の塩基性岩. 地質学雑誌, 63巻, 437頁.
- Suzuki, Y., 1957, On the Granitic Rocks in Hokkaido. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 9, p. 519-538.
- 外崎与之, 1957, 日高帯猿留川地域のミグマタイトおよび片麻岩に産する珪線石, 堇青石. 北海道地質要報, 35巻, 13~20頁.
- 外崎与之, 1957, 南部日高帯猿留川地方の片麻岩類. 岩鉱, 41巻, 106~116頁.
- 梅本 悟・松村 明, 1957, 北海道勇払郡穂別および紋別市志文含チタン砂鉄鉱床. 地調月報, 8巻, 113~118頁.
- 浦野竜一, 1957, 北海道日高国浦河町北方の下部白堊系. 地質学雑誌, 63巻, 57~66頁.
- [1958]
- 浅井 宏, 1958, 日高幌満川中流の二, 三の塩基性片状岩. 岩鉱, 42巻, 53~64頁.
- 浅井 宏, 1958, 幌満川上流の塩基性岩には含まれた珪長質変成岩中の所謂“変成石灰質団球”. 岩鉱, 42巻, 215~227頁.
- 番場猛夫, 1958, 北海道および中国地方のクロム鉱床の特性. 鈴木醇教授還暦記念論文集, 441~450頁.
- Fujii, K., 1958, Petrography of the Cretaceous sandstone of Hokkaido, Japan. *Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ., Ser. D, Geol.*, vol. 6, p. 129-152.
- 長谷川 潔・酒匂純俊, 1958, 5万分の1地質図幅「神威岳」及び同説明書. 53頁, 北海道開発庁.
- 橋本誠二, 1958, 日高変成帯. 鈴木 醇教授還暦記念論文集, 17~36頁.
- 橋本 亘, 1958, 20万分の1北海道地質図および説明書. 北海道地下資源調査所.
- 橋本 亘, 1958, 5万分の1地質図幅「山部」および同図幅説明書. 北海道開発庁.
- 橋本 亘, 1958, 豊頃一北見帯から発見した中生代型化石. 日本の後期中生界研究連絡誌, 7号, 41~42頁.
- 橋本 亘, 1958, 蝦夷一樺太地向斜地域の地史に関する考察. 藤本治義教授還暦記念論文集, 101~112頁.
- 橋本 亘, 1958, 北海道の地質. 20万分ノ一北海道地質図説明書, 北海道立地下資源調査所, 26頁.
- 橋本 亘, 1958, 北海道の地質(I). 地下資源, 創刊号, 26~28頁.
- 橋本 亘, 1958, 北海道の地質(II). 地下資源, 2号, 18~24頁.
- 舟橋三男, 1958, 北海道の変成岩および深成岩. 二十万分ノ一北海道地質図説明書, 37~40頁.
- 舟橋三男, 1958, 神居古潭構造帯. 鈴木 醇教授還暦記念論文集, 37~52頁.
- 舟橋三男・橋本誠二, 1958, 襟裳めぐり地質案内. 北大理学部地質学鉱物学教室.
- 猪木幸男・田中啓策・桑 光男・佐藤博之, 1958, 5万分の1地質図幅「幌加内」および同説明書. 55+9頁, 地質調査所.
- 石橋正夫, 1958, 北海道の賤金属鉱床区. 鈴木 醇教授還暦記念論文集, 412~420頁.
- 石橋正夫・笛木 敏, 1958, 穂別鉱山産出砂鉄の性状について. 北海道鉱山学会誌, 14巻, 19~25頁.
- 石川俊夫, 1958, 北海道の火山岩. 二十万分ノ一北海道地質図説明書, 27~36頁.
- 垣見俊弘・植村 武, 1958, 5万分の1地質図幅「月形」および同説明書. 地質調査所, 54+12頁.
- 木崎甲子郎, 1958, 日高帯におけるミグマタイトの変成作用—とくに化学成分の総合的検討. 鈴木醇教授還暦記念論文集, 325~336頁.
- 木崎甲子郎, 1958, 日高帯のミグマタイト化作用. 地球科学, 35号, 2~5頁.
- 木崎甲子郎・金 詰祐, 1958, 日高変成帯, 縞状片麻岩中に発見されたマンガン団球. 北海道地質要報, 36号, 14~15頁.
- 松野久也・山口昇一, 1958, 日高地方の中新世化石動物群について. 地調札支報, 10号, 33頁.
- 松野久也・山口昇一, 1958, 5万分の1地質図幅「静内」および同説明書. 北海道開発庁, 36頁.
- 長尾捨一, 1958, 北海道の燃料鉱床. 1/20万北海道地質図説明書, 55~58頁.
- 中島秀雄・鈴木 守・平井喜郎, 1958, 日高山脈西方時代末群の化石新産地. 北海道地質要報, 36号, 1~5頁.
- 小山内 熙・長尾捨一・三谷勝利・長谷川 潔・橋本 亘, 1958, 5万分の1地質図幅「石狩金山」および同説明書. 北海道開発庁, 80頁.

- 斎藤昌之, 1958, 蛇紋岩化作用と温石綿の形成. 鈴木醇教授還暦記念論文集, 421~432 頁.
- 斎藤昌之, 1958, 北海道の金属鉱床及び非金属鉱床. 二十万分之一北海道地質図説明書, 41~54 頁.
- 斎藤昌之, 1958, 北海道の金属鉱床 (I). 地下資源, 2 号, 25~32 頁.
- 沢 俊明, 1958, 北海道日高国静内鉱山のアンチモニー鉱床. 鉱山地質, 8 巻, 28 号, 67~74 頁.
- 沢 俊明, 1958, 北海道中軸地帯の含銅硫化鉄鉱床. 鈴木醇教授還暦記念論文集, 464~472 頁.
- 沢 俊明・五十嵐昭明, 1958, 日高国幌満ニカンベツ地方の含銅硫化鉄鉱床及び含ニツケル磁鉄鉱床. 地調札支報, 10 号, 23 頁.
- 鈴木醇教授還暦記念会, 1958, 鈴木醇教授還暦記念論文集.
- 鈴木 醇, 1958, 神居古潭結晶片岩中の特殊鉱物について. 鉱物学雑誌, 3 巻, (原田教授還暦記念号), 660~673 頁.
- 鈴木 醇, 1958, 北海道の地質に関する諸問題. 地質学雑誌, 64 巻, 663~674 頁.
- 手島 淳, 1958, 幌内層の研究 (その 2) - 幌内層化石の東西方向の性状, および東方同層欠如部の推定. 地質学雑誌, 64 巻, 45~50 頁.
- 対馬坤六・田中啓策・松野久也・山口昇一, 1958, 5 万分の 1 地質図幅および説明書「達布」. 地質調査所.
- 魚住 悟・藤江 力, 1958, 北海道の第三紀対比一新第三紀対比試案について. 新生代の研究, 26 号, 24~37 頁.
- 矢島澄策, 1958, 日本の水銀鉱床. 鈴木醇教授還暦記念論文集, 379~393 頁.
- 山口昇一, 1958, 5 万分の 1 地質図幅「門別」および同説明書. 地質調査所.
- 山口昇一・松野久也・今井 功・角 靖夫, 1958, 北海道中央南部太平洋岸の上部新第三系について. 地調札支報, 10 号, 7 頁.
- [1959]
- 秋葉 力・大森 保, 1959, 北海道礼文島から *Criocerat* の発見とその意義. 地質学雑誌, 65 巻, 786 頁.
- 浅井 宏, 1959, 日高国幌満川上流の斑レイ岩質閃緑岩中の珪長質変成岩並びにこれに伴う細粒包有岩, I, II, 追補. 岩鉱, 43 巻, 26~35, 73~84, 215~227 頁.
- 番場猛夫, 1959, 北見国頓別川流域および天塩国間寒別川流域の砂クロム. 北海道地下資源調査資料, 45 号, 1-41 頁.
- 遠藤隆司・橋本 巨, 1959, 北海道常呂郡訓子府町大谷沢に露出する石灰岩より *Pycnoporidium* の発見. 地質学雑誌, 65 巻, 394 頁.
- 長谷川 潔・三谷勝利, 1959, 5 万分の 1 地質図幅「根室北部」および説明書. 北海道立地下資源調査所.
- 橋本 巨, 1959, 北海道の地質 (III). 地下資源, 3 号, 13~20 頁.
- 北海道開発局, 1959, 北海道日高地方地質鉱床に関する文献目録. 北海道総合開発計画調査特殊地帯地下資源調査資料, 1 号, 35 頁.
- 猪木幸男, 1959, 北海道幌加内付近における角閃岩と蛇紋岩の関係について. 地質学雑誌, 65 巻, 173~183 頁.
- 猪木幸男, 1959, 5 万分の 1 地質図幅「敏音知」および説明書. 地質調査所, 47 頁.
- 木崎甲子郎, 1959, 日高造山の意義一造山運動の新しい考え方. 新生代の研究, 30 号, 28~39 頁.
- Matsumoto, T., 1959, Zonation of the upper Cretaceous in Japan. *Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ., ser. D*, vol. 9, p. 55-93.
- 小山内 照・松下勝秀, 1959, 日高山脈西縁の白亜系 I. 双珠別・千呂露・シビチャリ地域の白亜系の層序. 地下資源調査所資料, 21 号, 17~28 頁.
- 小山内 照・三谷勝利・北川芳男, 1959, 5 万分の 1 地質図幅「宗谷および宗谷岬」および同説明書. 北海道立地下資源調査所, 52 頁.
- 斎藤昌之, 1959, 北海道の金属鉱床 (II). 地下資源, 3 号, 21~24 頁.
- Suzuki, J. & Suzuki, Y., 1959, Petrological study of Kamuikotan metamorphic complex in Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 10, p. 349-446.
- 鈴木 守・橋本誠二・浅井 宏・松下勝秀, 1957, 5 万分の 1 地質図幅「楽古岳」および同説明書. 北海道開発庁, 63 頁.
- 鈴木 守・酒匂純俊・松井公平, 1959, 北海道富良野町西方山地のホルンフェルス. 岩鉱, 43 巻, 36~41 頁.
- 高橋功二, 1959, 手塩・安平志内川流域の上部白亜系. 地質学雑誌, 65 巻, 455~456 頁.
- 田中啓策, 1959, 石狩炭田空知背斜地域の白亜系, とくに上部蝦夷層群の堆積について. 地質調査所月報, 10 巻, 1063~1077 頁.
- 山口昇一・佐藤博之・松野久也, 1959, 日高国貫気別一静内地域の地質構造および東静内近傍の地質概報. 新生代の研究, 29 号, 1~6 頁.
- 吉田 尚・松野久也・佐藤博之・山口昇一, 1959, 5 万分の 1 地質図幅「比宇」および同説明書. 北海道開発庁, 47 頁.
- [1960]
- 吾妻 讓, 1960, 北部石狩低地帯周辺の滝川層群. 北海道地質要報, 39 号, 19~40 頁.
- 浅井 宏, 1960, 日高幌満川流域の橄欖石斑輝岩・橄欖石ノーライト, I. 岩鉱, 44 巻, 242~248 頁.
- 浅井 宏, 1960, 日高国幌満川中流の黒雲母混成岩に伴うノーライト・ハイパライト化作用, I. 岩鉱, 44 巻, 83~89 頁.
- 浅井 宏, 1960, 日高国幌満川中流の黒雲母混成岩に伴うノーライト・ハイパライト化作用, II. 岩鉱, 44 巻, 213~220 頁.
- 土居繁雄・酒匂純俊・金 詰祐・太田昌秀, 1960, 5 万分の 1 地質図幅「仁宇布」および同説明書. 北海道開発庁, 37 頁.
- Endo, R., 1960, Discovery of *Pycnoporidium lobatum* from Jurassic Torinosu limestone strata exposed in Kitaminokuni, Hokkaido. *Sci. Rep. Saitama Univ. (B)*, no. 111, p. 271-272.
- 原田順平・舟橋三男・小林英夫, 1960, 日高国アボイ岳かんらん岩帯調査報告. 特殊地帯地下資源開発調査, 日高地域調査報告 3 号, 35~54 頁.
- 長谷川 潔, 1960, 北海道中央地域に分布する非顕晶質輝緑岩. 地下資源調査所報告, 24 号, 60~62 頁.
- 橋本誠二・武田裕幸, 1960, 5 万分の 1 地質図幅「広尾」および説明書. 北海道開発庁, 40 頁.
- Hashimoto, W., 1960, Stromatoporoids from the Aionai Limestone, Kitami Province, Hokkaido. *Sci. Rept. Tokyo Univ. of Education (C)*, vol. 65, p. 195-203.
- Hashimoto, W., 1960, Yezoactinica, a new hidrozoan fossil from Shotonbetsu, Nakatonbetsu-machi, Esashi-gun, Hokkaido (Yezo), Japan. *Sci. Rept. Tokyo Univ., of Education. (C)*,

vol. 60, p. 95-97.

- 橋本 巨, 1960, 北海道の下部蝦夷層群以前の地層に関する諸問題. 東北大学理科報告(地質学), 特別号, 4号(半沢教授記念論文集), 437~447頁.
- 橋本 巨・猪郷久義・朝倉一悦・館野俊男・長瀬和雄, 1960, 北海道石狩国樺戸山地より紡錘虫化石の発見. 地質学雑誌, 66巻, 361頁.
- 橋本 巨・猪郷久義・朝倉一悦・館野俊男・長瀬和雄, 1960, 北海道樺戸山地の隈根尻層群について. 地質学雑誌, 66巻, 467頁.
- 広田正一, 1960, 北海道日高南部幌満川上流地域の黒雲母片麻岩類およびミグマタイト類について. 地質学雑誌, 66巻, 517~537頁.
- 舟橋三男・斎藤昌之, 1960, 北海道の金属鉱床. 北海道の地下資源, 37~60頁, 北海道開発庁.
- 松野久也・秦 光男, 1960, 5万分の1地質図幅「追分」および同説明書. 北海道開発庁, 34頁.
- 松野久也・石田正夫, 1960, 5万分の1地質図幅「早来」および同説明書. 北海道開発庁, 35頁.
- 松野久也・木野義人, 1960, 5万分の1地質図幅「築別炭鉱」および同説明書. 北海道開発庁, 43頁.
- 小山内 熙・松下勝秀, 1960, 日高山脈西縁の白亜系 II. 右左府, 糠平川, 新冠川・宿主別川, イドンナップ川, アブカサンベ沢, 高見, 三石・舞舞川地域の白亜系の層序. 地下資源調査所資料, 24号, 19~37頁.
- 斎藤正之・土居繁雄・長谷川 潔, 1960, 5万分の1地質図幅「石狩岳」および同説明書. 43頁, 北海道開発庁.
- Sasa, Y. & Koiwai, T., 1960, *Geologic map of Toyohara-Wakkanai*.
- 佐藤博之・山口昇一, 1960, 5万分の1地質図幅および説明書「春立」. 地質調査所.
- 鈴木 守, 1960, 宿主別川流域の赤鉄鉱々床. 地下資源調査所報告, 60号, 20~30頁.
- 山口昇一, 1960, 5万分の1地質図幅「舘川」および同説明書. 地質調査所, 29頁.
- [1961]
- 吾妻 譲, 1961, 由仁平野と馬追丘陵の地下構造(その1). 石油技術協会誌, 26巻, 4号, 11~21頁.
- 吾妻 譲, 1961, 由仁平野と馬追丘陵の地下構造(その2). 石油技術協会誌, 26巻, 7号, 1~7頁.
- 浅井 宏, 1961, 日高幌満川流域の橄欖石斑縞岩・橄欖石ノーライト, II. 岩鉱, 45巻, 108~114頁.
- 浅井 宏, 1961, 日高幌満川流域の橄欖石斑縞岩・橄欖石ノーライト, 追補. 岩鉱, 45巻, 155~161頁.
- 土居繁雄・国府谷盛明・藤原哲夫・長谷川 潔, 1961, 北海道石狩国上川町の地質. 上川町, 36頁.
- 藤原哲夫・二間瀬 冽, 1961, 北海道の砂チタンおよび含チタン砂鉄鉱石(I)一とくに科学組成について. 地下資源調査報告, 25号, 57~78頁.
- 長谷川 潔・松井公平, 1961, 北海道中央地域に分布する礫岩層(上支湧別層)について. 新生代の研究, 32号, 1~4頁.
- 長谷川 潔・小山内 熙・鈴木 守・松下勝秀, 1961, 北海道中軸帯の先工ゾ層群一地層区分の提案一. 地下資源調査所報告, 25号, 108~115頁.
- 長谷川 潔・高橋俊正・松井公平, 1961, 5万分の1地質図幅「上支湧別」および同説明書. 北海道開発庁, 44頁.
- 橋本誠二・鈴木 守・小山内 熙, 1961, 5万分の1地質図幅「幌尻岳」および同説明書. 地下資源調査所, 46頁.
- 秦 光男, 1961, 5万分の1地質図幅および説明書「初浦」. 地質調査所.
- 舟橋三男・小林英夫, 1961, 日高村岩内かんらん岩体調査報告. 特殊地帯地下資源資料, 北海道開発局, 1~11頁.
- 飯島 東, 1961, 神居古潭帯の変成時期と浮き上がり(予報)(要旨). 地質学雑誌, 67巻, 417頁.
- 金 詰祐, 1961, 含ニッケル磁硫鉄鉱床を中心とする斑れい岩類の岩相変化(I)北部日高山脈札内岳付近の鉱化域における斜長石組成変化. 岩鉱, 46巻, 178~186頁.
- 淡 正雄・山本哲也, 1961, 上礫石灰岩から *Mesophylum* の発見. 地質学雑誌, 67巻, 488頁.
- 長尾捨一, 1961, 北海道中生界における先蝦夷地帯の規模とその意義. 地下資源調査所報告, 25号, 16~121頁.
- 小山内 熙・松下勝秀, 1961, 日高山脈西縁の白亜系 III. 堆積相の考察・地質構造・総括. 地下資源調査所資料, 25号, 79~107頁.
- 酒匂純俊, 1961, コイボクシュシベチャリ川の含銅硫化鉄鉱床. 北海道地下資源調査資料, 66号.
- 下河原寿男, 1961, いわゆる熊の沢断層(夕張断層と新称)について. 新生代の研究, 32号, 10~18頁.
- 鈴木 守・小山内 熙・松井公平・渡辺 順, 1961, 5万分の1地質図幅「イドンナップ岳」および説明書. 北海道開発庁, 64頁.
- 渡辺 順, 1961, 神居古潭峡谷南部の角閃岩. 北海道地質要報, 40号, 33~35頁.
- 渡辺 順, 1961, 香別川上流にみられる日高変成帯西縁の塩基性岩類について. 岩鉱, 46巻, 213~221頁.
- Yoshida, S., 1961, The Cretaceous-Tertiary boundary in eastern Hokkaido, Japan. *Jour. Hokkaido Gakugei Univ.*, vol. 12, p. 14-38.
- [1962]
- 吾妻 譲, 1962, 石狩低地帯の地下構造. 石油技術協会誌, 27巻, 6号, 135~172頁.
- 金 詰祐, 1962, 含ニッケル磁硫鉄鉱床を中心とする斑れい岩類の岩相変化(II)北部日高山脈札内岳付近の鉱化域における斑縞岩斜長石の粒度, 晶癖変化. 岩鉱, 47巻, 175-187頁.
- 松野久也・田中啓策・山口昇一・秦 光男, 1962 編, 20万分の1地質図「羽幌」. 地質調査所.
- 松下勝秀・鈴木 守, 1962, 5万分の1地質図幅「農屋」および同説明書. 北海道開発庁, 38頁.
- 長尾捨一, 1962, 5万分の1地質図幅「天塩中川」および説明書. 39頁, 北海道立地下資源調査所.
- 長崎 浩, 1962, 北海道幌満地方の超塩基性岩体(要旨). 地質学雑誌, 68巻, 406頁.
- 酒匂純夫・小山内 熙, 1962, 5万分の1地質図幅「千呂露」および同説明書. 北海道地下資源調査所, 46頁.
- 寺岡易司・黒田和男・平山 健, 1962, 北海道サロマ湖南方の「時代未詳中生層」について. 地質学雑誌, 68巻, 416頁.
- Uozumi, S., 1962, Neogene molluscan faunas in Hokkaido (part 1. Sequence and distribution of Neogene molluscan faunas). *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ, Ser. IV*, vol. 6, p. 507-544.
- [1963]
- 浅井 宏, 1963, 日高国幌満川中流のメタプラスチック角閃石はんれい岩・閃緑岩. 岩鉱, 50巻, 224~234頁.
- 番場猛夫, 1963, 本邦クロム鉱床の成因的研究. 地質調査所報告, 200号, 1~68頁.

- 坂野昇平・羽田野道春, 1963, 神居古潭変成帯幌加内地方の変成分帯. 地質学雑誌, 69巻, 383~393頁.
- 広田正一, 1963, 日高変成帯南部の幌満川流域における花崗岩化作用. 第1部, 地質学雑誌, 66巻, 82~98頁.
- 広田正一, 1963, 日高変成帯南部の幌満川流域における花崗岩化作用. 第2部, 地質学雑誌, 66巻, 112~129頁.
- 金 詰祐, 1963, 北部日高帯奥士別地域の似峽斑縞岩類, I. 地質雑, 69巻, 536~546頁.
- 木下浩二, 1963, 日高造構運動の過程(1). 炭鉱技術, 18巻, 1号, 18~22頁.
- 木下浩二, 1963, 日高造構運動の過程(2). 炭鉱技術, 18巻, 2号, 9~11頁.
- 木崎甲子郎, 1963, 日高変成帯のミグマタイトについて. 5万分の1地質図幅「札内川上流」, 北海道地下資源調査所, 45~69頁.
- Matsumoto, T., 1963, The Cretaceous. In Takai, F., Matsumoto, T. & Toriyama, R. eds., *Geology of Japan*. Univ. Tokyo Press, p. 99-128.
- 松本達郎・岡田博有・折田行亘・菅野三郎, 1963, 蛇紋岩砂岩(短報). 地質学雑誌, 69巻, 239~241頁.
- 長尾捨一, 1963, 北海道白亜系油田の基礎的研究. 地下資源調査所報告, 31号, 1~29頁.
- 長尾捨一・秋葉 力・大森 保, 1963, 5万分の1地質図幅「礼文島」および説明書. 43頁, 北海道開発庁.
- 小山内 熙・三谷勝利・石山昭三・松下勝秀, 1963, 5万分の1地質図幅「中頓別」および同説明書. 北海道開発庁, 58頁.
- Saito, M., 1963, Ultrabasic rocks and crysotile asbestos deposits of the Kamuikotan tectonic zone, Hokkaido. *Rep. Geol. Surv. Hokkaido*, vol. 25, p. 1-44.
- 酒匂純俊, 1963, 日高鉱床区における深成作用と鉱化作用の関係について. 地下資源調査所報告, 30号, 1~49頁.
- 酒匂純俊・木崎甲子郎・松下勝秀・中添 亮, 1963, 5万分の1地質図幅「札内川上流」および同説明書. 道立地下資源調査所, 69頁.
- 下河原寿男, 1963, 夕張炭田の形成とその地質構造の発展. 石炭地質研究, 5巻, 北海道炭鉱技術会地質部会, 244頁.
- 鈴木 守, 1963, 北海道中軸帯のいわゆる輝緑凝灰岩について. 地球科学, 17巻, 15~22頁.
- Tanaka, K., 1963, A study on the Cretaceous sedimentation in Hokkaido, Japan. *Rep. Geol. Surv. Japan*, no. 197, p. 1-119.
- 外崎与之, 1963, 日高山脈南部目黒西方の変成帯に関する研究. 北海道学大紀要(第2部B), 13巻, 1~98頁.
- 外崎与之, 1963, 日高国目黒地方の含堇青石について. 岩鉱, 55巻, 113~117頁.
- 山田敏一・寺岡易司・石田正夫, 1963, 5万分の1地質図幅「生田原」および説明書. 北海道開発庁.
- 山口昇一・松野久也, 1963, 5万分の1地質図幅および説明書「三溪」. 地質調査所.
- Yoshida, S., 1963, Upper Cretaceous foraminifera from the Nemuro group, eastern Hokkaido, Japan. *Jour. Hokkaido Gakugei Univ.*, vol. 13, p. 211-258.
- [1964]
- 藤江 力, 1964, 北海道日高帯西縁部に発達する新第三系の礫岩相(演旨). 地質学雑誌, 70巻, 403~404頁.
- Hashimoto, W. & Nagao, S., 1964, A find of spongiomorphoids from the Cretaceous system of Rebun and Esashi Group of the Esashi mountains, Hokkaido. *Trans. Proc. Palaeont. Soc. Japan, N. S.*, no. 55, p. 271-280.
- Iijima, A., 1964, The chromian distribution in the Palaeogene deposits of Hokkaido and its bearing on ultrabasic rock belts. *Japan Jour. Geol. Geogr.*, vol. 35, p. 17-42.
- Iijima, A., 1964, The Palaeogene paleobiogeography and paleogeography of Hokkaido. *Japan Jour. Geol. Geogr.*, vol. 35, p. 43-55.
- 金 詰祐, 1964, 北部日高帯奥士別地域の似峽斑縞岩類, II. 地質雑, 70巻, 41~51頁.
- 金 詰祐, 1964, 北部日高帯奥士別地域の似峽斑縞岩類, III. 地質雑, 70巻, 193~203頁.
- Kizaki, K., 1964, On migmatites of the Hidaka metamorphic belt. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 12, p. 111-169.
- 松野久也・田中啓策・水野篤行・石田正夫, 1964, 5万分の1地質図幅「岩見沢」および同説明書. 北海道開発庁, 168頁.
- 三谷勝利, 1964, 北海道主部における鮮新世の層序と造盆地運動について. 地下資源調査所報告, 32号, 1~38頁.
- Okada, H., 1964, Serpentine sandstone from Hokkaido. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ., Ser. D*, vol. 15, p. 15-38.
- 酒匂純俊・浅井 宏・金 詰祐, 1964, 5万分の1地質図幅「北見富士」および同説明書. 北海道開発庁, 31頁.
- 佐々保雄・田中啓策・秦 光男, 1964, 5万分の1地質図幅「夕張」および同説明書. 北海道開発庁, 184頁.
- 鈴木 守・渡辺 順・春日井 昭, 1964, 5万分の1地質図幅「美瑛」および同説明書. 北海道開発庁, 32頁.
- 田崎耕市, 1964, 神居古潭南部の変成岩類. 地球科学, 71巻, 8~17頁.
- [1965]
- 藤原嘉樹, 1965, 日本の若干の中生界岩石の残留磁気(演旨). 地質学雑誌, 71巻, 357頁.
- 橋本 亘・長尾捨一・菅野三郎, 1965, 5万分の1地質図幅「添牛内」および説明書. 北海道開発庁.
- 秦 光男・沢村孝之助, 1965, 5万分の1地質図幅「留辺蘆」および説明書. 北海道開発庁.
- 服部幸雄, 1965, 北海道築別炭鉱の原の沢よりアンモナイト類産出. 地質学雑誌, 71巻, 149頁.
- Hayami, I., 1965, Lower Cretaceous marine pelecypods of Japan, Part I. *Mem. Fac. Sci., Kyushu Univ., Ser. D*. vol. 15, p. 221-349, pls. 27-52.
- 蟹江康光, 1965, 北海道浦川地方の白亜系(演旨). 地質学雑誌, 71巻, 375頁.
- 小松正幸・野地正保, 1965, 幌満かんらん岩体の岩相変化(演旨). 地質学雑誌, 71巻, 365頁.
- 国府谷盛明・松井公平・河内晋平・小林武彦, 1965, 5万分の1地質図幅「大雪山」および同説明書. 頁, 北海道開発庁.
- 松井 寛・垣見俊弘・根本隆文, 1965, 5万分の1地質図幅「砂川」および同説明書. 地質調査所, 85頁.
- Minato, M., Gorai, M. & Hunahashi, M., 1965 eds., *The geologic development of the Japanese Islands*. Tsukiji Shokan, Tokyo, 442p.
- 三宅輝海, 1965, 下川鉱山における輝緑岩類の産状, とくに鉱床との関係. 鉱山地質, 15巻, 1~11頁.
- 長尾捨一, 1965, 未詳中生界を主題とした北海道のジュラ白亜系について. 地下資源調査所報告, 33号, 1~47頁.
- Okada, H., 1965, Sedimentology of the cretaceous Mikasa

- Formation. *Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ., Ser. D*, vol. 16, p. 81-111.
- Onuki, H., 1965, Petrochemical research on the Horoman and Miyamori ultramafic intrusions, northern Japan. *Sci. Rep., Tohoku Univ., Ser. 3*, vol. 9, p. 217-276.
- 櫻井敏雄・山口昇一, 1965, 5万分の1地質図幅「浦幌」および同説明書. 頁, 北海道開発庁.
- 佐藤博之, 1965, 5万分の1地質図幅「阿寒湖」および同説明書. 頁, 地質調査所.
- 佐藤 茂・佐々保雄・岡崎由夫・長浜春夫, 1965, 釧路炭田東部古第三系の斜層理からみた古流向(演旨). 地質雑, 71巻, 373頁.
- 清水孚道, 1965, 日高変成帯猿留川一美唄川地方の変成分帯(演旨). 地質学雑誌, 71巻, 365頁.
- Suzuki, J., Bamba, T. & Suzuki, Y., 1965, On the viridine quartz schist from the Chiei area, Hidaka province, Hokkaido, Japan. *Proc. Japan Acad.*, vol. 41, p. 722-727.
- 天白俊馬・村松敏雄, 1965, 日高幌満かんらん岩体について(演旨). 地質学雑誌, 71巻, 366頁.
- 外崎与之, 1965, 日高山脈南部目黒地方の変成帯に関する研究(第3報). 北海道学大紀要(第2部B), 15巻, 43~60頁.
- 外崎与之, 1965, 日高山脈南部目黒地方の変成帯に関する研究(第4報). 北海道学大紀要(第2部B), 16巻, 53~68頁.
- 外崎与之・中田正次・川原鳳策, 1965, 日高産輝緑岩中にみられる単斜輝石の複合双晶(予報). 北海道大学水産学部研究彙報, 16巻, 55~60頁.
- 渡辺 順, 1965, 幌加内角閃岩体の地質と岩石—神居古潭帯幌加内角閃岩体の研究(1). 地質学雑誌, 71巻, 120~137頁.
- 渡辺 順, 1965, 幌加内角閃岩体の構造解析—神居古潭帯幌加内角閃岩体の研究(2). 地質学雑誌, 71巻, 193~214頁.
- 渡辺 順, 1965, 幌加内角閃岩体産角閃石の化学組成—神居古潭帯幌加内角閃岩体の研究(3). 地質学雑誌, 71巻, 281~296頁.
- 山口昇一・沢村孝之助, 1965, 5万分の1地質図幅「本岐」および同説明書. 頁, 地質調査所.
- [1966]
- 四十物秀蔵, 1966, 北海道中南部上部白亜系堆積の定量的解析について. 石油技術協会誌, 31巻, 257~265頁.
- Hayami, I., 1966, Lower Cretaceous marine pelecypods of Japan, Part II. *Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ., Ser. D*, vol. 17, p. 73-150, pls. 7-21.
- Hayami, I., 1966, Lower Cretaceous marine pelecypods of Japan, Part III. *Mem. Fac. Sci. Kyushu Univ., Ser. D*, vol. 17, p. 151-249, pls. 22-26.
- 蟹江康光, 1966, 北海道浦川地方の白亜系. 地質学雑誌, 72巻, 315~328頁.
- 金 詰祐, 1966, 音調津含ニッケル磁硫鉄鉱床形成に伴う斑れい岩類の岩相変化. 地質学雑誌, 72巻, 179~180頁.
- 小松正幸・野地正保, 1966, 日高変成帯の超塩基性岩, 1—幌満超塩基性岩とその産状について—. 地球科学, 20巻, 1~9頁.
- 松井和典・一色直記・秦 光男・山口昇一・吉井守正・小野晃司・佐藤博之・沢村孝之助, 1966, 5万分の1地質図幅「利尻島」および同説明書. 北海道開発庁, 25頁.
- 長尾捨一・石山昭三・吉田三郎, 1966, 5万分の1地質図幅「霧多布」および同説明書. 北海道開発庁, 38頁.
- Nagasaki, H., 1966, A layered ultrabasic complex at Horoman, Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci. Univ. Tokyo, Ser. B*, vol. 16, p. 313-346.
- 根岸正充, 1966, 十勝国忠類村アルカリ岩の岩石学的研究. 北海道大学卒業論文, 1~34頁.
- 根本隆文・山屋政美, 1966, 天北炭田西部地区曲淵地域地質調査報告. 地調月報, 17巻, 344~373頁.
- 大原 隆, 1966, 雨竜炭田の第三系の層序と構造. 千葉大理紀要, 4巻, 599~615頁.
- 大原 隆, 1966, 夕張炭田西部の中部第三系の層序と構造. 千葉大理紀要, 4巻, 617~630頁.
- 岡崎由夫・佐藤 茂・長浜春夫, 1966, 5万分の1地質図幅「大楽毛」および同説明書. 頁, 地質調査所.
- 佐藤博之・垣見俊弘, 1966, 5万分の1地質図幅「弟子屈」および同説明書. 頁, 北海道開発庁.
- 鈴木 守・藤原哲夫・浅井 宏, 1966, 5万分の1地質図幅「当麻」および同説明書. 北海道開発庁, 23頁.
- 鈴木 守・国府谷盛明・藤原哲夫, 1966, 5万分の1地質図幅「雄武」および同説明書. 頁, 地下資源調査所.
- 外崎与之, 1966, 日高国目黒地方の含堇青石岩について—特に堇青石大晶について—. 岩鉱, 55巻, 113~117頁.
- 外崎与之, 1966, 日高山脈南部目黒地方の変成帯に関する研究(第5報). 北海道教育大学紀要(第2部B), 17巻, 64~77頁.
- 外崎与之, 1966, 日高産輝緑岩中の光学的正号の普通角閃石. 地質学雑誌, 72巻, 595~596頁.
- 植田芳郎・佐川 昭・村瀬 正・池田国昭, 1966, 石狩炭田夕張地区登川南部地域の地質. 北海道地下資源調査資料, 104号, 1~11頁.
- 山岸宏光, 1966MS, 日高国三石地域の地質および新第三系の礫について. 北海道大学卒業論文, 1~66頁.
- 山口昇一, 1966, 北海道東部「豊頃—北見帯」の新第三系—津別—一本別間の新第三系層序について—. 地調月報, 17巻, 1~9頁.
- [1967]
- 赤塚正明, 1967MS, 日高国平取町付近の地質. 北大卒論.
- Bamba, T. & Sawa, T., 1967, Spillite and associated manganiferous hematite deposits of the Tokoro district, Hokkaido, Japan. *Rept. Geol. Surv. Japan*, vol. 221, p. 22.
- 藤井宏博, 1967, 留萌炭田雨竜炭鉱の地質構造. 佐々保雄教授記念論文集, 391~398頁.
- 橋本 亘, 1967, 北海道における雁行構造にみられる Rotational Stress を追って急激な変遷. 佐々保雄教授記念論文集, 1~9頁.
- 橋本 亘・長尾捨一・菅野三郎・浅賀正義・大友練一・小屋開地 稔・戸野 聡・北村一成・平 一弘・初島 実, 1967, 北海道天塩国中川郡中川町の地質及び地下資源. 48頁. 中川町.
- 橋本 亘・長尾捨一・戸野 聡・平 一弘, 1967, 北海道中川郡中川町に発達する下部鍛夷層群ならびに中部鍛夷層群の層序について. 柴田秀賢教授記念論文集, 220~228頁.
- 秦 光男・植田芳郎, 1967 編, 20万分の1地質図「稚内」, 地質調査所.
- 服部幸雄, 1967, 苫前炭田における層序についての2・3の問題. 佐々保雄教授記念論文集, 400~406頁.
- 日高研究グループ・舟橋三男・橋本誠二・金 詰祐, 1967, 北海道中軸帯の花崗岩質岩石について. 柴田秀賢教授退

- 官記念論文集, 1~13頁.
- 平田一三・松下勝秀, 1967, 5万分の1地質図幅「標津・野付岬」および同説明書. 頁, 地下資源調査所.
- 本田仁磨, 1967, 石狩炭田南部サヌシベ根無地塊について. 佐々保雄教授記念論文集, 407~414頁.
- 舟橋三男・橋本誠二・金 詰祐, 1967, 北海道中軸帯の花崗岩質岩石について. 柴田秀賢教授退官記念論文集, 1~13頁.
- 白石 浩, 1967, 釧路炭田東半部における天寧・雄別層の炭層堆積について. 佐々保雄教授記念論文集, 415~423頁.
- 石田正夫・平山 健・黒田和男・番場猛夫, 1967, 5万分の1地質図幅・同説明書「端野」, 44+5頁, 北海道開発庁.
- 河野義礼・植田良夫, 1967, 本邦火成岩の K-Ar dating (VI) —花崗岩類. 総括. 岩鉱, 57巻, 177~187頁.
- 菊地昂哉, 1967MS, 静岡町字東静内近傍の地質とその新第三系の礫について. 北大卒論.
- 金 詰祐・酒匂純俊, 1967, 新第三紀完晶質岩類における斜長石の組成と秩序化について. 地質学雑誌, 73巻, 7~17頁.
- 工業技術院地質調査所, 1967, 北海道金属非金属鉱床総覧, 575頁.
- 小松正幸・野地正保, 1967, 北海道日高変成帯の超塩基性岩の Layering について (演旨). 地質学雑誌, 73巻, 107頁.
- 金野 雄, 1967MS, 北海道紋別郡興部町付近の第三紀層について. 北大卒論.
- 国府谷盛明・小林武彦・金 詰祐・河内晋平, 1967, 5万分の1地質図幅「旭岳」および同説明書. 頁, 北海道開発庁.
- 松井公平・国府谷盛明・杉本良也, 1967, 5万分の1地質図幅「中標津」および同説明書. 北海道開発庁.
- 松下勝秀・小山内 熙・石山昭三・中村耕二, 1967, 5万分の1地質図幅「浜頓別」および同説明書. 北海道開発庁, 41頁.
- 宮坂省吾, 1967MS, 十勝国歴舟川流域の地質およびその新第三系中の礫・重鉱物. 北大卒論.
- 野地正保・小松正幸, 1967, 日高変成帯の超塩基性岩 II. ウェンザル・パンケヌシ川地域の超塩基性岩とかんらん石はんれい岩の関係について. 地球科学, 21巻, 11~26頁.
- 野地正保・渡辺 順・魚住 悟・鈴木 守, 1967, 5万分の1地質図幅「丸瀬布」および同説明書. 北海道開発庁.
- 小山内 熙・石山昭三・松下勝秀・三谷勝利・高橋功二, 1967, 石狩炭田南部穂別鉱床付近の地質. 北海道地下資源調査資料, 109号, 1~18頁.
- Research Group of Peridotite Intrusion, 1967, Ultrabasic rocks in Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 73, p. 543-553.
- 齊藤林次, 1967, 北海道三笠市奔別鉱床付近の構造と探炭. 佐々保雄教授記念論文集, 431~439頁.
- 酒匂純夫・小山内 熙・松下勝秀・金 詰祐, 1967, 5万分の1地質図幅「落合」および同説明書. 北海道開発庁, 32頁.
- 佐藤 茂, 1967, 釧路炭田地質構造発達史. 佐々保雄教授記念論文集, 441~451頁.
- 沢田 昭, 1967MS, 北海道十勝国本別町西方地域の第三・第四系. 北大卒論.
- 柴岡道夫, 1967, 石狩炭田における地質構造の発展過程について. 佐々保雄教授記念論文集, 453~465頁.
- 下河原寿男, 1967, 夕張炭田の地質構造について. 佐々保雄教授記念論文集, 467~475頁.
- 白石 浩, 1967, 釧路炭田東半部における天寧・雄別層の堆積について. 佐々保雄教授退官記念論文集, 415~423頁.
- 鈴木順雄, 1967, 北海道の新第三紀後期植物群. 佐々保雄教授記念論文集, 291~302頁.
- 天白俊馬, 1967, 北海道幌満産かんらん岩中の斜長石について. 地球科学, 21巻, 10~13頁.
- 手島 淳, 1967, 幌内海進について. 佐々保雄教授記念論文集, 495~505頁.
- 外崎与之, 1967, 北海道産花崗岩類の化学成分について. 柴田秀賢教授退官記念論文集, 103~112頁.
- 外崎与之, 1967, 日高産混成岩類 (花崗岩類の化学組成の考察) (第1報) —付西南北海道産花崗岩類との関連—. 北海道教育大学紀要 (第2部B), 17巻, 64~77頁.
- 外崎与之, 1967, 日高山脈南部黒地方の変成帯に関する研究 (第6報). 北海道教育大紀要 (第2部B), 18巻, 43~48頁.
- 山口昇一・佐藤博之, 1967, 5万分の1地質図幅「上里」および同説明書. 地質調査所.
- Yoshida, S., 1967, Planktonic foraminifera from the Paleocene Kiritappu Formation and its biostratigraphic significance. *Contributions to Celebrate Prof. Ichiro Hayasaka's 76th Birthday*. p. 85-90.
- 吉田 尚・山口昇一, 1967, 北海道松前郡大千軒岳付近の中部石炭紀化石. 地質学雑誌, 73巻, 260頁.
- [1968]
- 古川和代・山本敏雄・小島光夫, 1968, 北海道雨竜郡路之台付近の地質と亜炭層. 鉱山地質, 18巻, 321~332頁.
- 橋本誠二・太田茂志・藤原嘉樹, 1968, 北海道中央部左幌岳付近に分布する火山岩類の古地磁気学的研究. 地球科学, 22巻, 19~23頁.
- 石田正夫・沢村孝之助, 1968, 5万分の1地質図幅・同説明書「北見」. 地質調査所.
- 菅野三郎・平 一弘・平林康弘, 1968, 北海道芦別市付近の石狩層群の堆積環境 (要旨). 地質学雑誌, 74巻, 112頁.
- 小松正幸, 1968, 日高変成帯の超塩基性岩の特徴 (演旨). 地質学雑誌, 74巻, 90頁.
- 国府谷盛明・松井公平・土屋 篁, 1968, 5万分の1地質図幅「新得」および同説明書. 北海道開発庁.
- 松井公平・浅井 宏・野地正保, 1968, 5万分の1地質図幅「志比内」同説明書. 北海道開発庁, 17頁.
- 松本達郎・岡田博有, 1968, 北海道富良野地区白亜系についての新知見 (要旨). 地質学雑誌, 74巻, 94頁.
- 三室俊昭, 1968MS, 興部町瑠椽川周辺の地質. 北大卒論.
- 長浜春男, 1968, 川端層の古流向. 地調月報, 18巻, 269~272頁.
- 長尾捨一, 1968, 5万分の1地質図幅「紋別」および同説明書. 地下資源調査所.
- 岡田博有・中尾征三, 1968, 北海道富良野地域下部白亜紀フリッシュ中の斜長石アレナイト. 地質学雑誌, 74巻, 451~452頁.
- 小山内 熙・酒匂純俊・松下勝秀, 1968, 5万分の1地質図幅・同説明書「西達布」. 北海道開発庁.
- 佐川 昭・根本隆文, 1968, 北見国上毛登別地域の石炭. 北海道地下資源調査資料, 112号, 1~16頁.
- 須貝貫二, 1968, 雨竜留萌炭田地域・地質図ならびに説明書. 地質調査所, 1~61頁.
- 鈴木 醇・番場猛夫・鈴木淑夫, 1968, 日高国千栄地域産の

- ヴィリディン石英片岩について. 岩鉱, 60 巻, 167~181 頁.
- 高橋功二・石山昭三, 1968, 5 万分の 1 地質図幅「沼川」および同説明書, 北海道開発庁.
- 田中啓策, 1968, 北海道幾春別地域白亜系の古流向 (要旨). 地質学雑誌, 74 巻, 94 頁.
- Tonosaki, Y., 1968, Preliminary notes on the basic inclusions found in the migmatite area of the Hidaka Mt., Hokkaido. *Jour. Japan Assoc. Min. Petrol. Econ. Geol.*, vol. 60, p. 205-210.
- 外崎与之, 1968, 日高山脈南部目黒地方の変成帯に関する研究 (第 7 報). 北海道教育大紀要, 18 巻, 49~53 頁.
- 外崎与之, 1968, 日高産塩基性包有物の化学組成 (補遺). 北海道教育大紀要, 19 巻, 27~30 頁.
- 外崎与之・石井次郎, 1968, 北海道日高地方より正長石ペグマタイトの産出. 地質学雑誌, 74 巻, 491~492 頁.
- 植田良夫・青木謙一郎, 1968, 根室半島アルカリ岩の K-Ar 年代. 岩鉱, 59 巻, 230~235 頁.
- 植田良夫・河野義礼, 1968, 北海道産花崗岩類の K-Ar 年代 (演旨). 地質学雑誌, 74 巻, 91 頁.
- 渡辺暉夫・柴草英彦, 1968, 赤石山地の三波川帯と神居古潭帯の変成岩について. *Magma*, 15 巻, 10~13 頁.
- Yagi, K., Bamba, T. & Okeya, M., 1968, Pectolites from the Chisaka, Hidaka province and Nozawa mine, Furano, Hokkaido. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 14, p. 89-95.
- 山口佳昭・富田克敏, 1968, 幌満産カンラン石はんれい岩中のとう輝石の離溶ラメラ. 地球科学, 22 巻, 219~223 頁.
- [1969]
- 番場猛夫・前田憲二郎, 1969, 北海道常呂地方の枕状溶岩とスピライト化作用について. 地質学雑誌, 75 巻, 221~226.
- Bamba, T., Yagi, K. and Maeda, K., 1969, Chrome garnet from the vicinity of Nukabira mine Hidaka province, Hokkaido, Japan. *Proc. Japan Acad.*, vol. 45, p. 109-114.
- 長谷川 潔・長尾捨一・河内普平・吉田 勝, 1969, 5 万分の 1 地質図幅「上興部」および同説明書. 北海道開発庁, 22 頁.
- 桑 光男・対島坤六, 1969, 5 万分の 1 地質図幅・同説明書「遠別」. 地質調査所.
- 桑 光男・植田芳郎, 1969 編, 20 万分の 1 地質図「天塩」. 地質調査所.
- 舟橋三男ほか, 1969, 昭和 42 年度広域調査報告書「下川地域」. 1~10 頁, 金属鉱物採鉱促進事業団.
- Hunahashi, M., Kim, C. W., Ohta, Y. & Tsuchiya, T., 1969, Coexistence of plagioclase of different compositions in some plutonic and metamorphic rocks. *Lithos*, vol. 1, 356-373.
- 猪間明俊, 1969, 中蝦夷地変と中部蝦夷層群の堆積 (上). 石油技術協会誌, 34 巻, 155~161 頁.
- 猪間明俊, 1969, 中蝦夷地変と中部蝦夷層群の堆積 (下). 石油技術協会誌, 34 巻, 235~239 頁.
- 岩崎忠夫, 1969MS, 勇払郡秘別地方の地質. 北大卒論.
- 小林 勇・桑 光男・山口昇一・垣見俊弘, 1969, 地域地質研究報告 (5 万分の 1 地質図幅)「妹背牛地域の地質」. 地質調査所, 34 頁.
- 紺谷吉弘, 1969MS, 広尾郡広尾町付近の地質. 北大卒論.
- 黒田吉益・田崎耕市, 1969, 変成帯の超塩基性岩類. 地質学論集, 4 号, 99~108 頁.
- 松本達郎・岡田博有・西田民雄, 1969, 北海道古丹別・上羽幌地域白亜系の層序 (要旨). 地質学雑誌, 95 巻, 91 頁.
- 湊 正雄, 1969, グリーン・タフ地域について再言する. グリーンタフに関する諸問題, 5~13 頁.
- Nagao, S. & Tanaka, T., 1969, Several Cretaceous Oil and Gas Indications, Recently found in Hokkaido. *Jour. Jap. Assoc. Petr. Tech.*, vol. 34, p. 240-248.
- 大原 隆・菅野三郎, 1969, 雨竜炭田の中部第三系の貝化石群. 化石, 17 巻, 41~49 頁.
- 岡田博有・松本達郎, 1969, エゾ地向斜白亜系の一部に認められる堆積サイクル. 地質学雑誌, 75 巻, 311~328 頁.
- 天然ガス鉱業会, 1969, 日本の石油・天然ガス資源.
- 外崎与之, 1969, 日高産ミグマタイト岩脈の成因 (演旨). 地質学雑誌, 75 巻, 82 頁.
- 外崎与之・野呂幸司, 1969, 日高山脈中部ペテガリ岳の変成岩類 (第一報). 北海道教育大紀要 (第 2 部 B), 19 巻, 90~95 頁.
- 外崎与之・野呂幸司, 1969, 日高山脈札内川上流のミグマタイト岩脈 (予報). 北海道教育大紀要 (第 2 部 B), 19 巻, 82~89 頁.
- 外崎与之・野呂幸司, 1969, 日高山脈ペテガリ岳付近からザクロ石カミングトン閃石の産出. 地球科学, 23 巻, 93~94 頁.
- 外崎与之・柴田秀賢・下田信男, 1969, 日高産ミグマタイト岩脈の化学成分について. 地球科学, 23 巻, 91~92 頁.
- Yagi, K., 1969, Petrology of the alkali dolerites of the Nemuro Peninsula, Japan. *Geol. Soc. Amer. Mem.*, no. 115, 103-107.
- 山口昇一, 1969, 豊頃丘陵北部地域の地質層序について. 地調北海道支所講演要旨録, 21 号, 47~55 頁.
- [1970]
- 四十物秀蔵, 1970, 北海道中部, 石狩炭田地質構造の追相解析. 石油技術協会誌, 35 巻, 1~131 頁.
- 番場猛夫, 1970, スピライトの形成と関連火成活動について. 地調北海道支所講演要旨録, 21 巻, 5~24 頁.
- 番場猛夫・酒匂純俊・沢 俊明, 1970, 下川鉱山地域の含銅硫化鉄鉱床. 北海道地下資源調査資料, 119 号, 1~6 頁.
- 番場猛夫・八木健三, 1970, 日高国糠平鉱山産クロム柘榴石. 地調北海道支所講演要旨録, 21 巻, 25~29 頁.
- 藤原哲夫・金 詰祐・松井公平・庄谷幸夫, 1970, 5 万分の 1 地質図幅「上川」および同説明書, 北海道開発庁, 25 頁.
- 橋本誠二, 1970, 日高造山運動. 市川浩一郎・藤田至則・島津光夫編「日本列島」地質構造発達史. 121~127 頁, 築地書館, 東京.
- 市川浩一郎・藤田至則・島津光夫, 1970 編, 日本列島地質構造発達史. 築地書館, 東京, 232 頁.
- 石田正夫・佐藤博之, 1970, 5 万分の 1 地質図幅・同説明書「美幌」. 地質調査所.
- 岩本寿一・吉田義孝・小林清一・坂本 純, 1970, 北海道石狩炭田地域の石油地質学的考察 (上). 石油技術協会誌, 35 巻, 258~266 頁.
- 岩本寿一・吉田義孝・小林清一・坂本 純, 1970, 北海道石狩炭田地域の石油地質学的考察 (下). 石油技術協会誌, 35 巻, 377~385 頁.
- 君波和雄, 1970MS, サロマ湖南部の地質. 北大卒論.
- 松田時彦・上田誠也, 1970, 太平洋造山作用一 Paired belt 概念の拡張と縁海の成因など. 島弧と海洋, 41~59 頁.

- 松本達郎, 1970, 中生界の地質年代, 科学, 40 巻, 248~255 頁.
- 松本達郎・岡田博有, 1970, エソ地向斜の碎屑性物質, 地質学会第 77 年大会要旨集, 213 頁.
- Minato, M. & Hunahashi, M., 1970, Origin of the earth's crust and it's evolution. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 14, p. 515-561.
- 宮坂省吾, 1970MS, 十勝国南部新第三系の堆積学的研究とその構造発達史, 北大修士論文.
- 宮下純夫, 1970MS, 十勝川上流域の地質と岩石, 北大卒論.
- 大我晴敏, 1970MS, 勇払郡穂別町付近の層序及び構造, 北大卒論.
- 小山内 照・松下勝秀・長尾捨一, 1970, 5 万分の 1 地質図幅「土別」および同説明書, 地下資源調査所, 30 頁.
- 佐藤博之, 1970, 北海道豊頃山地の大川熔結凝灰岩について, 日本地質学会第 77 年学術大会講演要旨, 265 頁.
- 佐藤博之・三梨 昂, 1970 編, 20 万分の 1 地質図「網走」, 地質調査所.
- 佐藤誠司, 1970, 北海道中軸部の中新統の対比—とくに海成堆積物の花粉分析について, 地質学雑誌, 76 巻, 283~301 頁.
- 鈴木 醇・鈴木淑夫, 1970, 北海道山部地方の蛇紋岩類, 特にブルース石蛇紋岩の産状とその成因について, 岩鉱, 63 巻, 123~145 頁.
- 高橋功二・三谷勝利, 1970, 5 万分の 1 地質図幅「芽登温泉」および同説明書, 頁, 北海道開発庁.
- Tanaka, K., 1970, Sedimentation of the Cretaceous flysch sequence in the Ikushumbetsu area, Hokkaido, Japan. *Rept. Geol. Surv. Japan*, no. 236, p. 102.
- 外崎与之, 1970, 幌満地方のカンラン岩体の観察, 北海道教育大紀要 (第 2 部 B), 20 巻, 62~71 頁.
- 山口昇一, 1970, 豊頃丘陵北部地域の地質構造について, 地質調査所北海道支所調査研究報告会講演要旨録, 21 号, 47~55 頁.
- 山口昇一, 1970 編, 20 万分の 1 地質図「北見」, 地質調査所, [1971]
- 四十物秀蔵, 1971, 北海道中南部に発達する白亜系の構造解析, 石油技術協会誌, 36 巻, 9~18 頁.
- 浅見清秀, 1971, 北海道築別炭鉱付近の新第三系, 地質学会第 78 年大会要旨集.
- Bikerman, M., Minato, M. & Hunahashi, M., 1971, K-Ar age of the garnet amphibolite of the Mitsuiishi district, Hidaka province, Hokkaido, Japan. *Earth Science (Chikyū Kagaku)*, vol. 25, p. 27-30.
- 橋本誠二, 1971, 5 万分の 1 地質図幅「佐幌岳」および同説明書, 北海道開発庁, 32 頁.
- 橋本 巨, 1971, 北海道中軸部の地史解明のための諸資料と問題点, 国立科学博物館専報, 4 号, 172~197 頁.
- 秦 光男・山田直利, 1971, 北海道奥尻島の中生代火山岩類, 地質学会第 78 年大会要旨集, 479 頁.
- 小松正幸, 1971MS, 日高変成帯超塩基性岩類の岩石学的研究, 北大博士論文.
- 小松正幸, 1971, 幌満超塩基性岩中のスピネルの化学組成 (演旨), 岩鉱, 65 巻, 192~193 頁.
- 小松正幸・溝田忠人, 1971, 鉄に富む超塩基性岩中のかんらん石について, 五学会連合学術大会要旨集, 260 頁.
- Matsuda, T. & Uyeda, S., 1971, On the Pacific-type orogeny and its model - extension of the paired belts concept and possible origin of marginal sea. *Tectonophysics*, vol. 11, p. 5-27.
- 松本達郎・小原浄之介, 1971, 北海道宗谷地域における白亜系と第三系の関係, 九大理研報 (地質), 11 巻, 17~34 頁.
- 松本達郎・小原浄之介, 1971, 北海道宗谷地域における白亜系と第三系の関係, 地質学会第 78 年学術大会講演要旨集, 頁.
- Matsumoto, T. & Okada, H., 1971, Clastic sediments of the Cretaceous Yezo Geosyncline. *Mem. Geol. Soc. Japan*, no. 6, p. 61-74.
- 湊 正雄, 1971, 日本列島の地質構造に関する諸問題, 地質学雑誌, 77 巻, 101~108 頁.
- 三田寺久男, 1971MS, 芦別市炭山川付近の地質と芦別川流域の岩鍋層の粘土鉱物について, 北大卒論.
- 三谷勝利・早川福利・高橋功二・石山昭三・和氣 徹・重山 武, 1971, 豊富背斜地域の天然ガス鉱床, 北海道地下資源調査資料, 125 号, 1~146 頁.
- 新井田清信, 1971, 幌満超塩基性岩の構造, 五学会連合学術大会要旨集, 253 頁.
- 岡 孝雄, 1971MS, 十勝地方幕別町付近の地質—特に池田層について—, 北大卒論.
- 岡田博有, 1971, 地向斜碎屑堆積層中の堆積型式, 地質学論集, 6 号, 75~82 頁.
- 佐川 昭, 1971, 北海道夕張地区紅葉山層の層位, 地質学会第 78 年大会要旨集.
- 酒匂純俊・金 詰祐・木崎甲子郎, 1971, 日高変成帯におけるはんれい岩の粗粒化作用, 岩鉱, 66 巻, 543~553 頁.
- 佐藤博元・山口昇一, 1971 編, 20 万分の 1 地質図「標津」, 地質調査所.
- 佐藤博之・山口昇一・松井 愈, 1971 編, 20 万分の 1 地質図「広尾」, 地質調査所.
- 沢 俊明・村瀬 正・池田国昭, 1971, 十勝国トムラウシ鉱山の含銅硫化鉄鉱床, 北海道地下資源調査資料, 121 号, 43~58 頁.
- 鈴木 守, 1971, スピライト問題とその深成作用との関連, 五学会連合大会要旨集, 12~13 頁.
- 高橋功二・小山内 照・松下勝秀・三谷勝利・中村耕二, 1971, 5 万分の 1 地質図幅「露之台」同説明書, 北海道開発庁.
- 山口昇一・佐藤博之・松井 愈, 1971 編, 20 万分の 1 地質図「帯広」, 地質調査所, [1972]
- 番場猛夫, 1972, 北海道産のいわゆる「日高ヒスイ」について, 鉱山地質, 22 巻, 21~30 頁.
- 池田周作・窪田康宏・永松武彦, 1972, 下川鉱床下部におけるいくつかの新事実, 鉱山地質, 22 巻, 150~165 頁.
- 勘米良龜齡・小畠郁生, 1972, 日高層群石灰岩の岩相と生相概報, 国立科博専報, 5 号, 203~211 頁.
- 菅野三郎・赤津郁夫, 1972, 北海道広尾郡大樹町付近の第三系, 国立科博専報, 5 号, 227~238 頁.
- 河田俊彦, 1972MS, 夕張炭田清水沢付近の古第三系と有孔虫層序, 北大卒論.
- 君波和雄, 1972MS, 中部蝦夷層群の堆積学的研究, 北大修士論文, M73 号.
- Kizaki, K., 1972, Configuration of migmatite dome - comparative tectonics of migmatite in the Hidaka Metamorphic Belt. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 15, p. 157-172.
- 木崎甲子郎・渡辺興亜, 1972, 日高変成帯のいわゆる美生片麻状花崗岩体の構造, 地球科学, 26 巻, 104~110 頁.

- 紺谷吉弘, 1972MS, 十勝・広尾周辺の日高層群. 北海道大学大修士論文.
- 宮城晴耕, 1972, 北海道静内地方に産する蛇紋岩とそれに伴う優白岩について. 地質学会第79年大会要旨集, 237頁.
- 新井田清信, 1972, 幌満超塩基性岩のかんらん石の優位配列. 日本地質学会第79年大会要旨集, 239頁.
- Sampson, E., 1972, Peculiar inclusions in serpentine from Hokkai-do, Japan. *Geol. Soc. Amer. Mem.*, no. 132, p. 299-301.
- 佐藤博之・山口昇一・曾屋龍典, 1972 編, 20 万分の1 地質図「苫小牧」, 地質調査所.
- Sato, S., 1972, Palynological consideration on Tertiary marine sediments of Hokkaido, compared with animal fauna. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 15, p. 217-271.
- 高橋功二, 1972, 北海道天北油田豊富背斜地域の裂か系について, 岩井淳一教授記念論文集, 411~421頁.
- 山本尊仁, 1972MS, 幌満川上流のはんれい岩帯の岩石学的研究. 北大理修士論文.
- 吉田三郎, 1972, 北海道東部地方の暁新統について. 地質学会第79年大会要旨集, 43頁.
- [1973]
- 秋山雅彦・熊野純男, 1973, 北海道歌登町上徳志別産テモスチルス. 地質学雑誌, 79巻, 781~786頁.
- 遠藤秀正, 1973MS, 新冠町リビラ山南方の地質と岩石. 北大卒論.
- 飯島 東, 1973, 空知基礎試錐で発見された沸石帯の逆転と解釈. 地質学会第80年大会要旨集, 117頁.
- 木村敏雄, 1973, オフィオライトと構造発達史. 海洋科学, 5巻, 59~65頁.
- 小松正幸, 1973, 北海道の構造帯の超塩基性岩. *Magma*, 33巻, 8~15頁.
- 小松正幸・田崎耕市・飯泉 滋・宮城晴耕・黒田吉益・新井田清信, 1973, 北海道の構造帯の超塩基性岩. 地質学会80年大会要旨集, 300頁.
- 紺谷吉弘, 1973, 日高山脈東翼の日高層群の層序と構造. 地質学会講演要旨集, 71頁.
- 松井 愈・小坂利幸・笹島士郎・春日井 昭, 1973, 大樹地域の地形および地質—南十勝の地形発達史およびピラオトリ層について—. 地調北海道支所講演要旨録, 24巻, 23~30頁.
- 松本達郎・岡田博有, 1973, エゾ地向斜の佐久層について. 九大理研報(地質), 11巻, 275~309頁.
- 松本達郎・岡田博有, 1973, エゾ地向斜の佐久層について. 日本地質学会第80年学術大会講演要旨集, 頁.
- 松本 良・飯島 東, 1973, 石狩炭田地域の碎屑岩中の炭酸塩岩類の2・3の問題. 地質学会第80年大会要旨集, 118頁.
- 三木昭夫, 1973, 北海道天北地方の中部エゾ層群上部層産化石花粉・孢子群. 地質学雑誌, 79巻, 205~218頁.
- 宮城晴耕, 1973, 北海道静内地方に産する優白岩, 蛇紋岩, 輝緑岩について. 地質学会第80年大会要旨集, 199頁.
- 宮下純夫, 1973MS, 幌尻岳層状塩基性岩体の岩石学的研究. 北大理修士論文.
- 溝田忠八・小松正幸, 1973, 北海道幌満岩体のカンラン岩およびハンレイ岩にともなう硫化錳物について(演旨). 岩鉱, 68巻, 93頁.
- 小富郁生・前原俊春・津田博二, 1973, 北海道日高町周辺の白亜系. 国立科博専報, 6号, 131~145頁.
- 酒井 彰, 1973MS, 勇払郡占冠村東方の白亜系の地質—特に鍛夷層群について—. 北大卒論.
- Sawada, K. & Kanmera, K., 1973, Greenstones from the Sorachi and Hidaka groups of the Hidaka Mt., Hokkaido. *Mem. Nat. Sci. Museum*, vol. 6, p. 147-161.
- 高橋 進, 1973MS, 夕張西方の地質と古流向. 北大卒論.
- 寺岡易司・橋本光男・奥村公男, 1973, 北海道北東部中生界の層序, 構造および変成作用. 地調月報, 24巻, 385~392頁.
- 徳永重元ほか, 1973 編, 石狩炭田地質図. 地質調査所.
- 卯田 強, 1973, えりも累層の構造と変形. 地質学会第80年学術大会講演要旨集, 頁.
- Uda, T., 1973, Deformation of granites pebbles in "Utaroconglomerate" at Cape Erimo, Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 79, p. 391-398.
- Uda, T., 1973MS, Progressive development of polyphase deformation in Utaro Conglomerate at Cape Erimo, Hokkaido, Japan. Master thesis of Hokkaido Univ.
- 山口昇一・松井 愈・松沢一己・春日井 昭・田中 実・小林信彦, 1973, 長流枝内層について. 地調北海道支所講演要旨録, 24号, 17~21頁.
- 吉田三郎, 1973, 北海道東部本別および常室地域の暁新統一とくに根室層群の地質時代について—. 山形大学紀要(自然科学), 8巻, 1~6頁.
- [1974]
- 在田一則, 1974, 日高帯楽古岳周辺の変成岩類・ミグマタイト類について. 日本地質学会第81年学術大会要旨集, 301頁.
- 藤原哲夫, 1974, 北海道歌登地域のグリンタフと構造発達過程. 地質学会第81年大会要旨集, 105頁.
- Gouchi, N. and Banno, S., 1974, Find of aragonite from Kamuikotan metamorphic rocks. *Proc. Japan Acad.*, vol. 50, p. 481-486.
- Grapes, R. H., 1974, Actinolite-hornblende pairs in metamorphosed gabbros, Hidaka Mountains, Hokkaido. *Contrib. Miner. Petrol.*, vol. 49, p. 125-140.
- 橋本誠二・ロドニー=グレース・宮下純夫, 1974, 日高変成帯西縁の角閃岩類. 地質学会第81年大会要旨集, 302頁.
- 秦 光男・垣見俊弘・松井 寛, 1974 編, 20 万分の1 地質図「留萌」, 地質調査所.
- 猪郷久義・小池敏夫・猪郷久治・木下 勤, 1974, 北海道空知層群から三疊紀コノドントの産出. 地質学雑誌, 80巻, 135~136頁.
- 蟹江康光, 1974, 北海道浦川地方の白亜系(II). 地質学会第81年大会要旨集, 146頁.
- 小坂橋重一, 1974MS, 日高国新冠川中流の地質及び岩石. 北大卒論.
- 猪 武・伊藤 聰・横田節哉・上島 宏, 1974, 北西北海道築別付近における新第三系泥質岩の化学組成. 石油技術協会誌, 39巻, 95~105頁.
- 小松正幸, 1974, 日高帯ウエンザル超塩基性岩の固相反応について. 地質学会第81年大会要旨集, 303頁.
- Komatsu, M., 1974, Electron microprobe study of unmixing of aluminous pyroxenes from lherzolite and pyroxenite, Uenzaru, Hidaka Mt., Hokkaido. *Mem. Geol. Soc. Japan*, vol. 11, p. 47-57.
- 紺谷吉弘, 1974, 日高山脈東翼の日高累層群の層序と構造について. 地質学会第81年大会要旨集, 145頁.
- 松井 愈・佐藤博之・小坂利幸・宮坂省吾・笹島征士郎・秋葉力・右谷征晴・春日井 昭, 1974, 5 万分の1 地質図幅

- および地域地質研究報告「大樹地域の地質」。地質調査所。宮城晴耕, 1974, 神居古潭変成帯の優白岩について。地質学会第 81 年大会要旨集, 305 頁。
- 宮坂省吾・生川淳一・山口昇一, 1974, 駒島含化石層について—十勝南部の海成鮮新統一。地質学会第 81 年大会要旨集, 106 頁。
- 宮下純夫・橋本誠二, 1974, 幌尻岳層状塩基性岩体について。地質学会第 81 年大会要旨集, 304 頁。
- Niida, K., 1974, Structure of the Horoman ultramafic massif of the Hidaka metamorphic belt in Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 80, p. 31-44.
- 野地正保, 1974, 神居古潭帯より発見された滑石—菱苦土石岩について。地質学会第 81 年大会要旨集, 306 頁。
- Onuki, H., 1974, Amphiboles from the Kamuikotan metamorphic belt of the Mitsuishi district, Hokkaido. *Mem. Geol. Soc. Japan*, no. 11, p. 83-88.
- Ouchi, Y., 1974, Geomorphological development of the Western Hidaka, Hokkaido. *Sci. Rep. Tohoku Univ.*, ser. 7, vol. 24, p. 165-182.
- 佐藤誠司, 1974, 花粉分析による北海道雨竜地域の層序の検討。地質学会第 81 年学術大会講演要旨集, 103 頁。
- 柴草英彦, 1974, 神居古潭変成帯幌加内地域の藍閃石片岩類。地質学雑誌, 80 巻, 341~353 頁。
- 鈴木 守, 1974, 北海道地域の枕状溶岩。日本地質学会 81 年大会要旨集, 18~19 頁。
- 鈴木 守・在田一則・新井田清信, 1974, 三石・えりも・広尾地質案内。日本地質学会北海道支部, 29 頁。
- 高橋功二, 1974, 道北地域新第三系礫岩の構成礫について。地下資源調査所報告, 112 号, 17~43 頁。
- 山岸宏光, 1974, 北海道中央部糠平地域の火山岩類とその変質作用。地球科学, 28 巻, 201~210 頁。
- [1975]
- 秋葉文雄, 1975, 北海道空知日高地域と天北地域新第三系の Denticula 属を中心とした珪藻化石層序による対比と問題点。技研所報, 18 巻, 15~54 頁。
- 秋葉 力・木崎甲子郎・宮坂省吾・紺谷吉弘, 1975, 5 万分の 1 地質図幅および説明書「上豊似」。北海道立地下資源調査所, 48 頁。
- 在田一則, 1975, 日高変成帯楽古岳付近のしそ輝石片麻岩について。日本地質学会第 82 年学術大会講演要旨, 148 頁。
- 朝比奈利広・小松正幸, 1975, 神居古潭帯幌加内蛇紋岩体中の層状分化岩。地球科学, 29 巻, 表紙 ii。
- Grapes, R. H., 1975, Actinolite-hornblende pairs in metamorphosed gabbros, Hidaka Mts., Hokkaido. *Contr. Mineral. Petrol.*, vol. 49, 125-140.
- Hashimoto, S., 1975, The basic plutonic rocks of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, part 1. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ.*, Ser. IV, vol. 16, p. 367-420.
- Hashimoto, W., Koike, T. & Hasegawa, T., 1975, First Confirmation of the Permian System in the Central Part of Hokkaido. *Proc. Japan Acad.*, vol. 51, p. 34-37.
- 橋本 亘・小池敏夫・長谷川恒夫, 1975, 北海道中軸部における構造発達史の再検討。G.D.P.連絡紙, II-I-(1), 11~20。
- Herve, F., 1975, Petrography of the Kamuikotan Metamorphic Belt at the Uibun-Oroen cross section, Central Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ.*, Ser. IV, vol. 16, p. 353-470.
- 平野弘道・棚部一成・松本達郎, 1975, 北海道小平地域上部白亜系に関する新発見。日本地質学会第 82 年学術大会講演要旨集, 233 頁。
- 舟橋三男, 1975, 日高変成帯(特別講演)。地質学雑誌, 81 巻, 99~102 頁。
- 飯島 東, 1975, 北海道の地下および周縁海底地質の問題。G.D.P.連絡紙, II-I-(1), 構造地質, 3 巻, 21~27 頁。
- 池田周作・泉 陽一, 1975, 下川鉦山南部地区の探査。鉦山地質, 25 巻, 209~216 頁。
- Kiminami, K., 1975, Sedimentology of the Nemuro Group (Part I). *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 81, p. 215-232.
- 君波和雄, 1975, 根室層群下部厚岸部層のフリッシュ型砂泥互層。地質学会第 82 年大会要旨集, 268 頁。
- Kiminami, K., 1975, Sedimentology of the Nemuro Group (Part I). *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 81, p. 215-232.
- 君波和雄, 1975, 根室層群の堆積学的研究(その 2) — 根室層群厚岸層中のフリッシュ型砂岩の X 線による観察一。地質学雑誌, 81 巻, 697~708 頁。
- 君波和雄, 1975, 根室層群の堆積学的研究(その 3) — 下部厚岸部層の堆積作用について一。地質学雑誌, 81 巻, 755~768 頁。
- 木村敏雄・吉田鎮男・豊原富士夫, 1975, 蝦夷層群と空知層群との間の不整合とその意義。G.D.P.連絡紙, II-I-(1), 構造地質, 29~38 頁。
- 小坂橋重一, 1975, 神居古潭帯南部, 新冠川中流域の輝緑岩質岩石について。地質学会第 82 年大会要旨集, 152 頁。
- Komatsu, M., 1975, Recrystallization of the high aluminous pyroxene peridotite of the Uenzaru area in Hidaka province, Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 81, p. 11-28.
- 小松正幸, 1975, 日高帯ウエンザルかんらん岩体中の Granulite, Amphibolite, Hornblende mylonite について。地質学会 82 年大会要旨集, 149 頁。
- 高坂晴男, 1975, 下川輝緑岩の地化学的性格。鉦山地質, 25 巻, 161~174 頁。
- 道旗 隆, 1975MS, 十勝国美生川中流地域の地質。北大卒論。
- 宮城晴耕, 1975, 北海道静内地域の超塩基性岩にともなう優白質酸性岩の Sr 同位体化について。Magma, 17 巻, 17~20 頁。
- 宮下純夫, 1975, 幌尻岳層状塩基性岩体について。Magma, 40 巻, 1~5 頁。
- 宮下純夫, 1975, 幌尻岳層状塩基性岩体について(その 2)。地質学会第 82 年大会要旨集, 151 頁。
- Miyashita, S. & Hashimoto, S., 1975, The layered basic complex of Mt. Poroshiri, Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ.*, Ser. IV, vol. 16, p. 421-452.
- 森清寿朗, 1975, 日高三石の変成岩について。地質学会第 82 年大会要旨集, 146 頁。
- 中野仁礼, 1975, 北海道三石町の塩基性岩にみられる低度変成作用。地質学会第 82 年大会要旨集, 147 頁。
- 新井田清信, 1975, 幌満超塩基性岩体のはんれい岩相。地質学会第 82 年大会要旨集, 150 頁。
- Niida, K., 1975, Phlogopite from the Horoman ultramafic rocks. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ.*, Ser. IV, vol. 16, p. 511-518.
- Niida, K., 1975, Textures of olivine fabrics and the Horoman ultramafic rocks, Japan. *Jour. Japan Assoc. Min. Petrol. Econ. Geol.*, vol. 70, p. 265-285.
- 小椋伸幸, 1975MS, 天塩郡中川町手塩川西岸の地質と白亜系新第三系の関係について。北大卒論。
- 佐川 昭・根本隆文・樋田芳郎・小田精徳・松井 寛・三梨 昂, 1975, 天北炭田地質図。地質調査所。

- 酒井 彰, 1975MS, 元浦河地域における日高累層群の層位的研究. 北大修士論文.
- 柴田 賢・山口昇一・佐藤博之, 1975, 北海道十勝地域における中新統一更新統の K-Ar 年代. 地質調査所月報, 26 巻, 491~495 頁.
- 鈴木 守, 1975, 下川町の地質および環境地質. 44 頁, 下川町.
- 鈴木 守, 1975, 北海道地方の枕状溶岩. 海洋科学, 6 巻, 12~16 頁.
- 田中啓策・角 靖夫, 1975, 北海道北部佐久一音威子府地域白亜系の古流向. 地調月報, 26 巻, 161~176 頁.
- Tazaki, K. & Research Group of Peridotite Intrusion, 1975, Layered peridotite intrusion of Iwanai-dake in Kamuikotan metamorphic belt, Hokkaido, Japan. *G.D.P. National Rep.*, p. 1-3.
- [1976]
- 在田一則, 1976, 日高変成帯東翼の変成岩類およびミグマタイト類の黒雲母について. 地質学会第 83 年大会要旨集, 126 頁.
- 在田一則, 1976MS, 日高変成帯南部の変成岩類およびミグマタイト類について. 北大博士論文.
- 朝比奈利広・小松正幸, 1976, 神居古潭, 幌加内蛇紋岩体に取り込まれた層状分化岩体. 地質学会第 83 年大会要旨集, 261 頁.
- 合地信生, 1976, 旭川市西方における神居古潭結晶片岩の変成相について. 地質学会第 83 年大会要旨集, 258 頁.
- Grapes, R. H., 1976, Low grade alteration of basic rocks in Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 17, p. 373-385.
- 橋本誠二, 1976, 日高変成帯西帯の構造的意義. 新潟大地誌研究報告 (西田彰一教授記念論文集), 4 巻, 409~414 頁.
- 舟橋三男, 1976, 日高・鉢床・グリンタフ (私の最終講義). 地球科学, 30 巻, 286~306 頁.
- 君波和雄, 1976, 根室層群中部厚岸部層. 地質学会第 83 年大会要旨集, 327 頁.
- 君波和雄, 1976, 根室層群の堆積学的研究 (その 4) 一下部厚岸部層から中部厚岸部層にかけての後背地の変化について一. 地質学雑誌, 82 巻, 773~782 頁.
- 木村 学, 1976MS, 北海道東部釧路地方における鮮新統一下部洪積統の層序と造盆地運動. 北大修士論文.
- 木村敏雄, 1976, 日本列島をめぐる地体構造と堆積盆. 石油技術協会誌, 41 巻, 48~55 頁.
- 小松正幸, 1976, 日高帯ウェンザル岩体の角閃石かんらん岩について (演旨). 岩鉱, 71 巻, 84 頁.
- 今野隆彦, 1976MS, 勇払郡穂別町南東部の地質. 北大卒論.
- 紺谷吉弘, 1976, 日高山脈東翼の中の川層群の砂岩について. 地質学会第 83 年大会要旨集, 38 頁.
- 紺谷吉弘, 1976, 日高変成帯東翼の日高累層群について. 地研 30 回総会シンポジウム資料集, 111 頁.
- 間庭 賢, 1976MS, 十勝国十勝郡浦幌町北部の地質. 北大卒論.
- 間庭 賢・君波和雄・松井 愈・紺谷吉弘・宮坂吾吾・木村 学・生川淳一・久保田真人, 1976, 北海道東部の根室層群・浦幌層群の礫岩 (予報). 地質学会第 83 年大会要旨集, 37 頁.
- Melankholina, Ye. N., 1976, Formation complexes in structures of Sakhalin and Hokkaido. *Geotectonics*, vol. 9, p. 186-193.
- 三谷勝利・松沢逸己・高橋功二, 1976, 5 万分の 1 地質図幅「上士幌」および同説明書. 頁, 地下資源調査所.
- 宮城晴耕, 1976, 神居古潭帯に産する優白岩の Sr 同位体比. 村上総研 Sr 同位体比に関する討論会要旨集, 1~2 頁.
- 宮永 悟, 1976MS, 勇払郡穂別町北西部の第三系の層序および構造. 北大卒論.
- 宮下純夫, 1976, 幌尻岳層状塩基性岩体における変成作用について. 地質学会第 83 年大会要旨集, 259 頁.
- 宮下純夫・橋本誠二・小松正幸, 1976, 幌尻岳層状塩基性岩体におけるサフィリン・コランダムを含む岩石について (演旨). 岩鉱, 71 巻, 83 頁.
- 中野仁礼・小松正幸, 1976, 北海道三石地方の空知層群のアルカリ玄武岩・輝緑岩. 地質学会第 83 年大会要旨集, 262 頁.
- 中野仁礼・渡辺暉夫, 1976, 北海道空知層群南部の変成アラレ石の産状 (演旨). 岩鉱, 71 巻, 82 頁.
- Niida, K., 1976MS, *Petrology of the Horoman ultramafic rocks in the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan*. D. thesis, Hokkaido Univ.
- Ogawa, K. & Sayama, J., 1976, Distribution of aeromagnetic anomalies, Hokkaido, Japan, and its geologic implication. In Aoki, H. & Iizuka, S., eds: *Volcanoes and Tectonosphere*, p. 207-215, Tokai Univ. Press.
- 岡 孝雄, 1976, 十勝平野の鮮新・洪積統について (その 1) 一居辺台地南部地域の池田層群上部一. 地質学雑誌, 82 巻, 241~258 頁.
- 岡 孝雄, 1976, 十勝平野の鮮新・洪積統について (その 2) 一帯広市付近の池田層群の地質構造について一. 北海道地下資源調査所報告, 48 号, 1~19 頁.
- Okamura, M., Takayama, T. & Takayanagi, Y., 1976, Note on microfossils from the Upper Cretaceous sequence of the Saku area, Hokkaido. *Ann. Mus. Hist. Nat. Nice*, vol. 4, XXXIII6-XXXIII7.
- 酒井 彰, 1976, 北海道元浦川地域の日高累層群について. 地質学会第 83 年大会要旨集, 39 頁.
- 佐藤藤司, 1976, 北海道雨竜地域の第三系の層序の花粉分析の面からの検討. 地質学雑誌, 82 巻, 517~529 頁.
- 柴草英彦, 1976, 神居古潭幌加内地域におけるオンファシス輝石の累帯構造について (演旨). 岩鉱, 71 巻, 82 頁.
- 角南和洋, 1976MS, 北海道稚内市下増幌東方の地質. 北大卒論.
- 卯田 強, 1976, 日高帯の地質構造の問題について. シンポジウム「北海道およびその周辺の地下構造とその地学的意味」, 153~161 頁.
- Uda, T., 1976, Polyphase deformation of the Cape Erimo Area caused by change of tectonic stress-field. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 82, p. 1-18.
- Yagi, K., Bamba, T. & Suzuki, M., 1976, Pillow lavas in Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 17, 261-276.
- 山岸宏光, 1976, 北海道中央部糠平周辺地域の堆積盆にみられる陥没構造. 北海道地下資源調査所報告, 48 号, 21~31 頁.
- 山岸光宏・松波武雄, 1976, 5 万分の 1 地質図幅「糠平」および同説明書. 地下資源調査所, 40 頁.
- 山口昇一, 1976 編, 20 万分の 1 地質図「釧路」, 地質調査所. [1977]
- Aguirre, L., 1977, Petrology of the Kamuikotan metamorphic belt at the Kamietanbetsu-Numaushi cross-section,

- central Hokkaido, Japan. 119-125, In Ishikawa, T. & Aguirre, L. (eds.), *Comparative studies on the geology of the Circum-Pacific orogenic belt in Japan & Chile*. Japan Soc. Promotion Sci.
- 番場猛夫, 1977, 下川輝緑岩複合体一とくに後次貫入非顕晶質輝緑岩をめぐって. 岩鉱, 72 巻, 221~226 頁.
- Bamba, T., 1977, Metallogenic Province of Hokkaido. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 17, p. 695-708.
- Burk, C. A. & Gribidenko, H. S., 1977, The structure and age of acoustic basement in the Okhotsk Sea. In Talwani, M. & Pitman III, W. C. eds., *Island Arcs, Deep-Sea Trenches and Back-Arc Basins*. American Geophysical Union, Washington, p. 451-461.
- 鎮西清高, 1977, 東日本の貝化石群集による新第三系の生層序と問題点. 研究連絡紙 3 号, 北日本の新第三系の対比と編年, 31~34 頁.
- 合地信生, 1977, 旭川市西方の神居古潭変成岩中の Na-pyroxene について. 地質学会第 84 年大会要旨集, 37 頁.
- Grapes, R. H., 1977, Mesozoic-Cenozoic arc-trench development, Neogene orogeny and the Hidaka Belt anomaly in Hokkaido. *Inter. Geol. Correlation Prog. Circum-Pacific Plutonism Proj., Plutonism in relation to Volcanism and metamorphism*, p. 282-296.
- Grapes, R. H. & Hashimoto, S., 1977, The Hidaka Viridine: A second look. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 17, p. 607-612.
- Grapes, R. H., Hashimoto, S. & Miyashita, S., 1977, Amphiboles of a metagabbro-amphibolite sequence, Hidaka Metamorphic Belt, Hokkaido. *Jour. Petrol.*, vol. 18, p. 285-318.
- Hashimoto, S., 1977, Mesozoic-Cenozoic orogenic belts in northern Japan. *Colloc. Inter. du C. N. Q. S.*, no. 268, 203-208.
- 菅野三郎, 1977, 貝化石群集による北海道新第三系の生層序. 研究連絡紙 3 号, 北日本の新第三系の対比と編年, 11~14 頁.
- 加藤孝幸, 1977MS, 沙流川超塩基性岩体とくに岩内岳かんらん岩体について. 北大修士論文.
- 加藤孝幸, 1977, 神居古潭帯沙流川超塩基性岩体について. 地質学会第 84 年大会要旨集, 36 頁.
- 勝島尚美, 1977MS, 十勝国然別川上流及びニベソツ川流域の地質と岩石. 北大卒論.
- 君波和雄, 1977, 根室層群中のフリッシュ型堆積物. 堆積学研究会報, XIII, XIV 合併号, 1~7 頁.
- 君波和雄, 1977MS, 根室層群の堆積学的研究. 北大博士論文.
- 君波和雄, 1977, 根室層群の砂岩組成. 地質学会第 84 年大会要旨集, 121 頁.
- 君波和雄・高橋功二・間庭 賢, 1977, 北海道の白亜系一エソ層群と根室層群一. 地団研第 31 回総会資料集, 34~41 頁.
- Kizaki, K., 1977, Plutonotectonics of the Hidaka Metamorphic Belt, Hokkaido, Japan. *Inter. Geol. Correlation Prog. Circum-Pacific Plutonism Proj., Plutonism in relation to volcanism and metamorphism*, p. 282-296.
- 小坂橋重一, 1977MS, 南部神居古潭帯新冠川中流域の緑色岩について. 北海道大学修士論文.
- 小松正幸, 1977, 固体進入型かんらん岩とオフィオライト. 海洋科学, 9 巻, 569~574 頁.
- 小松正幸, 1977, Ophiolite sequence の transition zone について. 総研連絡紙, 緑色岩類, 2 号, 14~15 頁.
- 小松正幸, 1977, 超塩基性岩類. 地質学会 84 年大会要旨集, 11~12 頁.
- Komatsu, M., Tazaki, K. & Kuroda, Y., 1977, Ophiolite suite rocks in some ophiolite belts in Japan. *Inter. Symp. Geodynamics in South-West Pacific*, p. 3-13.
- 紺谷吉弘, 1977, 日高変成帯東翼の日高累層群について. 地団研専報, 20 号, 117~119 頁.
- 紺谷吉弘・酒井 彰, 1977, 日高累層群の層序に関する問題点. 地団研 31 回総会資料集, 8~16 頁.
- 前田仁一郎, 1977, 日高山脈パンケヌシ川・ビパイロ川周辺の深成岩・変成岩について. 地質学会第 84 年大会要旨集, 35 頁.
- 米谷盛寿郎, 1977, 有孔虫化石による北海道新第三系の生層序. 研究連絡紙 3 号, 北日本の新第三系の対比と編年, 24~26 頁.
- 間庭 賢, 1977, 十勝・釧路国境地域の根室層群. 地質学会第 84 年大会要旨集, 144 頁.
- 松下勝秀・寺島克之・小山内 照, 1977, 5 万分の 1 地質図幅「剣淵」および同説明書. 地下資源調査所, 30 頁.
- Miki, A., 1977, Late Cretaceous pollen and floras of Northern Japan: Composition and interpretation. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 17, 399-436.
- 三谷勝利, 1977, 北海道中軸帯西翼における第三系堆積盆地の変遷. 地団研第 31 回総会資料集, 42~46 頁.
- 宮城晴耕, 1977, 神居古潭変成帯に産するオフィオライトの Sr 同位体比. 地質学会第 84 年大会要旨集, 38 頁.
- 宮下純夫, 1977, 幌尻岳層状塩基性岩類における変成作用(その 2). 地質学会第 84 年大会要旨集, 39 頁.
- 宮下純夫, 1977, 日高変成帯西帯の塩基性岩類について. 総研連絡誌, 緑色岩類, 15 頁.
- Niida, K., 1977, Olivine clinopyroxenite in serpentinized dunite hartzburgite masses of the Kamuikotan zone, Hokkaido. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 17, p. 517-525.
- Niida, K., 1977, Kaersutite, Ti-pargasite and pargasite from gabbroic rocks of the Horoman ultramafic massif, Japan. *Jour. Japan Assoc. Min. Petrol. Econ. Geol.*, vol. 72, p. 152-161.
- 新井田清信, 1977, 幌満超苦鉄質岩体の層状構造の形成機構. 地質学会第 84 年大会要旨集, 140 頁.
- 新井田清信, 1977, 北海道中軸帯の超苦鉄質岩類. 総研連絡紙, 緑色岩類, 2 号, 16 頁.
- 小島郁生・松本達郎, 1977, 本邦下部白亜系の対比. 九大理研報(地質), 12 巻, 165~179 頁.
- 小倉清香, 1977MS, アベヤキ川・ニカンベツ川流域に分布する変成岩類・ミグマタイト類・深成岩類について. 北大修士論文.
- 岡田博有, 1977, 島弧背後盆地にみられるオリストストローム中新世古丹別層(北海道). 地質学会第 84 年大会要旨集, 146 頁.
- 岡村 真, 1977, 北海道天塩地方佐久地域に分布する白亜系の地質および微化石. 熊大教育紀要(自然), 26 巻, 145~161 頁.
- 佐藤博之・猪木幸男, 1977 編, 20 万分の 1 地質図「旭川」, 地質調査所.
- 佐藤誠司, 1977, 花粉化石群による北海道中央部新第三系の層序学的検討. 研究連絡紙 3, 北日本の新第三系の対比と編年, 15~23 頁.
- Shibakusa, H., Gouchi, N. & Imaizumi, M., 1977, Widespread

- occurrence of metamorphic aragonite in the Kamuikotan metamorphic rocks near Asahikawa, Hokkaido. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 83, p. 301-303.
- 柴田 賢・石原舜三, 1977, 日本の斑れい岩類および花崗岩類の $87\text{Sr}/86\text{Sr}$ 初生値. *Magma*, 49 巻, 60~62 頁.
- 鈴木 守, 1977, 日高地向斜の火成活動の特性とスピライトの成因. 北海道地下資源調査所報告, 49 巻, 1~36 頁.
- 高瀬信一, 1977MS, 沙流川平取町荷負付近の地質. 北大卒論.
- Takayanagi, Y. & Okamura, M., 1977, Mid-Cretaceous planktonic microfossils from the Obira area, Rumoi, Hokkaido. *Paleont. Soc. Japan, Spec. Paps.*, no. 21, p. 31-39.
- 棚部一成・平野弘道・松本達郎・宮田雄一郎, 1977, 北海道小平地域の上白亜系層序. 九大理研報(地質), 12 巻, 181~202 頁.
- 田中啓策・角 靖夫, 1977, 北海道北部白亜系の古流向. 地質学会第 84 年大会要旨集, 319 頁.
- 和田信彦, 1977, 厚真川流域に分布する川端層相当層の堆積相古流系. 地下資源調査所報告, 49 号, 71~79 頁.
- 吉田 尚, 1977, 東北日本から見た日高造山帯. 地団研 31 回総会資料集, 47~50 頁.
- [1978]
- 雨宮和夫, 1978MS, 礼文島南部の地質. 北海道大学理学部卒論.
- 荒 雅章, 1978MS, 2, 3 の北海道産ジャモン石鉱物について. 北大卒論.
- Arai, S., 1978, Chromian spinel lamellae in olivine from the Iwanai-dake peridotite mass, Hokkaido, Japan. *Earth Planet. Sci. Lett.*, 39, 267-273.
- 荒井章司, 1978, 日高三石帯の超塩基性岩について. 地質学会第 85 年大会要旨集, 300 頁.
- 在田一則・森 裕・岡崎正次・小倉清春・本吉洋一, 1978, 日高変成帯南部の変成岩類とミグマタイト類について. 地団研専報, 21 号, 27~41 頁.
- 番場猛夫, 1978, 北海道中軸帯の輝緑岩類. 地団研専報, 21 号, 83-92 頁.
- 番場猛夫, 1978, 北海道中軸帯の鉱床. 地団研専報, 21 号, 155-159 頁.
- Banno, S., Ishizuka, H., Gouchi, N. & Imaizumi, M., 1978, Kamuikotan belt in Hokkaido: the tectonic contact of high pressure metamorphic belt and low pressure ophiolite succession. *Abst. Paper. Intern. Geodyn. Conf.*, March, 1978, Tokyo, p. 14-15.
- 地団研第 31 回総会討論会世話人会, 1978, 日高造山運動研究の現状と課題. 地団研専報, 21 号, 199~210 頁.
- 地学団体研究会, 1978, 北日本中生代以降の造山運動の諸問題. 地団研専報 21 号, 221 頁.
- Chinzei, K., 1978, Neogene molluscan faunas in Japanese Islands: An ecologic and zoogeographic synthesis. *The Veliger*, no. 21, p. 115-117.
- 藤井敬三・曾我部正敏, 1978, 北海道における後期中新世から鮮新世にみられる構造運動. 地調月報, 29 巻, 631~644 頁.
- 橋本誠二, 1978, 北海道中軸帯の地質概観(とくに日高変成帯に関連して). 地団研専報, 21 号, 1~8 頁.
- 今泉真之・石塚英男, 1978, 神居古潭変成帯幌加内地域に産する garnet-epidote amphibolite について. 地質学会第 85 年大会要旨集, 302 頁.
- 石塚英男, 1978, 神居古潭帯・幌加内地域の ophiolite complex を構成する空知層群について. 地質学会第 85 年大会要旨集, 301 頁.
- 片川秀基, 1978MS, 新冠川中流域神居古潭帯の緑色岩の岩石学的研究. 北大理修士論文.
- 加藤孝幸, 1978, 神居古潭帯の沙流川超塩基性岩体について. 地球科学, 32 号, 273~279 頁.
- 加藤孝幸, 1978, 神居古潭帯沙流川超塩基性岩体と蛇紋岩片を含むゼノブロックについて. 地質学会第 85 年大会要旨集, 303 頁.
- Katsui, Y., Oba, Y., Ando, S., Nishimura, S., Masuda, Y., Kurasawa, H., & Fujimaki, H., 1978, Petrochemistry of the Quaternary volcanic rocks of Hokkaido, north Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 18, p. 449-484.
- 河田清雄・金 容義, 1978, 北海道南西部上国鉱山における白亜紀酸性熔結凝灰岩について. 地質学会第 81 年大会要旨集, 282 頁.
- 君波和雄, 1978, 根室層群の層序の再検討. 地球科学, 32 巻, 120~132 頁.
- 君波和雄・高橋功二・間庭 賢, 1978, 北海道の白亜系一工ソ層群と根室層群一. 地団研専報 21 号, 111~126 頁.
- 木村 学, 1978, "豊頃一北見帯" 新第三系の砂岩岩脈. 地質学会第 85 年大会要旨集, 397 頁.
- 木村方一・国分克彦・熊野純男・松井 愈, 1978, 北海道勇払郡占冠村から発見されたデスモスチルス臼歯について. 地球科学, 41 巻, 61~64 頁.
- 小坂橋重一・遠藤秀正・片川秀基, 1978, 南部神居古潭帯, 新冠川中流域・リピラ川上流の緑色岩類. 地球科学, 32 巻, 299~300 頁.
- 紺谷吉弘, 1978, 日高帯南東部の日高累層群について一その 1, 層序と構造一. 地質学雑誌, 84 巻, 1~14 頁.
- 紺谷吉弘・酒井 彰, 1978, 日高累層群の諸問題. 地団研専報, 21 号, 9~26 頁.
- 前田仁一郎・橋本誠二, 1978, 日高変成帯北部バンケヌシはんれい岩体について. 地質学会第 85 年大会要旨集, 299 頁.
- 間庭 賢, 1978, 根室層群内の砂岩部層について. 地質学会第 85 年大会要旨集, 199 頁.
- 湊 正雄, 1978, 北海道の古期火山噴出物. 地団研専報, 21 号, 193~197 頁.
- 湊 正雄・渡辺 順・小山内 熙・三谷勝利・加藤 誠・藤原嘉樹・箕浦名知男・鎌田耕太郎・雨宮和夫, 1978, 礼文島一阿武隈東縁にわたる古期白亜紀火山帯. 地質学会第 85 年大会要旨集, 124 頁.
- 三谷勝利, 1978, 北海道中軸帯西翼における第三系堆積盆地の変遷一砂川低地帯~馬追丘陵地帯が示す意味一. 地団研専報 21 号, 127~137 頁.
- 宮城晴耕, 1978, 神居古潭帯に産するオフィオライト質岩石の Sr 同位体的性質について. 地球科学, 32 巻, 280~292 頁.
- 宮坂省吾, 1978, 新第三紀における日高変成帯の上昇運動. 地団研専報 21 号, 139~153 頁.
- 宮坂省吾・菊池昂哉, 1978, 新第三紀における日高変成帯の上昇運動. 地団研専報, 21 号, 139~153 頁.
- 宮坂省吾・松井 愈・山口昇一, 1978, 十勝地域の基盤の構造. 地団研専報, 22 号, 90~95 頁.
- 宮下純夫, 1978, 日高変成帯西帯の火成作用. 地質学会第 85 年大会要旨集, 297 頁.
- 宮下純夫・前田仁一郎, 1978, 日高変成帯北部の塩基性深成変成岩類. 地団研専報, 21 号, 43~60 頁.

- 宮田雄一郎, 1978, 北海道下部エソ層群の砂岩組成. 地質学会第 85 年大会要旨集, 126 頁.
- 森 裕, 1978MS, 日高変成帯南端部猿留川流域の地質と岩石—とくにミグマタイト化作用. 北大理修士論文.
- 本吉洋一, 1978, 日高帯南端部二カンベツ川中流域の地質と岩石. 北大理卒論.
- 長浜春男・照井一昭・長沼幸男・佐藤松男, 1978, 斜層理・礫からみた浦幌層群の供給源. 地質学会第 85 年大会要旨集, 200 頁.
- 中野仁礼, 1978, 北海道, 静内—三石地域の塩基性岩類の層序. 地球科学, 32 巻, 293~298 頁.
- 新井田清信・加藤孝幸, 1978, 北海道中軸部の超苦鉄質岩類. 地団研専報, 21 号, 61~81 頁.
- Okada, H., 1978, Sedimentary patterns in apparent back-arc basins: A case study of the Neogene in Northern Hokkaido, Japan. *Jour. Phys. Earth.* vol. 26 (Suppl.), p. 477-490.
- 岡崎正次, 1978, 日高変成帯幌満川中流地域の変成岩について. 地質学会第 85 年大会要旨集, 298 頁.
- 岡崎正次, 1978MS, 幌満川中流地域の変成岩について. 北大理修士論文.
- 斉藤克栄・岡田博有・孔 栄世, 1978, 古海底谷の一産状—中新世古丹別層(北海道)の例—. 地質学会 85 年大会要旨集, 196 頁.
- Segawa, J. & Furuta, T., 1978, Geophysical study of the mafic belts along the margins of the Japanese islands. *Tectonophysics*, vol. 44, p. 1-26.
- 杉江 裕, 1978MS, 神居古潭構造帯幌加内藍閃石片岩類について. 北大理修士論文.
- 高橋功二・鈴木 守, 1978, 5 万分の 1 地質図幅「岩知志」および同説明書. 北海道立地下資源調査所, 46 頁.
- 高井勝巳, 1978MS, ニベソツ層とシー十勝川緑色片岩. 北大理卒論.
- 竹谷陽二郎, 1978, 北海道浦河地域上部白亜系の放射虫化石について(予報). 地質学会第 85 年大会要旨集, 229 頁.
- 豊原富士夫・狩野謙一, 1978, 北海道狩勝—日高地域の空知・日高層群の層序. 地質学会第 85 年大会要旨集, 398 頁.
- 渡辺 順・鈴木 守・杉江 裕, 1978, 神居古潭構造帯—変成作用に関する二・三の問題—. 地団研専報 21 号, 93~110 頁.
- 吉田 尚, 1978, 日高・北上両地質区の境界と比較構造論. 地団研専報, 21 号, 169~180 頁.
- [1979]
- Asahina, T. & Komatsu, M., 1979, The Horokanai ophiolitic complex in the Kamuikotan tectonic belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 85, p. 317-330.
- Hashimoto, S., Miyashita, S., & Maeda, J., 1979, The basic plutonic rocks of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Part II. The Ameyama layered gabbros in the Tokachi province. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 19, p. 241-255.
- 北海道鉱業振興委員会, 1979, 北海道の石油・天然ガス資源—その探査と開発, 昭和 43 年~51 年, 205 頁.
- 石崎俊一, 1979, 北海道枝幸山地の先エソ層群より三疊紀コケムシ化石の発見とその意義. 地球科学, 33 巻, 355~359 頁.
- 加藤孝幸・新井田清信・渡辺暉夫, 1979, 神居古潭帯構造帯, 知駒岳周辺の蛇紋岩メランジ帯. 地質学雑誌, 85 巻, 279~285 頁.
- 君波和雄, 1979, 根室層群の堆積岩岩石学的研究. 地球科学, 33 巻, 152~162 頁.
- Kiminami, K. & Kontani, Y., 1979, Pre-Cretaceous paleocurrents of northern Hidaka Belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 19, p. 179-188.
- 木村 学, 1979, 小断層系・砂岩岩脈から見たラワン褶曲帯の形成機構. 地質学雑誌, 85 巻, 221~238 頁.
- Kizaki, K. & Hayashi, D., 1979, Migmatite tectonics of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. *Tectonophysics*, no. 56, p. 203-220.
- 小松正幸・在田一則・宮下純夫・前田仁一郎・本吉洋一, 1979, 日高変成帯・西帯と主帯の境界. 日本地質学会第 86 年学術大会講演要旨, 289 頁.
- 前田仁一郎, 1979, 日高変成帯ピパイロ川上流の鉄かんらん石含有石英モンソナイト. 日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会・日本鉱物学会 昭和 54 年秋期連合学術講演会講演要旨集, 116 頁.
- 間庭 賢, 1979MS, 北海道東部白糠丘陵地域に分布する根室層群の層位的・堆積学的研究. 北大理修士論文(手記).
- 中野仁礼・小松正幸, 1979, 神居古潭帯, 静内・三石地域緑色岩中のケルスート閃石・エジリン—アルカリ輝緑岩. 地質学雑誌, 85 巻, 367~376 頁.
- 岡 孝雄, 1979, 大樹町生花苗地区の地質—とくに新第三紀生花苗層の堆積相とテビキレナイ—生花苗背斜の形態について—. 地下資源調査所報告, 51 号, 21~46 頁.
- 岡田博有, 1979, 北海道の地質とプレートテクトニクス. 月刊地球, 1 巻, 869~877 頁.
- Sakagami, S. & Sasaki, A., 1979, Triassic bryozoans from the Hidaka Group in Hokkaido, Japan. *Trans. Proc. Paleont. Soc. Japan, N. S.*, no. 114, p. 77-86.
- Sasaki, A. & Ishihara, S., 1979, Sulfur isotopic composition of the magnetite-series and ilmenite-series granitoids in Japan. *Contrib. Mineral. Petrol.*, vol. 68, p. 107-115.
- 玉木賢策・湯浅真人・西村清和・本座栄一, 1979, 北海道周辺日本海およびオホーツク海域広域海底地質図. 海洋地質図, 14, 地質調査所.
- [1980]
- 番場猛夫, 1980, 常呂帯から発見されたアルベソソ閃石粗面岩を捕獲する石英ケラトファイアーについて. 地質学雑誌, 86 巻, 195~202 頁.
- 北海道立地下資源調査所, 1980, 北海道地質図, 60 万分の 1.
- 猪郷久義・猪郷久治・安達修子・佐藤良嗣, 1980, 日高・空知両層群の地質時代について. 日本列島北部における地向斜および構造区分の再検討(総研 A 報告書), 69~75 頁.
- 石田正夫・曽屋龍典・須田芳朗, 1980, 20 万分の 1 地質図「札幌」. 地質調査所.
- 石原舜三・寺島 滋, 1980, 北海道中軸部の花崗岩類. 日本岩石鉱物鉱床学会・日本鉱物学会・日本鉱山地質学会秋期連合学術講演会講演要旨集, 16 頁.
- 石塚英男, 1980, 北海道, 神居古潭構造帯に分布する幌加内オフィオライトの地質. 地質学雑誌, 86 巻, 119~134 頁.
- 紺谷吉弘, 1980, 日高帯南東部の日高累層群について—その 2, 中の川層群の砂岩組成と供給源の性格—. 地質学雑誌, 86 巻, 1~14 頁.
- Kontani, Y. & Kiminami, K., 1980, Petrological study of the sandstones in the Pre-Cretaceous Yubetsu Group, northeastern Hidaka Belt, Hokkaido, Japan. *Earth Science*,

- vol. 34, p. 307-319.
- Matsumoto, T., 1980, Zonal scheme of the Upper Cretaceous in Japan. *Rec. Prog. Nat. Sci. Japan*, no. 6, p. 126.
- 宮坂省吾・紺谷吉弘・木村 学・君波和雄・山口昇一・松井 愈, 1980, 北部日高帯の新第三系一北見滝の上地域の中新統層序一. *地球科学*, 34 巻, 67~72 頁.
- Miyashita, S., Komatsu, M. & Hashimoto, S., 1980, Sapphirine from metamorphosed layered complex of Mt. Poroshiri, Hidaka metamorphic belt, Hokkaido. *Proc. Japan Acad., ser. B*, vol. 56, p. 108-113.
- Motoyoshi, Y., 1980, *Petrology of the Horoman plutonic complex of the Hidaka metamorphic belt*. Master thesis, Hokkaido Univ., p. 1-108.
- 小川勇二郎・三宅輝海, 1980, 下川鉾山及びその周辺の“輝緑岩”と泥質岩の堆積的・構造的産状. 日本列島北部における地相および構造区分の再検討 (総研 A 報告書), 61~68 頁.
- 小野有五, 1980, 日高山脈の活断層について. 筑波大学水理実験センター報告, 4 号, 41~53 頁.
- Suzuki, M. & Kubota, Y., 1980, The Shimokawa diabase and wall rock alteration of the Shimokawa ore deposit, Hokkaido. *Mining Geol.*, vol. 30, p. 1-18.
- 豊原富士夫・植杉一夫・木村敏雄・伊藤谷生・村田明広・岩松 暉, 1980, 北部北上山地渡島半島の地相. 日本列島北部における地相および構造区分の再検討 (総研 A 報告書), 27~36 頁.
- [1981]
- 番場猛夫, 1981, 常呂帯のトロクトライトと斑れい岩. *岩鉱*, 76 巻, 386~394 頁.
- Bamba, T., 1981, Nickeliferous pyrrhotite deposits and ores from the Oshirabetsu mine, Tokachi province, Hokkaido. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 19, p. 415-438.
- 原 哲, 1981MS, 日高変成帯札内川上流地域の変成岩類. 北海道大学卒業論文.
- 今泉真之・植田良夫, 1981, 北海道幌加内地域の変成度の異なる二種の高圧型神居古潭変成岩類の K-Ar 年代. *岩鉱*, 76 巻, 88~92 頁.
- Ishizuka, H., 1981, Geochemistry of the Horokanai ophiolite in the Kamuikotan tectonic belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 87, p. 17-34.
- Ishizuka, H., Imaizumi, M. & Gouchi, N., 1981, The Kamuikotan Tectonic Belt in Hokkaido, Japan, was probably formed as a strike-slip mobile zone associated with oblique subduction and obduction processes during Mesozoic time. *Abstract of Oji International Seminar on Accretion Tectonics*, Tomakomai, p. 29.
- 蟹江康光・竹谷陽二郎・酒井 彰・宮田雄一郎, 1981, 北海道浦河地方における蝦夷層群直下の下部白亜系. *地質学雑誌*, 87 巻, 527~533 頁.
- Kimura, G., 1981, Abashiri Tectonic Line-with special reference to the tectonic significance of the southern margin of the Kuril Arc. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 20, p. 95-111.
- 木村 学, 1981, 千島弧南西端付近のテクトニクスと造構応力場. *地質学雑誌*, 87 巻, 757~768 頁.
- Komatsu, M., Kimura, G. & Kiminami, K., 1981, Tectonics of Hokkaido, with special reference to the Hidaka metamorphic belt. In Hara, I. ed., *Tectonics of paired metamorphic belts*. Tanishi Print, Hiroshima, p. 55-59.
- 小松正幸・小山内康人・豊島剛志, 1981, 日高変成帯の岩石学的構成. 総合研究 B (代表, 加納 博)「下部古生界一上部原生界」研究報告, 79~84 頁.
- Kontani, Y., Kiminami, K. & Sakai, A., 1981, Hidaka belt as a forearc region. In I. Hara ed., *Tectonics of Paired Metamorphic Belts*. Tanishi Print, Hiroshima, p. 3-6.
- Maeda, J., 1981, Ti- and Al-rich clinopyroxenes from the dolerite dike in the Meguro area of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 20, p. 79-86.
- Maeda, J., 1981, *Petrology of the Pankenushi gabbroic intrusion, Hidaka metamorphic belt, Hokkaido*. Doctor thesis, Hokkaido Univ., p. 1-114.
- Maeda, J., Motoyoshi, Y., & Takahashi, T., 1981, Magmatism in the Main zone of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido. In Hara, I. ed., *Tectonics of Paired Metamorphic Belt*, Tanishi Print, Hiroshima, p. 19-24.
- 丸山俊明, 1981, 遠別地域の珪藻化石について. 棚井敏雅編, 北海道新第三系の生層序, 1 号, 6~9 頁.
- 三宅輝海・落合 毅・鹿間光晴, 1981, 下川オフィオライトの変成作用と鉾床の成因. 日本のキースラーガーの鉾床学的研究成果報告書, 77~90 頁.
- Miyashita, S., 1981, Ophiolite succession and metamorphism of the Western Zone of the Hidaka Metamorphic Belt, Hokkaido. In Hara, I. ed., *Tectonics of Paired Metamorphic Belts*. Tanishi Print, Hiroshima, p. 25-30.
- Miyashita, S. & Niida, K., 1981, Metamorphosed dolerite intrusives from the Western Zone of the Hidaka Metamorphic Belt, Hokkaido. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 20, p. 113-133.
- Nakagawa, M., 1981, The constituents of serpentinite melange and chemistry of metabasalts in the Kamuikotan Tectonic Belt. In Hara, I. ed., *Tectonics of the Paired Metamorphic Belt*, p. 31-35.
- 中野仁礼, 1981, 北海道, 静内・三石地域の神居古潭構造帯および日高西縁構造帯緑色岩類の変成作用. *地質学雑誌*, 87 巻, 211~224 頁.
- Niida, K. & Research Group of the Tokoro Belt, 1981, Geology of the Tokoro Belt, Hokkaido. In Hara, I. ed., *Tectonics of paired metamorphic belts*, Hiroshima, p. 49-54.
- 小富郁生・二上政夫・棚部一成・川下由太郎・齊藤 登・田中正俊, 1981, 北海道静内川中流域に分布する白亜系. 国立科博研究報告, 7 巻, 15~26 頁.
- 柴 正敏・前田 宏, 1981, 日高変成帯南端部, 猿留川流域の変成岩類の変成分帯. 三鉱学会演旨, 119 頁.
- Shibakusa, H., 1981, Metamorphism of Kamuikotan tectonic belt. In Hara, I. ed., *Tectonics of Paired Metamorphic Belts*, Tanishi Print, Hiroshima, p. 43-47.
- 柴田 賢・石原舜三, 1981, 北海道日高帯の花崗岩類の K-Ar 年代. 日本地質学会第 88 年学術大会講演要旨, 342 頁.
- 柴田 賢・山口昇一・石田正夫・根本隆文, 1981, 北海道歌登町産 *Desmostylus* 包有層の地質年代. *地質調査所月報*, 32 巻, 545~549 頁.
- Takayanagi, Y. & Matsumoto, T., 1981, Recent advances in the Cretaceous biostratigraphy of Japan by coordinating mega-and micro-fossils. *Rec. Prog. Nat. Scis. Japan*, no. 6, p. 125-138.
- 田中啓策・角 靖夫, 1981, 北海道中軸帯白亜系の古流系.

- 地調月報, 32 巻, 65~127 頁.
- 豊島剛志・卯田 強, 1981, 神威岳地域における日高変成帯の変成作用と変形構造. 日本地質学会第 88 年学術大会講演要旨, 335 頁.
- Watanabe, T., 1981, Itonnappu formation in the Kamuikotan belt as constituent of a Mesozoic subduction wedge. In Hara, I. ed., *Tectonics of paired metamorphic belts*, Tanishi print, Hiroshima, p. 37-41.
- 渡辺暉夫・新井田清信・小坂橋重一, 1981, 神居古潭構造帯南部の“メランジ堆積物”と海洋性アルカリ岩. 日本地質学会第 88 年学術大会講演要旨, 333 頁.
- [1982]
- 番場光隆, 1982, 日高幌別川上流地域の日高変成帯主帯下部層について. 日本地質学会第 89 年学術大会講演要旨, 421 頁.
- 福沢仁之, 1982, 北海道天北一羽幌地域の第三紀珪質堆積岩の堆積機構と続成作用. 月刊地球, 4 巻, 492~501 頁.
- Gnibideniko, H. S. & Khvedchuk, I. I., 1982, The tectonics of the Okhotsk Sea. *Marine Geology*, vol. 50, p. 155-198.
- 木村 学, 1982, 島弧会合部のテクトニクス—北海道の場合—, 構造地質, 28 号, 5~22 頁.
- 木村 学, 1982, 日高変成帯の造構場に関する考察—Oblique collision-ridge subduction 複合モデル—. *Boreolopithecus* 特集号, 日高変成帯—その岩石構成とテクトニクス—, 地回研札幌支部, 49~55 頁.
- 木村 学・宮坂省吾・紺谷吉弘・宮下純夫・保柳康一・渡辺 寧, 1982, 日高変成帯の“山脈化”における上支湧別構造帯の意義. 構造地質研究会誌, 27 号, 167~177 頁.
- 紀藤典夫, 1982, 北海道富良野地域空知層群の地質時代について. 日本地質学会第 89 年学術大会講演要旨, 195 頁.
- 小松正幸, 1982, 北海道中軸帯のテクトニクス. *Boreolopithecus* 特集号, 日高変成帯—その岩石構成とテクトニクス—, 地回研札幌支部, 46~48 頁.
- 小松正幸・宮下純夫・前田仁一郎・小山内康人・豊島剛志・本吉洋一・在田一則, 1982, 日高変成帯における大陸性地殻—上部マントル衝上体の岩石学的構成. 岩鋳, 特別号 3 号, 229~238 頁.
- 紺谷吉弘・君波和雄・宮下純夫, 1982, 日高前縁摺曲帯のイドンナップ層より下部白亜系放射虫化石の発見とその意義. 日本地質学会第 89 年学術大会討論会資料, 29~31 頁.
- 前川寛和, 1982, 神居古潭中部・美瑛地域の地質—堆積性メランジエの立場から. 日本地質学会第 91 年学術大会討論会資料, 7~11 頁.
- Maekawa, H., 1982, *Sedimentation, metamorphism and tectonics of high pressure and low temperature metamorphic terranes: central part of the Kamuikotan belt, and Motai Group*. Ph D. thesis: Univ. Tokyo, 334p.
- 鞠子 正・望月高明・堀井正治, 1982, 下川鉢床付近の日高系堆積岩類および枕状溶岩の地層逆転. 鉢山地質, 32 巻, 67~72 頁.
- Matsumoto, T. & Takahashi, T., 1982, A new nautiloid species from the Cretaceous of Hokkaido. *Proc. Japan Acad., Ser. B*, vol. 58, p. 295-298.
- 箕浦名知男・熊野純男・紀藤典夫・鎌田耕太郎・加藤 誠, 1982, 北海道富良野市布部の下部白亜系. 地球科学, 36 巻, 348~350 頁.
- 宮下純夫, 1982, 日高変成帯西帯, 幌尻岩体の角閃石. 地球科学, 36 巻, 84~89 頁.
- 中川 充, 1982, 夕張岳蛇紋岩メランジの構成. 日本地質学会第 89 年学術大会討論会資料, 12~16 頁.
- 新井田清信・戸田英明・加藤孝幸, 1982, 常呂帯のウェールライト質キュームレート. 日本地質学会第 89 年学術大会講演要旨, 395 頁.
- 野中孝彦・卯田 強・立石雅昭, 1982, 川端層の堆積相と古流向. 日本地質学会第 89 年学術大会講演要旨, 205 頁.
- Okada, H., 1982, Geologic evolution of Hokkaido, Japan: an example of collision orogenesis. *Proc. Geol. Ass.*, vol. 93, p. 201-212.
- 岡田博有・安藤和宏・中世古幸次郎, 1982, 北海道“隈根尻層群”からの Aptian を示す放射虫化石を発見. 大阪微化石研究会誌, 特別号, 5 号, 359~360 頁.
- 岡田博有・富中厚夫・中世古幸次郎, 1982, 模式地空知層群(北海道)の時代について. 大阪微化石研究会誌特別号, 5 号, 353~357 頁, 1 図版.
- Osanai, Y., Toyoshima, T. & Komatsu, M., 1982, Constitution of the Hidaka Metamorphic Belt; its metamorphism and structure. In Hara, I. ed., *Tectonics of Paired Metamorphic belts*, Tanishi Print, Hiroshima, p. 11-18.
- 佐野 栄・矢野寛幸・渡辺暉夫・小坂橋重一, 1982, 神居古潭帯南部新冠川中流域の低変成度岩と放射虫化石. 日本地質学会第 89 年学術大会講演要旨, 431 頁.
- 柴田 賢・棚井敏雅, 1982, 北海道第三紀火山岩類の K-Ar 年代. 北海道新第三系層序の諸問題, 棚井敏雅編, 75~79 頁.
- Taketani, Y., 1982, Cretaceous radiolarian biostratigraphy of the Urakawa and Obira areas, Hokkaido. *Sci. Rep. Tohoku Univ. (Geol.)*, vol. 52, p. 1-76.
- 棚井敏雅, 1982, 北海道の新第三紀生層序研究の今後の課題. 棚井敏雅, 編, 北海道新第三系生層序の諸問題, 81~89 頁.
- 豊島剛志, 1982, 日高変成帯のマイロナイト帯の変形構造に関する一考察. 日本地質学会第 89 年学術大会講演要旨, 425 頁.
- 渡部真人, 1982, 北海道北東部サロマ湖周辺の中生界の時代について. *Boreolopithecus* 特集号, 5 号, 14~17 頁.
- 渡辺暉夫, 1982, 神居古潭帯の形成に関する若干の問題. 日本地質学会第 89 年学術大会討論会資料, 25~28 頁.
- 山岸宏光・安藤重幸, 1982, 5 万分の 1 地質図幅「然別湖」および同説明書. 北海道立地下資源調査所, 26 頁.
- Yamaguchi, S., 1982, Stratigraphy of the Toyokoro Hill, Eastern Hokkaido. *Bull. Geol. Surv. Japan*, vol. 33, p. 541-560.
- [1983]
- 青野道夫・小松正幸, 1983, トッタベツ地域の主帯下部変成岩類. 島弧における下部地殻—上部マントル構成岩石の地球化学的研究. 昭和 57 年度科研費(一般 A)研究成果報告, 代表:(小松正幸, No. 542023), 24~25 頁.
- 番場光隆, 1983, 幌別川地域, グラニウライト帯の変成条件. 日本地質学会第 90 年学術大会講演要旨, 402 頁.
- 合地信生, 1983, 旭川西方の神居古潭変成岩類. 岩鋳, 78 巻, 383~393 頁.
- Ishizuka, H., Imaizumi, M., Gouchi, N. & Banno, S., 1983, The Kamuikotan zone in Hokkaido, Japan: tectonic mixing of high-pressure and low-pressure metamorphic rocks. *Jour. Metamorphic Geol.*, vol. 1, p. 263-275.
- Ishizuka, H., Okamura, M. & Saito, Y., 1983, Latest Jurassic radiolarians from the Horokanai ophiolite in the

- Kamuikotan Zone, Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 89, p. 731-732.
- 岩田圭示・魚住 悟・中村耕二・田近 淳, 1983a, 北海道東北部西興部周辺の先第三系より放散虫およびナマコ化石の発見, 予報, 地質学雑誌, 89 巻, 55-56 頁.
- 岩田圭示・渡部真人・中村耕二・魚住 悟, 1983b, 北海道東北部サロマ湖周辺の先第三系よりジュラ紀および白亜紀放散虫の産出 (予報), 地球科学, 37 巻, 225-228 頁.
- Jolivet, L., 宮下純夫, 1983, The structure of Hidaka axial zone interpreted as the result of right-lateral strike slip movement. 日本地質学会第 90 年学術大会講演要旨, 495 頁.
- Jolivet, L., Nakagawa, M. & Kito, N., 1983, Uppermost Jurassic unconformity in Hokkaido, evidence for an early tectonic stage. *Proc. Japan Acad., Ser. B*, vol. 59, p. 153-157.
- Kiminami, K., 1983, Sedimentary history of the late Cretaceous Paleocene Nemuro Group, Hokkaido, Japan: a forearc basin of the Paleo-Kuril arc-trench system. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol 89, p. 607-624.
- Kiminami, K. & Kontani, Y., 1983, Mesozoic arc-trench systems in Hokkaido, Japan. In Hashimoto, M. & Uyeda, S. eds., *Accretion Tectonics in the Circum-Pacific Regions*. TERRAPUB, Tokyo, p. 107-122.
- 君波和雄・紺谷吉弘, 1983, 常呂帯佐呂間層群の堆積学的研究. 地球科学, 37 巻, 38~47 頁.
- 君波和雄・水津雅裕・紺谷吉弘, 1983, 常呂帯の中生界より白亜紀型放散虫化石の産出とその意義. 地球科学, 37 巻, 48~52 頁.
- 木村 学・保柳康一, 1983, 北海道における衝突テクトニクス. 月刊海洋科学, 15 巻, 724~730 頁.
- Kimura, G., Miyashita, S. & Miyasaka, S., 1983, Collision tectonics in Hokkaido and Sakhalin. In Hashimoto, M. & Uyeda, S. eds., *Accretion Tectonics in the Circum-Pacific Regions*. Terra Scientific Pub. Co., Tokyo, p. 123-134.
- 紀藤典夫, 1983, 空知層群の放散虫化石層序. 日本地質学会第 90 年学術大会講演要旨, 198 頁.
- 小松正幸, 1983, 北海道中軸帯のテクトニクス. 一般研究 A (代表, 小松正幸)「島弧における下部地殻・上部マントル構成岩石の地球化学的研究」報告書, 30~32 頁.
- 小松正幸, 1983, バンケヌーシ地域のシソ輝石-ザクロ石ミグマタイト. 島弧における下部地殻・上部マントル構成岩石の地球化学的研究 (昭和 57 年度科学研究費成果報告書), 26~29 頁.
- Komatsu, M., Miyashita, S., Maeda, J., Osanai, Y. & Toyoshima, T., 1983, Disclosing of a deepest section of continental-type crust up-thrust as the final event of collision of arcs in Hokkaido, North Japan. In Hashimoto, M. & Uyeda, S. eds., *Accretion Tectonics in the Circum-Pacific Regions*. Terra Scientific Publ. Co., Tokyo, p. 149-168.
- 紺谷吉弘・君波和雄, 1983, チロロ川上流のイドンナップ層一とくに砂岩組成について. 日本地質学会第 90 年学術大会講演要旨, 201 頁.
- Maekawa, H., 1983, Submarine sliding deposits and their modes of occurrence of the Kamuikotan metamorphic rocks in the Biei area, Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Univ. Tokyo, Sec. II*, vol. 20, p. 489-507.
- Matsumoto, T., 1983, Cretaceous nautiloids from Hokkaido, I. *Trans. Proc. Paleont. Soc. Japan, N. S.* no. 129, p. 9-25, pls. 4-9.
- 宮坂省吾, 1983, 北海道中軸帯における 2 期の新第三紀造山フェーズ. 日本地質学会第 90 年学術大会講演要旨, 152 頁.
- 宮下純夫, 1983, 日高変成帯西帯におけるオフィオライト層序の復元. 地質学雑誌, 89 巻, 69~86 頁.
- 中川 充・小松正幸, 1983, 自動蛍光 X 線分析装置による岩石の化学分析. 科研費一般 (A) 研究成果報告書「島弧における下部地殻・上部マントル構成岩石の地球化学的研究」(研究代表者: 小松正幸), 4~10 頁.
- 新井田清信・戸田英明・淡野正信・五十嵐義美・原田洋一, 1983, 中生代海山の復元-常呂帯の岩石構成とその性格. 日本地質学会第 90 年学術大会講演要旨, 269 頁.
- Okada, H., 1983, Collision orogenesis and sedimentation in Hokkaido, Japan. In Hashimoto, M. & Uyeda, S. eds., *Accretion Tectonics in the Circum-Pacific Regions*. TERRAPUB, Tokyo, p. 91-105.
- Okada, H., 1983, Mesozoic arc-trench systems in Hokkaido, Japan. In Hashimoto, M. & Uyeda, S. (eds.), *Accretion Tectonics in the Circum-Pacific Regions*. Terra pub., Tokyo, p. 107-122.
- 岡本康成, 1983, 西南日本外帯及び日高帯に分布する花崗岩類の地球化学的研究. 岡山大学修士論文, 1~97 頁.
- 岡本康成・本間弘次, 1983, 北海道日高帯に分布する花崗岩類・変成岩類の酸素・ストロンチウム同位体比. MAGMA, 67 号, 151~155 頁.
- 小山内康人・小松正幸, 1983, 日高変成帯主帯の変成作用. 島弧における下部地殻-上部マントル構成岩石の地球化学的研究. 昭和 57 年度科研費 (一般 A) 研究成果報告, 代表: 小松正幸, No. 542023), 11~19 頁.
- 佐藤岱生・石原舜三, 1983, 西南日本外帯と北海道日高帯の花崗岩類の主成分化学組成による比較. 岩鉱, 78 巻, 324~336 頁.
- 柴 正敏・原 光宏, 1983, 日高変成帯南端部 "ミグマタイト岩体" による接触変成作用. 昭和 57 年度学術講演会要旨, 岩鉱, 78 巻, 146 頁.
- Suzuki, S., Sakai, A. & Uozumi, S., 1983, Molluscan fossils from the Neogene deposits scattered along the western wing of the Hidaka Mountains. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 20, p. 225-248.
- 田近 淳・岩田圭示, 1983, 北海道東北部丸瀬布町付近の日高累層群より白亜紀放散虫化石の産出. 地質学雑誌, 89 巻, 535~538 頁.
- 高橋 浩・原 哲・三好 誠, 1983, 日高変成帯北部札内川及び岩内川上流域の地質と構造. 日本地質学会第 90 年学術大会講演要旨, 401 頁.
- 高橋功二・君波和雄, 1983, 羽幌ドーム周辺の古丹別層の堆積作用. 地球科学, 37 巻, 250~261 頁.
- 高橋照之・佐々木 昭, 1983, 音調津斑れい岩類および含ニッケル磁鉄鉄鉱石の硫黄同位体比-マグマ性硫化物鉱床の形成と外来硫黄一. 鉱山地質, 33 巻, 399~409 頁.
- Takahashi, T., 1983, The Oshirabetsu gabbroic mass in the southeastern part of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 20, p. 203-224.
- 戸村誠司, 1983, ピシカチナイ深成岩体の岩石学的研究. 北海道大学修士論文, 1~97 頁.
- 豊島剛志, 1983, 日高変成帯主帯下部層の変形史. 日本地質学会第 90 年学術大会講演要旨, 405 頁.
- 豊島剛志, 1983MS, 日高変成帯主帯下部変成岩層の変形相解

- 析. 新潟大学修士論文, 168 頁.
[1984]
- 青野道夫, 1984, 日高帯北部における変成帯主帯下部層の岩石学的研究. 新潟大学修士論文, 1~136 頁.
- 番場光隆・小山西康人, 1984, 日高帯変成帯主帯の広域変成度比較. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 424 頁.
- Bamba, T., 1984, The Tokoro belt, a tectonic unit of the central axial zone of Hokkaido. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 21, p. 21-75.
- 江崎洋一, 1984MS, 南富良野町金山湖南東部の地質. 北海道大学卒論(手記).
- 江崎洋一・大丸裕武・松村博文, 1984, 金山湖周辺の後期中生代“メランジ複合体”. *Borealopithecus* 特集号, 9 号, 北海道中生界の構造区分と層序再編成, 37~39 頁.
- 池田 泉, 1984, 礼文層群の層序と火成作用. *Borealopithecus*, 特集号, 北海道中生界の構造区分と層序の再編成, 5 頁.
- Ikeda, Y., 1984, Petrological significance of granitic inclusions from Pliocene - early Pleistocene pyroclastic flow deposits in central Hokkaido, Japan. *Jour. Japan. Assoc. Mineral. Petrol. Econ. Geol.*, vol. 79, p. 60-80.
- 池田保夫, 1984, 北海道, 日高帯の花崗岩の微量元素. *MAGMA*, 70 巻, 9~14 頁.
- Ishizuka, H., Okamura, M. & Saito, Y., 1984, Early Early Cretaceous radiolarians from the Sorachi Group at the Pippu area, Central Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 90, p. 59-60.
- Jolivet, L. & Cadet, J. P., 1984, The Iwanai Nappe in the Kamuikotan Tectonic Belt, Southern Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 21, 293-304.
- 海保邦夫, 1984, 北海道東部白糠丘陵地域の上白亜系及び古第三系の有孔虫化石層序. 日本の古第三系の生層序と国際対比, 35~47 頁.
- Kase, T., 1984, *Early Cretaceous marine brackish-water Gastropoda from Japan*. *Nath. Sci. Mus.*, Tokyo, 263p.
- 加藤幸弘・岩田圭示・中村耕二・田近 淳・魚住 悟, 1984, 北海道中央部, 当麻町周辺の先第三系の層序の再検討. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 211 頁.
- 川口通世, 1984, 北海道, 鬼刺川周辺の空知層群. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 207 頁.
- 川口通世・高橋功二, 1984, 下中川産 Parahoplites, 白亜紀アンモナイト, 産出層準の放射虫化石について. 日本地質学会北海道支部総会演旨, 33~34 頁.
- 川村信人・田近 淳・川村寿郎, 1984, 西南北海道の中古生層. *Borealopithecus* 特集号, 9 号, 北海道中生界の構造区分と層序再編成, 1~4 頁.
- Kiminami, K. & Kontani, Y., 1984, The Lower Cretaceous strata covering the greenstones belonging to the Hidaka Western Greenstone Belt in the Chiroro Area, central Hokkaido. *Jour. Res. Gr. Clas. Sed. Japan*, vol. 3, p. 11-19.
- 君波和雄・紺谷吉弘, 1984, 北海道白亜系の tectonic setting. 地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 213 頁.
- 木村 学, 1984, 北海道の衝突・付加テクトニクス. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 31~32 頁.
- 紀藤典夫, 1984, 模式地周辺の空知層群の層序. *Borealopithecus* 特集号, 9 号, 10~12 頁.
- 小松正幸・周藤賢治, 1984, 幌満カンラン岩; 東湖マントルか海洋性マントルか. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 393 頁.
- 金 秀俊, 1984, 北海道中軸帯緑色岩類のソレイト質玄武岩の検討. 日本地質学会北海道支部総会演旨, 29~30 頁.
- 近藤浩文, 1984, 北海道樺戸山地ピンネシリ山周辺の地質. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 209 頁.
- 久保和也・佐藤博之, 1984, 北海道浦河地域のランプロファイアー. 地質学雑誌, 90 巻, 717~731 頁.
- 久保和也・柴田 賢・佐藤博之, 1984, 北海道浦河地域のランプロファイアーの K-Ar 年代. 地調月報, 35 巻, 87~90 頁.
- Mariko, T., 1984, Sub-sea hydrothermal alteration of basalt, diabase and sedimentary rocks in the Shimokawa copper mining areas, Hokkaido, Japan. *Mining Geol.*, vol. 34, p. 307-321.
- 松井 愈・吉崎昌一・埴原和郎, 1984 編, 北海道創世記. 北海道新聞社, 197 頁.
- Matsumoto, T., 1984, A gigantic parahoplite ammonite from northern Hokkaido. *Rept. Geol. Surv. Hokkaido*, vol. 55, p. 21-26, pls. 1-3.
- 宮坂省吾・紺谷吉弘・君波和雄・木村 学・保柳康一・高橋功二・山口昇一・松井 愈, 1984, 北部日高帯北見滝の上地域における中新世造構史. 地球科学, 38 巻, 119~131 頁.
- 宮坂省吾・横井 太・保柳康一・三戸 望・吉岡正俊・松井 愈, 1984, 北海道中軸部における上昇帯と堆積盆の形成過程. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 271 頁.
- 宮下純夫・勝島尚美, 1984, 日高帯の緑色岩について. *Borealopithecus* 特集号, 9 号, 北海道中生界の構造区分と層序再編成, 22~23 頁.
- 永田佳充, 1984, 沙流川層の枕状溶岩—その産状と岩石化学的性質. 日本地質学会北海道支部総会演旨, 27~28 頁.
- 新井田清信, 1984, 北海道中軸部に認められる中生代アルカリ玄武岩類の 2 つのタイプ. 日本地質学会北海道支部総会演旨, 26 頁.
- Niida, K., 1984, Petrology of the Horoman ultramafic rocks in the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser., IV*, vol. 21, p. 197-250.
- 新井田清信・紀藤典夫・中川 充, 1984, 北海道中軸部の白亜紀前期の火成活動. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 214 頁.
- 野塚岳研究グループ, 1984, 日高帯変成帯ニオベツ川上流のカンラン石ザクロ石含有黒雲母石英ノーライト. 地球科学, 38 巻, 2 号, 口絵 ii.
- Okada, H., 1984, Resedimented conglomerates in a Miocene collision suture, Hokkaido, Japan. *In* Koster, E. H. & Steel, R. J. eds., *Sedimentology of gravels and conglomerates*. p. 413-427. Canadian Soc. Petroleum Geol. Mem., 10.
- 岡田尚武・平 朝彦, 1984, 根釧地方海岸部に分布する根室層群の堆積環境と年代. 日本の古第三系の生層序と国際対比, 5~14 頁.
- 小山西康人・番場光隆, 1984, 日高帯変成帯主帯の温度・圧力史. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 425 頁.
- 大和田正明, 1984, 日高帯変成帯主帯南端部の変成岩類. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 420 頁.
- 榊原正幸, 1984, 常呂帯仁頃層群緑色岩の変成作用—アルカリ角閃石の発見とその意義. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 419 頁.
- 末武晋一, 1984, 日高帯変成帯主帯トッタベツ川中流地域の深成岩類. 北海道大学卒業論文, 1~117 頁.
- 田近 淳・岩田圭示・黒沢邦彦, 1984, 西南北海道・島牧村

- 大平山周辺の中生界. 地球科学, 98 巻, 397~407 頁.
- 田近 淳・松波武雄・八幡正弘・岡 孝雄・岩田圭示・中村耕二, 1984, 日高帯北部・北見滝の上周辺の"日高累層群". 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 208 頁.
- 高橋功二・福沢仁之・和田信彦・保柳康一・岡 孝雄, 1984, 北海道北部, 日本海沿岸地域の第三系一その層序と古地理について. 地球科学, 38 巻, 299~313 頁.
- 田中啓策, 1984, 本邦産白亜紀ウニ化石. 地調月報, 35 巻, 387~417 頁.
- 戸田英明・新井田清信, 1984, 常呂帯緑色岩類の火成作用の特徴について. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 339 頁.
- 常呂帯研究グループ, 1984, 常呂帯仁頃層群の岩石構成と佐呂間層群基底の不整合. 地球科学, 38 巻, 408~419 頁.
- 豊島剛志, 1984, 元浦川上流地域における日高変成帯グラニユライト帯の変形史. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 422 頁.
- 渡辺 順・箕浦名知男, 1984, 富良野周辺に見いだされた特殊な含堇青石トロンエム岩. 日本地質学会北海道支部講演要旨集(1984年11月), 6~7 頁.
- 八幡とも子・赤松守雄, 1984, 北海道から産出する *Patinopecten kobyamai* について. 穂別町立博物館研究報告, 1 号, 25~32 頁.
- 八幡正弘・松波武雄・田近 淳, 1984, 鴻之舞地域の第三系層序. 北海道地質構造発達史の解明をめざすシンポジウム 8, 「北海道中央一東部の新生界に関する諸問題」, 4~5 頁. 地調研札幌支部.
- 安田尚登, 1984, 北海道北部, 中頓別地域の上部白亜系一暎新統の有孔虫群. 日本地質学会第 91 年学術大会講演要旨, 210 頁.
- [1985]
- 番場光隆, 1985MS, 日高変成帯主帯の変成作用の研究. 新潟大学修士論文, 284 頁.
- Bamba, T., 1985, Implication of the composite mineralization on the massive sulfide deposits of the Shimokawa mine. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 21, p. 363-404.
- Bamba, T. & Motoyoshi, Y., 1985, Study on massive sulphide ores from the Shimokawa mine, Japan. *Mining Geol.*, vol. 35, p. 211-225.
- 保柳康一, 1985, 北海道北部・羽幌地域中部中新統古丹別層の礫岩の堆積構造と堆積機構. シンポジウム「"スランプ相"の形成とテクトニクス」, 145~151 頁.
- 保柳康一・松井 愈, 1985, 北海道羽幌地域第三系, 三毛別層の K-Ar 年代. 地球科学, 39 巻, 74~77 頁.
- 保柳康一・三戸 望・吉岡正俊・宮坂省吾・渡辺 寧・松井 愈, 1985, 石狩一天塩帯南部の中新統層序と堆積環境一受乞層海底扇状地の復元一. 地球科学, 39 巻, 393~405 頁.
- Igarashi, T., Kato, T. & Niida, K., 1985, The Takadomari serpentinites in the Kamuikotan ophiolite belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 21, p. 305-319.
- Ishihara, S. & Terashima, S., 1985, Cenozoic granitoids of central Hokkaido, Japan - An example of plutonism along collision belt. *Bull. Geol. Surv. Japan*, vol. 36, p. 653-680.
- Ishizuka, H., 1985, Prograde metamorphism of the Horokanai Ophiolite in the Kamuikotan zone, Hokkaido, Japan. *Jour. Petrol.*, vol. 26, p. 391-417.
- 岩田圭示・田近 淳, 1985, 遠軽東方山地の湧別層群(その 2)一放散虫層序について一. 日本地質学会第 92 年学術大会講演要旨, 177 頁.
- Jolivet, L. & Miyashita, S., 1985, The Hidaka shear zone (Hokkaido, Japan): genesis during a right-lateral strike-slip movement. *Tectonics*, vol. 4, p. 289-302.
- 川口通世, 1985, 神居古潭帯北部域の下部白亜系一とくに堆積岩類の性格について. 日本地質学会第 92 年学術大会講演要旨, 172 頁.
- 川口通世・蟹江康光, 1985, 北海道中央部, 占冠地域の白亜系. 地質学雑誌, 91 巻, 73~86 頁.
- 君波和雄・紀藤典夫・田近 淳, 1985, 北海道の中生界一層序・年代とその意義. 地球科学, 39 巻, 323~326 頁.
- Kiminami, K., Kontani, Y. & Miyashita, S., 1985, Lower Cretaceous strata covering the abyssal tholeiite (the Hidaka Western Greenstone Belt) in the Chiroro area, Central Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 91, p. 27-42.
- 木村 学, 1985, 白亜紀北海道の沈みこみ様式. 科学, 55 巻, 24~31 頁.
- 木村 学・玉木賢策, 1985, 千島弧と千島海盆一上盤プレート回転, 後退と背弧海盆の拡大一. 地学雑誌, 94 巻, 69~83 頁.
- 紀藤典夫・永田 勝・新井田清信, 1985, 隈根層群の層序と地質時代について. 日本地質学会第 92 年学術大会講演要旨, 175 頁.
- 小松正幸, 1985, 北海道中軸部の構造帯一その意義, 性格および構造運動一. 地質学論集, 25 号, 137~155 頁.
- 小松正幸・番場光隆・青野道夫, 1985, 日高変成帯主帯下部のザクロ石一シソ輝石花こう岩質岩. 日本地質学会第 92 年学術大会講演要旨, 407 頁.
- Maeda, J., Tsuchiya, N., Arita, K., Osanai, Y., Suetake, S., Ikeda, Y., Bamba, M., & Owada, M., 1985, Finding of olivine- and garnet-bearing biotite quartz norite from the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Japan. Assoc. Mineral. Petrol. Econ. Geol.*, vol. 80, p. 13-20.
- 松本達郎・小島郁生・平野弘道, 1985, 日本の白亜系の大型化石による分帯と西欧模式地との対比. 地質学論集, 26 号, 29~42 頁.
- 中野仁礼, 1985, 神居古潭帯南部の玄武岩類の岩石学的性質. 東京農業大第一高等学校研究紀要, 3 巻, 33~63 頁.
- 新井田清信, 1985, 中生代の海洋底を探る. 郷土と科学編集委員会編, 続・北海道 5 万年史, 3~16 頁.
- 新井田清信・高田昌和, 1985, 北海道白亜紀前期の初源的島弧火成作用. 火山, 30 巻, 102 頁.
- 小山内康人, 1985, 静内川上流地域における日高変成帯主帯変成岩類の地質と変成分帯. 地質学雑誌, 91 巻, 259~278 頁.
- 小山内康人・番場光隆・在田一則, 1985, 日高変成帯主帯のグラニユライト. 日本地質学会第 92 年学術大会講演要旨, 404 頁.
- 大和田正明・山根幹生, 1985, 日高変成帯主帯の花崗岩質岩とミグマタイトの関係. 日本地質学会第 92 年学術大会講演要旨, 406 頁.
- 佐々木詔雄・加地時夫・笹岡 健・井口 隆, 1985, 基礎試錐十勝沖の地質と層序一道東地域における中新世タービタイト相の考察. 石油技協誌, 50 巻, 53~63 頁.
- 田近 淳, 1985, 上興部地域の石灰石資源. 地下資源調査所報告, 56 号, 23~35 頁.
- 高橋功二・和田信彦, 1985, 穂別町の地質. 穂別町立博物館報, 2 号, 1~15 頁.

- 戸田英明・新井田清信, 1985, 中生代常呂海山の火成作用, 火山, 第2集, 30巻, 93頁.
- 利光誠一, 1985, 北海道羽幌川上流地域白亜系の生層序と堆積相. 地質学雑誌, 91巻, 599~618頁.
- 豊島剛志, 1985, 元浦川上流地域における日高変成帯グラニユライト帯のマグマタイト様岩. 日本地質学会第92年学術大会講演要旨, 403頁.
- Watanabe, Y. & Iwata, K., 1985, The age of Miocene Kamishiyubetsu Formation in northern Hokkaido and the basins formed by tectonic movement. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 91, p. 427-430.
- Watanabe, Y. & Iwata, K., 1985, Discovery of Paleogene Radiolarians from the Yuyanbetsu Formation, Central Hokkaido, and its geological significance. *Earth Science (Chikyu Kagaku)*, vol. 39, p. 446-452.
- [1986]
- Arai, S. & Takahashi, N., 1986, Petrographical notes on deep-seated and related rocks (4) Highly refractory peridotites from Horoman ultramafic complex, Hokkaido, Japan. *Ann. Rep. Inst. Geosci. Univ. Tsukuba*, no. 12, p. 76-78.
- 在田一則・豊島剛志・大和田正明・宮下純夫・Jolivet, L., 1986, 日高変成帯の構造運動. 地団研専報, 31号, 247~263頁.
- 北海道の地質と構造運動編集委員会, 1986 編, 北海道の地質と構造運動. 地団研専報, 31号, 518頁.
- 保柳康一・宮坂省吾・渡辺 寧・木村 学・松井 愈, 1986, “衝突帯”のタービダイト相形成とテクトニクス—中新世・中央北海道の例—. 地団研専報, 31号, 265~284頁.
- 保柳康一・大上拓男, 1986, 海底チャネルによるタービダイトと関連粗粒岩の形成—中央北海道・中部中新統古丹層—地質学雑誌.
- 池田 泉・小松正幸, 1986, 礼文島の前期白亜紀火山岩類. 地団研専報, 31号, 51~62頁.
- Iwata, K. & Tajika, J., 1986, Late Cretaceous radiolarians of the Yubetsu Group, Tokoro Belt, northeast Hokkaido. *Jour. Fac. Sci., Hokkaido Univ., Ser. IV*, vol. 21, p. 619-644.
- Jolivet, L., 1986, The Hokkaido central belt, Northern Japan: the succession of tectonic stages. *Bull. Soc. Geol. France*, vol. 2, p. 311-327.
- 加藤孝幸・中川 充, 1986, 神居古潭構造帯超苦鉄質岩類の由来. 地団研専報, 31号, 119~135頁.
- 加藤孝幸・中島正博・国分英彦, 1986, 穂別町富内鉱山のクロム鉄鉱石—かんらん石単斜輝岩類の重要性—. 穂別町立博物館研究報告, 3号, 8~14頁.
- 加藤幸弘, 1986MS, 北海道中軸帯, 上川盆地周辺における先第三系の再検討. 北海道大学理学部地質学鉱物学教室修士論文予稿集, 5~8頁.
- 加藤幸弘・岩田圭示, 1986, 北海道北部, 剣淵東方, 東和地域に分布する日高累層群の再検討. 総研連絡誌「北海道中軸部に分布する日高累層群の再検討」(研究代表者: 魚住 悟) 1号, 10~14頁.
- 加藤幸弘・岩田圭示・魚住 悟・中村耕二, 1986, 北海道中央部, 当麻—開明地域に分布する先第三系の層序の再検討. 地質学雑誌, 92巻, 239~242頁.
- 川村信人・田近 淳・川村寿郎・加藤幸弘, 1986, 西南北海道の中・古生層の地質構成と産状. 地団研専報, 31号, 17~32頁.
- 君波和雄, 1986, 空知層群から下部エソ層群への転換について. 碎屑性堆積物の研究, 4号, 1~7頁.
- 君波和雄, 1986, 北海道およびオホーツク海周辺域の白亜紀テクトニクス. 地団研専報, 31号, 403~418頁.
- 君波和雄・小松正幸・新井田清信・紀藤典夫, 1986, 北海道中生界の構造区分と層序. 地団研専報, 31号, 1~15頁.
- 君波和雄・宮下純夫・木村 学・田近 淳・岩田圭示・酒井 彰・吉田昭彦・加藤幸弘・渡辺 寧・江崎洋一・紺谷吉弘・勝島尚美, 1986, 日高帯の中生界—日高累層群. 地団研専報, 31号, 137~155頁.
- Kimura, G., 1986, Oblique subduction and collision. *Geology*, vol. 14, p. 404-407.
- 木村 学・宮下純夫, 1986, 海溝—海溝—斜め衝突帯の三重会合点と日高変成帯. 地団研専報, 31号, 451~458頁.
- Kimura, G. & Tamaki, K., 1986, Tectonic framework of the Kuril Arc since its initiation. In Nasu, N., Kobayashi, K. & Kagami, H. eds., *The formation of continental margins*. TERRAPUB, Tokyo.
- Kimura, G. & Tamaki, K., 1986, Collision, rotation, and back-arc spreading in the region of the Okhotsk and Japan Seas. *Tectonics*, vol. 5, p. 389-401.
- 紀藤典夫・君波和雄・新井田清信・蟹江康光・渡辺暉夫・川口通世, 1986, 空知層群と蝦夷層群—北海道中軸帯の後期中生代オフィオライトと前弧海盆堆積物. 地団研専報, 31号, 81~96頁.
- 紀藤典夫・新井田清信, 1986, 空知層群中の安山岩礫について. 日高・神居古潭・常呂帯総研連絡誌, 1号, 61~64頁.
- 国分英彦, 1986, 北海道勇払郡占冠村二ニウ周辺の地質—とくに未分離日高累層群の変成作用と変形について. 北海道の構造帯, 日高・神居古潭・常呂帯総研連絡誌, 1号, 65~69頁.
- 国分英彦, 1986MS, 北海道勇払郡占冠村二ニウ周辺の地質と岩石. 北海道大学卒業論文.
- 小松正幸, 1986, 日高変成帯形成のテクトニクス. 地団研専報, 31号, 441~450頁.
- 小松正幸・宮下純夫・在田一則, 1986, 日高変成帯の構成. 地団研専報, 31号, 189~203頁.
- 小松正幸・周藤賢治・加々美寛雄, 1986, 幌満かんらん岩—はんれい岩の Rb-Sr アイソトープ (予報). 総研連絡誌「北海道の構造帯—岩石学とテクトニクス」, 1号, 21~22頁.
- 紺谷吉弘・君波和雄・田近 淳・間庭 賢, 1986, 常呂帯の白亜紀堆積岩類. 地団研専報, 31号, 157~171頁.
- 前田仁一郎, 1986, 日高火成活動帯の形成と千島海盆の拡大およびユーラシア・北米プレートの衝突. 地団研専報, 31号, 459~473頁.
- 前田仁一郎・末武晋一・池田保夫・戸村誠司・本吉洋一・岡本康成, 1986, 北海道中軸帯の第三紀深成岩類—分布・活動年代・主要元素組成・テクトニクス—. 地団研専報, 31号, 223~246頁.
- 前川寛和, 1986, 神居古潭帯の形成プロセス. 地団研専報, 31号, 107~117頁.
- Maekawa, H., 1986, A low P/T metamorphic episode in the Biei areas, Kamuikotan blueschist terrane, Japan. *Geol. Soc. Amer. Mem.*, no. 164, p. 395-406.
- 宮坂省吾, 1986, 中央北海道の後期新生代造構史. 北海道の構造帯, 日高・神居古潭・常呂帯総研連絡誌, 1号, 125~128頁.
- 宮坂省吾・保柳康一・渡辺 寧・松井 愈, 1986, 礫岩組成

- から見た中央北海道の後期新生代山地形成史。地団研専報, 31号, 285~294頁。
- 宮坂省吾・松井 愈, 1986, 中央北海道の新生代末期テクトニクス。地団研専報, 31号, 333~344頁。
- Miyashita, S. & Katsushima, T., 1986, The Tomuraushi greenstone complex of the central Hidaka zone: Contemporaneous occurrence of abyssal tholeiite and terrigenous sediments. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 92, p. 535-557.
- 永田秀尚・紀藤典夫・中川 充, 1986, 蝦夷累層群に見出された蛇紋岩礫岩。日本地質学会第 93 年学術大会講演要旨, 203頁。
- 永田 勝・紀藤典夫・新井田清信, 1986, 樺戸山地の中生界一隈根尻層群の年代と白亜紀火山弧としての性格。地団研専報, 31号, 63~79頁。
- 中川 充, 1986, 神居古潭構造帯三石蛇紋岩メランジに産する角閃岩類中の角閃石の累層構造。総研連絡誌「北海道の構造帯一岩石学とテクトニクス」, 1号, 75~79頁。
- 新井田清信・原田洋一・五十嵐義美・淡野正信, 1986, 中生代海山に随伴する“エビクラスタイト”。日高・神居古潭・常呂帯総研連絡誌, 1号, 98~102頁。
- 新井田清信・紀藤典夫, 1986, 北海道における白亜紀島弧-海溝系一その地質構成と造構史一。地団研専報, 31号, 379~402頁。
- 岡村 真・木村 学, 1986, 北海道の白亜紀付加帯(1)。日本地質学会第 93 年学術大会講演要旨, 199頁。
- Osanai, Y., 1986, *Progressive metamorphism of the main zone of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan*. Doctor thesis of Hokkaido Univ.
- Osanai, Y., Arita, K. & Bamba, M., 1986, P-T conditions of granulite facies rock from the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 92, p. 793-808.
- 小山内康人・宮下純夫・在田一則・番場光隆, 1986, 大陸地殻一海洋地殻接合衝上体における変成作用と温度・圧力構造一。日高変成帯主帯・西帯の例。地団研専報, 31号, 205~222頁。
- 大和田正明, 1986, 日高変成帯主帯南部の花こう岩質岩と変成岩の相互作用。総研連絡誌「北海道の構造帯一岩石学とテクトニクス」, 1号, 1~6頁。
- 酒井 彰・蟹江康光, 1986, 地域地質研究報告(5万分の1地質図幅)「西舎地域の地質」。地質調査所, 92頁。
- Sakakibara, M., 1986, A newly discovered high pressure terrane in eastern Hokkaido, Japan. *Jour. Metamor. Geol.*, vol. 4, p. 401-408.
- 榊原正幸・新井田清信・戸田英明・紀藤典夫・木村 学・田近淳・加藤孝幸・吉田昭彦・常呂帯研究グループ, 1986, 常呂帯の性格と形成史。地団研専報, 31号, 173~187頁。
- 榊原正幸・新井田清信・戸田賢二・赤坂正秀・後藤芳彦・芳川雅子・紀藤典夫・田近 淳・加藤孝幸・戸田英明・高沢栄一・木村 学, 1986, 上部白亜系湧別層群から発見されたマンガンノジュール。日本地質学会北海道支部総会個人講演要旨集, 9~10頁。
- 榊原正幸・田中啓策, 1986, 常呂帯佐呂間層群から発見されたイノセラムス。地球科学, 40巻, 205~206頁。
- 柴 正敏, 1986, 日高変成帯南部, 泥質変成岩類の変成帯。総研連絡誌「北海道の構造帯一岩石学とテクトニクス」, 1号, 34~37頁。
- 末武晋一, 1986, 日高変成帯主帯トツタベツ川中流地域における深成岩類の岩石学的研究。山口大学修士論文, 1~183頁。
- 田近 淳, 1986, 日高累層群における砂質堆積物の変形の一例, 旧白滝地域の“含礫砂岩”。総研連絡誌「北海道中軸帯に分布する日高累層群の再検討」, 1号, 15~19頁。
- 高橋 浩, 1986, 日高変成帯中部札内川上流域の均質花こう岩類と不均質花こう岩類の成因関係。日高・神居古潭・常呂帯総研連絡誌「北海道の構造帯一岩石学とテクトニクス」, 1号, 7~14頁。
- 高橋功二・鈴木 守, 1986, 5万分の1地質図幅「日高」および同説明書。北海道立地下資源調査所, 44頁。
- 豊島剛志, 1986, 日高変成帯主帯変成岩類のマイロナイト化作用。日本地質学会第 93 年学術大会講演要旨, 446頁。
- 伝井 哲・植村 武, 1986, ピバイロ花こう岩体の変形構造。日高・神居古潭・常呂帯総研連絡誌「北海道の構造帯一岩石学とテクトニクス」, 1号, 45~49頁。
- Watanabe, T. & Maekawa, H., 1986, Early Cretaceous dual subduction system in and around the Kamuikotan tectonic belt, Hokkaido, Japan. In Nasu, N., Kobayashi, K., Uyeda, S., Kushiro, I. & Kagami, H. eds., *Formation of Active Ocean Margins*. TERRAPUB, Tokyo.
- 渡辺暉夫・柴草英彦・中川 充, 1986, 神居古潭帯の変成作用の特徴とメランジの概要一リサイクル・モデルの検討一。地団研専報, 31号, 97~106頁。
- 吉田昭彦, 1986, 日高帯・下川岩体の変形作用。総研連絡誌「北海道の構造帯一岩石学とテクトニクス」, 1号, 55~60頁。

[1987]

- 福沢仁之, 1987, 北海道北部, 新第三紀後期の層状珪質岩の堆積場。地質学雑誌, 93巻, 37~55頁。
- 君波和雄・小松正幸・川端清司, 1987, 幌加内地域の空知層群: トラップされた海洋地殻と前弧海盆堆積物。総研連絡誌「北海道の構造帯一岩石学とテクトニクス」, 2号, 25~27頁。
- 紀藤典夫, 1987, 北海道神居古潭帯における緑色岩と碎屑性堆積岩の関係。地質学雑誌, 93巻, 21~35頁。
- 国分英彦, 1987, 北海道勇払郡占冠村二ニウ地域における神居古潭帯の蛇紋岩類の進入時期。穂別町立博物館研究報告, 4号, 11~22頁。
- 前田仁一郎, 1987, 日高帯の第三紀深成岩類の同位体年代の検討一現状と今後の課題一。日本地質学会第 94 年学術大会講演要旨, 219頁。
- 松澤逸巳・小坂利幸, 1987, 襟裳岬付近の第四系一とくにマンモスソウ産出層準について一。松井 愈教授記念論文集, 71~78頁。
- 宮坂省吾, 1987, 衝突帯における山地形成一。日高山脈の上昇史一。松井 愈教授記念論文集, 195~202頁。
- 宮下純夫, 1987, 日高帯の緑色岩。松井 愈教授記念論文集, 215~223頁。
- 中川 充・中野仁礼, 1987, 北海道三石川地域の神居古潭帯苦鉄質片岩の K-Ar 年代とその意義。地球科学, 41巻, 244~247頁。
- Nakagawa, M. & Toda, H., 1987, Geology and petrology of Yuba-ri-dake serpentinite melange in the Kamuikotan Tectonic Belt, central Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 93, p. 733-748.
- 新井田清信, 1987, 神居古潭構造帯の構成。松井 愈教授記念論文集, 203~214頁。

- 新井田清信・福井敏之, 1987, 北海道富内北方地域の堆積性蛇紋岩. 穂別町立博物館研究報告, 4号, 33~48頁.
- 多田 堯・木村 学, 1987, 千島弧南西端における衝突現象と地殻変動. 地震, 第2輯, 40巻, 197~204頁.
- 田近 淳・木村 学・岩田圭示, 1987, 日高帯東縁の付加コンプレックス. 日本地質学会第94年学術大会講演要旨, 261頁.
- 高橋功二・和田信彦, 1987, 5万分の1地質図幅「穂別」および同説明書. 道立地下資源調査所, 40頁.
- 渡辺 寧, 1987, 中期中新世上支湧別層の堆積盆形成とテクトニクス. 松井 愈教授記念論文集, 171~174頁.
- Watanabe, Y. & Iwata, K., 1987, The Hidaka Super group in the Tomuraushi region, Hidaka belt, Hokkaido, Japan. *Earth Science (Chikyu Kagaku)*, vol. 41, p. 35-47.
- Watanabe, Y. & Kimura, G., 1987, Strike-slip fault (Nayorogawa Fault) in northern Hokkaido. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 93, p. 1-10.
- [1988]
- 長谷川美行, 1988, 奥士別南方の日高累層群の放散虫, コノドント年代. 総研成果報告書「北海道中軸帯に分布する日高累層群の再検討」, 380~384頁.
- Kato, T., Nakagawa, M., Bamba, T. & Kokubu, H., 1988, Podiform chromite-bodies associated with clinopyroxenite-cumulo-lates in the Tomiuchi Mine, Hokkaido, Japan. *Mining Geol., Spec. Issue*, no. 12, p. 127-140.
- 君波和雄・紺谷吉弘, 1988, 北海道西興部周辺の日高累層群. 日本地質学会第95年学術大会講演要旨, 176頁.
- 前田仁一郎・平間正男・末武晋一, 1988, 中央北海道北部, 一の橋地域の深成岩類と接触変成岩類. 総研連絡誌「北海道の構造帯—岩石学とテクトニクス」, 3号, 71~75頁.
- Miyake, T., 1988, Geology and mineralization of the Shimokawa mine. *Mining Geol.*, vol. 38, p. 215-231.
- Miyashita, S. & Watanabe, Y., 1988, Genetic environments of the greenstones in the Hidaka zone, Hokkaido, with special reference to the metallogeny of massive sulfide, and bedded iron and manganese ores. *Mining Geol., Spec. Issue*, no. 12, p. 93-104.
- Miyashita, S. & Yoshida, A., 1988, Pre-Cretaceous and Cretaceous ophiolites in Hokkaido, Japan. *Bull. Soc. Geol. France*, vol. 8, p. 251-260.
- Nakagawa, M., 1988, *Geology and petrology of Yubari-dake serpentinite melange in the Kamuikotan Tectonic Belt, central Hokkaido, Japan*. Doctor Thesis, Hokkaido Univ.
- 七山 太・川端清司・君波和雄, 1988, 最末期白亜紀中の川層群の形成場. 総研連絡誌「北海道の構造帯—岩石学とテクトニクス」, 3号, 81~91頁.
- 七山 太・君波和雄, 1988, 南部中の川層群の堆積機構. 総研成果報告書「北海道中軸帯に分布する日高累層群の再検討」, 341~353頁.
- 岡田博有, 1988, 北海道日高・常呂帯の“大洋性石灰岩”. 総研成果報告書「北海道中軸帯に分布する日高累層群の再検討」, 268~270頁.
- 小山内康人, 1988, 日高変成帯の含十字石泥質グラニュライト. 総研連絡誌「北海道の構造帯—岩石学とテクトニクス」, 3号, 17~27頁.
- 大和田正明・小山内康人, 1988, 日高変成帯, 均質・不均質花崗岩質岩の Rb-Sr 全岩年代. 総研連絡誌「北海道の構造帯—岩石学とテクトニクス」, 3号, 38~44頁.
- Owada, M. & Osanai, Y., 1988, Crustal anatexis and the genesis of S-type and I-type granitic rocks in the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, northern Japan. *5th Internat. Symposium on Tin/Tungsten granites in southeast Asia and the Western Pacific, Extended abstracts*, p. 120-123.
- Shiba, M., 1988, Metamorphic evolution of the southern part of the Hidaka belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Metamorphic Geol.*, vol. 6, p. 273-396.
- Shibakusa, H. & Hirajima, T., 1988, Jadeite from the Horokanai-Kamietanbetsu area in the Kamuikotan zone, Hokkaido. *Jour. Japan Assoc. Min. Petr. Econ. Geol.*, vol. 83, p. 507-513.
- 志村俊昭, 1988, 日高変成帯最下部ザクロ石—シソ輝石—トール岩の泥質変成岩包有物の同化・結晶作用. 総研連絡誌「北海道の構造帯—岩石学とテクトニクス」, 3号, 28~37頁.
- 田近 淳, 1988, 北海道東部常呂帯の上部白亜系湧別層群の層序と構造—海溝付加体モデルの適用. 地質学雑誌, 94巻, 817~836頁.
- 渡辺暉夫・中川 充・板谷徹丸, 1988, 神居古潭構造帯形成に関する放射年代からの一考察 (K-Ar 年代の追加とまとめ). 総研連絡誌「北海道の構造帯—岩石学とテクトニクス」, 3号, 123~125頁.
- 渡辺 寧, 1988, 中央北海道日高帯“ウエンシリ地壑”の変形構造. 地質雑, 94巻, 527~533頁.
- 渡辺 寧・宮下純夫, 1988, 玄武岩噴出に伴う海底熱水活動下での泥質岩の形成—北海道日高帯又ブントムラウシ地域の例— 鉱山地質, 38巻, 1~13頁.
- [1989]
- Arai, S. & Takahashi, N., 1989, Formation and compositional variation of phyllogopites in the Horoman peridotite complex, Hokkaido, northern Japan: implications for origin and fraction of metasomatic fluids in the upper mantle. *Contr. Min. Petr.*, vol. 101, p. 165-175.
- 保柳康一, 1989, 中央北海道中新統タービダイトと日本海拡大. 月刊地球, 11巻, 292~297頁.
- 保柳康一, 1989, 埋積と前進に伴うタービダイトの岩相変化—中央北海道・中部中新統古丹別層—. 地質学雑誌, 95巻, 509~525頁.
- 加藤孝幸・酒井利啓・榊原正幸・五十嵐俊彦・新井田清信, 1989, 神居古潭帯幌加内地域“微閃緑岩”類の島弧的性格. 日本地質学会第96年学術大会講演要旨, 566頁.
- Kato, Y. & Iwata, K., 1989, Radiolarian biostratigraphic study of the Pre-Tertiary System around the Kamikawa Basin, central Hokkaido, Japan. *Jour. Fac. Sci. Hokkaido Univ., ser. IV*, vol. 22, p. 425-452.
- 君波和雄, 1989, 北海道周辺のテクトニクスに関するいくつかの新提案. 月刊地球, 11巻, 309~315頁.
- 清川昌一, 1989, 北海道中軸帯の断面—特にイドンナップ帯について. 月刊地球, 11巻, 316~322頁.
- 小松正幸・小山内康人・豊島剛志, 1989, 日高変成帯の温度—圧力—変成史. 月刊地球, 11巻, 239~244頁.
- Komatsu, M., Osanai, Y., Toyoshima, T. & Miyashita, S., 1989, Evolution of the Hidaka metamorphic belt, northern Japan. *Jour. Geol. Soc. London, Spec. Publ.*, no. 43, p. 487-493.
- 前田仁一郎, 1989, 日高火成活動帯の形成—海嶺の沈み込みによる上盤プレート内の古海嶺の復活?—. 月刊地球, 11巻, 265~270頁.
- 前田仁一郎・加々美寛雄, 1989, 日高火成活動帯の未分化石

- 鉄質岩脈：千呂露岩脈の岩石学。日本地質学会第 96 年学術大会講演要旨, 563 頁。
- 宮下純夫, 1989, 日高帯の緑色岩帯の形成場とテクトニクス。月刊地球, 11 巻, 336~344 頁。
- 岡村 真・木村 学, 1989, 四万十帯と北海道中軸帯。月刊地球, 11 巻, 345~349 頁。
- 小山内康人・小松正幸・大和田正明, 1989, 日高変成帯のグラニュライト変成相。月刊地球, 11 巻, 245~251 頁。
- 小山内康人・大和田正明・川崎智佑, 1989, 日高変成帯主帯下部地殻岩石の部分溶融。日本地質学会第 96 年学術大会講演要旨, 607 頁。
- 大和田正明, 1989, 日高変成帯南部に分布する花崗岩類の地質および化学組成—特に堇青石花崗岩類について—。地質学雑誌, 95 巻, 227~240 頁。
- 大和田正明・小山内康人, 1989, 日高変成帯主帯, 下部地殻の溶融と花崗岩の形成。日本地質学会第 96 年学術大会講演要旨, 606 頁。
- 柴草英彦, 1989, 神居古潭変成帯の変成作用。月刊地球, 11 巻, 271~277 頁。
- Shibakusa, H., 1989, Lawsonite - pumpellyite - epidote stabilities in glaucophene schists in the Horokanai - Kamietanbetsu area of Kamuikotan Zone, Hokkaido, Japan. *Miner. Petrol.*, vol. 40, p. 241-256.
- 志村俊昭, 1989, 日高変成帯の二系列のトーナル岩マグマ。日本地質学会第 96 年学術大会講演要旨, 560 頁。
- 田近 淳, 1989, 日高帯北部の白亜紀「付加体」。月刊地球, 11 巻, 323~327 頁。
- 山崎敏嗣・岡村行信, 1989, 海山の沈み込みと海溝陸側斜面の変形—襟裳岬に沈み込んでいく海山。月刊地球, 11 巻, 373~376 頁。
- [1990]
- 安藤寿男, 1990, 上部白亜系中部蝦夷層群三笠層の層序と浅海堆積相。地質学雑誌, 96 巻, 279~295 頁。
- 北海道鉱業振興委員会, 1990, 北海道の石油・天然ガス資源—その探査と開発, 昭和 52 年~63 年—, 157 頁。
- 加藤 誠・勝井義雄・北川芳男・松井 愈, 1990 編, 北海道地方。日本の地質 1, 共立出版, 東京, 337 頁。
- 君波和雄・川端清司・宮下純夫, 1990, 日高累層群中からの古第三紀放射虫化石の発見とその意義：特に海嶺の沈み込みについて。地質学雑誌, 96 巻, 323~326 頁。
- 前田仁一郎・宮坂省吾・末武晋一・戸村誠司・河内晋平・松井 愈, 1990, 北海道中央部の第三紀進入岩類の K-Ar 年代と火成活動の時空変遷。地球科学, 44 巻, 231~244 頁。
- 七山 太, 1990, 北海道中軸帯(最末期白亜紀~前期古第三紀)に認められる古千島弧および古東北日本弧起源の碎屑岩(予察)。日本地質学会北海道支部総会講演要旨(1990 年 3 月), 25~27 頁。
- [1991]
- Osanaï, Y., Komatsu, M. & Owada, M., 1991, Metamorphism and granitic genesis in the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. *Jour. Metamorphic Geol.*, vol. 9, p. 111-124.
- 太田 努・榊原正幸・板谷徹丸・瀧上 豊, 1991, 北海道, 神居古潭変成岩類の K-Ar 及び Ar-Ar 年代。日本地質学会講演要旨集, 435 頁。
- [1992]
- Kiyokawa, S., 1992, Geology of the Idonnappu Belt, central Hokkaido, Japan - Evolution of a Cretaceous accretionary complex. *Tectonics*, no. 11, p. 1180-1206.
- Shibakusa, H. & Itaya, T., 1992, K-Ar ages of glaucophene schists and associated rocks from the Horokanai-Kamietanbetsu area in the Kamuikotan zone, Hokkaido, northern Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 98, p. 1061-1064.
- 和田信彦・高橋功二・渡辺 順・蟹江康光, 1992, 5 万分の 1 地質図幅「三石」および同説明書。道立地下資源調査所, 73 頁。
- 山崎 誠・板谷徹丸, 1992, 蛇紋岩メランジュ中の変成岩ブロックの始新世 K-Ar 年代。岩鉱, 87 巻, 139 頁。
- [1993]
- 太田 努・榊原正幸・板谷徹丸, 1993, 北海道神居古潭変成岩類の K-Ar 年代。地質学雑誌, 99 巻, 335~345 頁。
- 渡辺暉夫・岩崎一郎, 1993, 神居古潭帯の年代論と高圧変成帯の同位体年代周期性(Dobresov 仮説)の検討。月刊地球, 15 巻, 185~189 頁。
- [1994]
- Hori, R. S. & Sakakibara, M., 1994, A chert-clastic sequence spanning the late Triassic-early Cretaceous period of the Kamuikotan Complex in the Shizunai area, south-central Hokkaido, Japan. *Jour. Geol. Soc. Japan*, vol. 100, p. 575-583.
- 岩崎一郎・柴草英彦・合地信生・渡辺暉夫, 1994, 神居古潭帯(中央部)。日本地質学会第 101 年学術大会, 見学旅行案内書, 139~160 頁。
- Kimura, G., 1994, The latest Cretaceous-early Paleogene rapid growth of accretionary complex and exhumation of high pressure series metamorphic rocks in northwestern Pacific margin. *Jour. Geophys. Res.*, no. 9, p. 147-164.
- Kimura, G., Sakakibara, M. & Okamura, M., 1994, Plumes in central Panthalassa? - Deductions from accreted oceanic fragments in Japan. *Tectonics*, no. 13, p. 905-916.
- Sakakibara, M. & Ohta, T., 1994, Metamorphic evolution of the Kamuikotan high-pressure and low-temperature metamorphic rocks in central Hokkaido, Japan. *Jour. Geophys. Res.*, no. 99, p. 22221-22235.
- Ueda, H., Kawamura, M. & Kato, M., 1994, Structure and metamorphism of the Mesozoic accretionary complex in North Pacific rim - a study on the Idon'nappu Belt, Hokkaido, Northern Japan. In: Hanquan, W., Bai, T. & Yiqun, L., eds., *IGC Project 294 Intern. Symp., Very low grade metamorphism: mechanism and geological application*, p. 132-144.
- 植田勇人・川村信人・加藤幸幸・中川 充, 1994, イドonna ップ帯および神居古潭帯南部の付加体地質とナップ説。日本地質学会第 101 年学術大会見学旅行案内書, 161~174 頁。
- [1995]
- Iwasaki, I., Watanabe, T., Itaya, T., Yamazaki, M. & Takigami, Y., 1995, Palaeogene K-Ar ages from the Kamuikotan metamorphic rocks, southern area of The Kamuikotai Gorge, central Hokkaido, northern Japan. *Geol. Jour.*, vol. 30, p. 281-295.
- 熊谷琢磨・紀藤典夫・雁沢好博, 1995, 北海道中軸帯二セウ層から産出した始新世放射虫とフィッション・トラック年代。地質学雑誌, 101 巻, 965~569 頁。
- [1996]
- 長橋 徹, 1996, 空知層群緑色岩の岩石学。総合研究(A)報告書「付加体形成における緑色岩の意義」(研究代表者:

- 宮下純夫), 1号, 35~39頁.
- 中川 充, 1996, 20 万分の1「夕張岳」地質図幅内の緑色岩の区分とナップ構造. 総合研究(A)報告書「付加体における緑色岩の意義」(研究代表者:宮下純夫), 1号, 41~50頁.
- [1997]
- 本間 寿, 1997, 日高変成帯南部オピラルカオマップ複合深成岩体の岩石学的特徴. 地質学論集, 47号, 43-55頁.
- 川村信人・山 真典・鳴島 勤, 1997, 蝦夷累層群“東帯”と緑色岩類の構造的関係—前弧海盆海溝側エッジのテクトニクス—. 基盤研究(A)報告書「付加体形成における緑色岩の意義」(研究代表者:宮下純夫), 2号, 125~134頁.
- 木村 学・楠 香織, 1997, 日高造山運動と島弧会合部のテクトニクス. 地質学論集, 47号, 295-305頁.
- 前田仁一郎・斎藤清克, 1997, 大陸地殻形成におけるマントル由来未分化マグマの役割: 日高火成活動帯の例. 地質学論集, 47号, 75-85頁.
- 松影香子・荒井章司, 1997, 落合一北房岩体と幌満岩体の比較成因論: マントル熔融過程の多様性. 地質学論集, 47号, 173-183頁.
- 宮下純夫・新井孝志・長橋 徹, 1997, 日高帯の緑色岩の意義: 海嶺の多重衝突. 地質学論集, 47号, 307-323頁.
- 森下知晃・荒井章司, 1997, 北海道日高帯, 幌満かんらん岩体中のシンプレクタイトの産状の多様性—幌満岩体形成史における意義と問題点—. 地質学論集, 47号, 149-162頁.
- 七山 太・雁澤好博, 1997, 日高帯中の川層群北部ユニットの堆積層序, 堆積環境および堆積年代. 地質学論集, 47号, 279-293頁.
- 新井田清信・塩谷由美, 1997, 幌満かんらん岩に記録されたマグマチャネリング様式: メルト成分の涵濁や付加で生じた置換性かんらん岩. 地質学論集, 47号, 139-147頁.
- 小畑正明・森下律生・田中久美子, 1997, 幌満かんらん岩中の輝石スピネルシンプレクタイトの微細構造とその生成過程について. 地質学論集, 47号, 163-171頁.
- 小山内康人・大和田正明・志村俊昭・川崎智佑・B. J. Hensen, 1997, 日高変成帯における地殻溶融と酸性マグマの形成. 地質学論集, 47号, 29-42頁.
- 太田 努, 1997, 北海道中央部旭川西方の神居古潭変成岩類に含まれるアルカリ角閃石の産状と変成史. 岩鉱, 92巻, 103~123頁.
- Owada, M., Osanai, Y. & Kagami, H., 1997, Rb-Sr isochron ages for hornblende tonalite from the southeastern part of the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan: Implication for timing of peak metamorphism. *Mem. Geol. Soc. Japan*, no. 47, p. 21-27.
- Ozawa, K., 1997, P-T history of an ascending mantle peridotite constrained by Al zoning in orthopyroxene: a case study in the Horoman peridotite complex, Hokkaido, northern Japan. *Mem. Geol. Soc. Japan*, no. 47, p. 107-122.
- Sawaguchi, T. & Takagi, H., 1997, Inverted ductile shear movement of the Horoman peridotite complex in the Hidaka metamorphic belt, Hokkaido, Japan. *Mem. Geol. Soc. Japan*, no. 47, p. 193-208.
- 志村俊昭・小松正幸・伝井 哲・大和田正明・高橋 浩, 1997, 日高変成帯における花崗岩質マグマと壁岩の熱的および化学的相互作用. 地質学論集, 47号, 1-12頁.
- 塩谷由美・新井田清信, 1997, 幌満かんらん岩体の苦鉄質岩層の起源. 地質学論集, 47号, 123-137頁.
- 末武晋一, 1997, 深成岩体中の不均質構造: 日高変成帯主帯, トッタベツ複合深成岩体の例. 地質学論集, 47号, 57-74頁.
- 鈴木理裕・新井田清信, 1997, 奥新冠かんらん岩体: オフィオライト質最上部マントルダナイト. 地質学論集, 47号, 219-229頁.
- 鈴木隆広・川村信人・岩田圭示, 1997, 北海道北見枝幸地域の中生代付加体の地質構成—日高帯と空知—エゾ帯の境界地質帯の再検討—. 川村信人・岡 孝雄・近藤 務編「加藤 誠教授退官記念論文集」, 93~102頁.
- 田切美智雄, 1997, 地殻の部分融解度の見積もり—日高変成帯において. 地質学論集, 47号, 13-20頁.
- 高橋奈淳子, 1997, 幌満かんらん岩体で見られるマグマ分離現象. 地質学論集, 47号, 87-105頁.
- 滝沢 茂, 1997, 北海道, 幌満カンラン岩体に発達する流れ褶曲. 地質学論集, 47号, 209-218頁.
- 寅丸敦志, 1997, 幌満カンラン岩体の層状構造の成因. 地質学論集, 47号, 185-192頁.
- 豊島剛志・小松正幸・志村俊昭, 1997, 日高変成帯の形成テクトニクス. 地質学論集, 47号, 259-277頁.
- 芳川雅子・中村栄三, 1997, 微量元素・放射性起源同位体地球化学によるマントルプロセスの解析—上部マントルかんらん岩体での現状と課題—. 地質学論集, 47号, 231-243頁.
- [1998]
- 川村信人・中川 充・加藤孝幸・戸田英明・金 秀俊・吉田孝紀・山本和広・寺田 剛・永田秀尚・国分英彦・榎原正幸・大津 直・神居古潭帯団体研究グループ, 1998, 空知—エゾ帯の中生代変成付加コンプレックス—美瑛コンプレックスとオイチャン・ナップの提唱—. 地球科学, 52巻, 433~452頁.